

○各州共通檢疫規則

大藏省、書記官局

華盛頓 一千九百十六年一月十五日

合衆國公衆衛生課、州及地方ノ衛生局、警官及其他ノ關係者へ

合衆國公衆衛生課ノ警務總監ノ申言及國會ノ議決ヲ經テ一千八百九十三年二月十五日ヲ以テ裁可セラレタル法律、即チ『海軍病院課ニ對シテ海港檢疫ニ關スル追加權能ヲ與へ、且ツ追加職責ヲ帶ハシムヘキ法律』

ヲ布告スルニ就テハ、或ル州、或ル地方若クハコロンビア地方ヨリ他ノ州若クハ他ノ地方へ傳染病ノ蔓延

センコトヲ豫防スルカ爲メ、左ノ如キ各州共通ノ檢疫規則ヲ公布スルモノナリ

從來ノ規則中此規則ト抵觸スルモノハ皆ナ是レ廢止タルヘキモノトス

書記官、ダブルユー、ヂー、マクス、

各州共通檢疫規則

第一條 各州共通檢疫ノ目的ヲ達センカ爲メニ、一千八百九十三年二月十五日ヲ以テ裁可セラレタル條例

第三節中ノ所謂傳染病ナルモノハ概ネ左ノ如キモノ是レナリ、曰ク『ベスト』、虎列拉、腸窒扶斯、

肺結核、黃熱、痘瘡、癩、窒扶斯熱、猩紅熱、實布埤利亞、麻疹、百日咳、小兒癩痺症、流行性腦脊髓

膜炎、此等ノ病毒ニ感染シタルモノ、死物ト生物トニ論ナク斯ル病毒ニ感染セラレタルモノト思惟セラ

レタルモノ皆傳染病ノ中ニ算入スヘキモノナリ、但シ反對ノ證據舉リタル場合ハ此限ニアラス

第二條 或ル州、地方若クハコロンビア地方ノ間ニ諸種ノ商品ヲ取扱フ所ノ運送業者タランモノハ、其陸

路タルト海路タルトヲ問ハス、其運送機關ニ充ツヘキ車體若クハ船體等ヲ常ニ清潔ニシテ衛生法ニ適セ

シメサルヘカラス

第三條 凡ソ船舶中乗客等ヲ容ルヘキケ所ハ諸種ノ害虫等ヲ撲滅センカ爲メニ、少ナクモ六ヶ月間ニ一回

薰蒸消毒法ヲ行ハサルヘカラス、又タ第一節中ニ記載サレタル或ル病者ヲ他ニ移シタル場合ハ其都度々

々薰蒸消毒法ヲ行ハンコトヲ要ス

第四條 運送者タランモノハ各州間ノ商業用ニ供スル運送機關タル船舶若クハ汽車等ニ乗客等ノ居ル間ハ

清潔法ヲ行ヒ若クハ行ハシムルコトヲ得ス、且ツ清潔法ヲ行ハンニハ塵埃ヲ四散セシメサル方法ヲ取ラ

ンコトヲ要ス

第五條 或ル個人若クハ團體タル商會等ニシテ商業用ニテ各州間ヲ旅行スル商人ノ爲メニ旅宿業ヲ營ムモ

ノハ、左記ノ如キ事柄ニ注意センコトヲ要ス、寢臺等ノ設備ハ云フマテモナク、其「シート」枕被杯ハ洗

濯後何人モ用ヒサルモノヲ供センコトヲ要ス、但「ケット」、敷布、枕等ニシテ第一節ニ記載サレタル或

ル病者ノ用ヒタルコト曾テ之レナク、且ツ清潔ニシテ害虫等更ニ居ラス、何等カノ方法ニテ直接ニ旅客

ノ身體ニ觸レシメサル様ナリ居ラン場合ハ此限ニアラス

一七〇

第六條 商用ニテ各州間ヲ旅行スル商人ヲ搭載スヘキ汽車若クハ汽船等ニハ、皆是レ新鮮ノ空氣ヲ充分ニ流通セシムヘキ設備アランコトヲ要ス

第七條 右ノ如キ商人用ノ汽車若クハ汽船等ハ皆ナ是レ化粧室及洗面所等ノ設ケアランコトヲ要ス、而シテ相當ノ大サニシテ相當ノ數アランコトヲ要ス、且ツ此等ノケ所ハ常ニ清潔ニシテ衛生法ニ適セシメサルヘカラス

第八條 凡ソ運送業者タランモノハ右ノ如キ商人ヲ搭載スヘキ汽車若クハ汽船中ニハ、各所ニ猥リニ唾液ヲ吐クヘカラストノ揭示ヲナシ且ツ唾壺ヲ備ヘ置カンコトヲ要ス、而シテ此等ノ唾壺ハ常ニ清潔ニシテ衛生法ニ適セシメン事ヲ要ス

第九條 運送業者カ或ル州、地方若クハコロンビア地方ヨリ他ノ州若クハ地方等ヘ商用ニテ旅行スル商人ノ爲メニ、汽車内、汽船内、待合室其ノ他ノ場所ニ備ヘ置ク所ノ手拭類ハ一人以上ノ共用ト爲スヲ許サス、但之ヲ用ヒタル度毎ニ之ヲ洗ヒ淨メ熱湯ヲ以テ消毒シタル場合ハ此限ニアラス

第十條 運送業者カ右ノ如キ旅行商人ノ爲メニ汽車内汽船内其他ノ箇所ヘ置ク所ノ「コップ」器皿等ハ衆客共用ノモノトナスヲ許サス、但之ヲ用ヒタル度毎ニ洗ヒ淨メ且ツ消毒法ヲ行フタル場合ハ此限ニアラス

第十一條 一個人若クハ商會トシテ商用ニテ各州間ヲ旅行スル旅客ノ爲メニ、飲食物供給ノ事業ヲ營マンモノハ、左記ノ如キ取締法ニ從ハサルヘカラス、曰ク斯ル旅客ニ供給スル所ノ飲食物ハ本條例第一節ニ記載サレタル傳染病ノ何レニモ感染シタルモノニアラス、充分消毒法等ヲ行ヒタルモノニシテ傳染病ヲ傳播スヘキ虞會テ之レナカランコトヲ要ス、又右ノ旅客ニ手渡シスルマテハ決シテ傳染病ノ病毒ニ接近セサル様貯ヘ置カサルヘカラス、苟クモ飲食物供給ノ營業ニ從事センモノハ必ラス此取締法ニ服從セサルヘカラス

第十二條 運送業者タランモノハ適當ナル衛生局ヨリ一タヒ警告ヲ受ケタル以上ハ、各州間ノ商業上左記ノ如キ牛乳ヲ何レノ箇所ヘモ運送スルコトヲ得ス、曰ク虎列拉、猩紅熱、實布埤里亞、流行性喉頭炎、腸窒扶斯ノ如キ傳染病ノ發生シタル地方ヨリ産出シタル牛乳是レナリ、但シ牛乳ニ一ノ證明書ノ附シアル場合ハ此限ニアラス、即チ此牛乳ハ其筋ノ掛官ノ監督ノ下ニ消毒法ヲ行ヒタルモノナリトノ證明書ノ附シアルモノ是レナリ

第十三條 運送業者カ各州間ノ商業ニ從事スル旅客ヲ搭載スヘキ汽車若クハ汽船ニ供給スル所ノ水ハ皆是レ左記ノ如キ手續ヲ爲シタルモノナランコトヲ要ス

(イ) 此等ノ交通機關ニ供給セラル、所ノ水ハ各州共通ノ衛生官吏若クハ管轄區域内ノ州其他ノ衛生局ノ證明アランコトヲ要ス、而シテ此等ノ飲料水ノ清潔ノ程度如何ハ一千九百十四年十月廿一日大

一七一

藏大臣ヨリ發布シタル規定ニ適センコトヲ要ス、但シ水質ノ稍ヤ疑ハシキ點アルモ傳染的病毒ヲ排除スヘキ手續ヲ了リタルモノナリト前述シタル衛生官吏ノ證明書アラン場合ハ、飲料水トシテ差支ヘ之レナキモノトス

(ロ) 水ヲ冷却セシメンカ爲メニ用フル所ノ氷ハ、清潔ナル天然水、蒸溜水ヨリ製造シタルモノ、若クハ前述セルカ如キ證明書アル水ヨリ製出シタル氷ナランコトヲ要ス、而シテ冷却用ノ氷ハ先ツ完全ナル水ヲ以テ能ク洗ハサルヘカラス、且ツ此水ヲ取扱ハンニハ傳染病ニ感染セサル様最モ注意ヲ密ニセンコトヲ要ス、但此等ノ取締法ハ冷却セシムヘキ飲料水ニ接觸セサル氷ニハ適用スヘカラサルモノトス

(ハ) 此等ノ水ヲ容ル、所ノ器ハ少クモ毎週一回清潔法ヲ行ハン事ヲ要ス

第十四條 運送業者ニシテ各州間ノ商業ニ従事シ居ル間ハ、其配下ノ水夫若クハ雇人ニ對シテ汚漬シテ傳染病ヲ惹キ起スヘキ水ヲ供給スルコトヲ禁ス、又其汽車若クハ汽船ノ停車場及碇泊所等運送業者ノ管轄スヘキ箇所ニ於ケル「タンク」、水溜、給水栓等ノ所在地ニテ、其水夫及雇人等カ容易ク便利ニ不潔ナル水ヲ取リテ飲用ニ供スヘキ場合アランニハ、必ラス飲用水ト爲スコトヲ禁スヘキ揭示ヲ爲シ置カサルヘカラス

第十五條 個人、商會若クハ其他ノ團體ハ左記ノ如キ船舶ヘ不潔ナル水ヲ供給スルコトヲ得ス、所謂其

船舶トハ合衆國ノ或ル港ニ於ル船舶ニシテ、或ル他ノ州他ノ地方若クハコロンビア地方ノ或ル港ニ向ケテ出帆セント欲スルモノ是レナリ、又其供給スヘキ水ハ冷却用ト飲用トヲ問ハス、不潔ナル下水ノ混入スヘキ箇所ヨリ汲ミ取リタルモノト知ルヘシ、斯ル水ヲ斯ル船舶ニ供給スルコトヲ得ス、但其水質ニ關シテ疑ハシキ點アルモ病毒ヲ傳播シ得ヘカラサル様方法ヲ實行シタルコトヲ各州共通ノ衛生官ノ證明シタルモノハ之ヲ用ヒテ妨ケナキモノトス

第十六條 各州間ノ商業ニ従事スル旅客ノ爲メニ船舶ヲ以テ運送業ヲ營ムモノハ、左記ノ如キ水ヲ斯ル旅客ニ供給スルコトヲ許サス、曰ク其船舶ノ航行シツ、アル所ノ湖水若クハ河流ノ水ヲ供給スルコトヲ許ササルカ如キ是レナリ、但合衆國ノ公衆衛生局、州若クハ市ノ衛生課等カ、一千九百十四年十月廿一日大藏大臣ノ名ヲ以テ發布サレタル飲用水取締規則ニ該當シタルモノナリトノ證明アルモノハ此限ニアラズ、若シ水質ニ就テ疑ハシキ點アリトスルモ、疾病ヲ傳播スヘキ虞ナキ手段ヲ取リタルコトカ、前述セル衛生局若クハ合衆國公衆衛生課ノ軍醫總監等ニ由リテ證明セラレタルモノハ、之ヲ用ヒテ妨ケナキモノトス

第十七條 運送業者ハ本條例第一節ニ記載セラレタル疾病中ノ何レニカ罹リタルモノヲ知リナカラ一ノ州、地方若クハコロンビア地方ヨリ他ノ州若クハ地方等ヘ送致スルコトヲ得ス、但後段ニ記載スヘキ特別ノ場合ハ此限ニアラス

第十八條 本條例第一節ニ記載サレタル疾病中ノ何レニカ感染シ居レリト自覺スルモノハ、何人ト雖モ汽車若クハ汽船等ノ交通機關ニテ他ニ旅行スルコトヲ許サス、又タ兩親若クハ後見人ニシテ其子若クハ被後見人カ右ノ如キ疾病ノ何レニカ罹リ居レリト知リタランモ亦是レ同様ナリト知ルヘシ、但後段ニ記載スヘキ特別ノ場合ハ此限ニアラス。

第十九條 茲ニ或ル物品アリ、本條例第一節ニ記載セラレタル疾病中ノ何レニカ接觸シタル事實アリト知ラレタル場合アリトセンカ、個人、商會其他ノ團體ハ斯ル物品ヲ各州間ノ商品トシテ何レノヶ所ヘモ運送スルコトヲ得ス、運送業者ニ於テモ亦同様ナリトス、但斯ル物品ノ荷主ニシテ豫シメ適當ナル衛生官應ヨリ左記ノ如キ證明書ヲ得タル場合ハ此限ニアラス、曰ク此物品ハ病毒傳播ノ媒介タラサル適當ノ處置ヲ取リタル事ヲ證明ス。

第二十條 合衆國內ノ或ル港若クハ其他ノ箇所ニ於テ人類「ベスト」若クハ鼠族「ベスト」ノ發生シタル場合アラシカ、斯ル場合ニ於テハ合衆國公衆衛生課ノ軍醫總監タルモノハ、斯ル病毒ノ他ノ州、地方若クハコロンビア地方ニ傳播セサル様適當ナル處置ヲ取ラサルヘカラス、即チ斯ル病毒ノ蔓延ヲ豫防センカ爲メニ檢疫所ヲ設クルカ如キコト是レナリ、但船舶ニ搭載スヘキ荷物ニシテ鼠族ノ居ラサル箇所ニ於テ産出シタルモノ、鼠族ノ居ラサル倉庫、船渠、波戶場等ヨリ積ミ込マレタルモノハ、合衆國ノ公衆衛生課ノ軍醫總監ヨリ運送證書ナルモノヲ交付センコトヲ要ス。

第二十一條 或ル人若クハ或ル物(活物ト死物トヲ問ハス)ニシテ本條例第一節ニ記載セラレタル疾病中ノ何レニカ觸接シ、若クハ感染シ、汽車、汽船若クハ其他ノ交通機關内ニ之レアリトセンカ、此等ノ病毒傳播ノ豫防上必要ナランニハ、之ヲ検査シ消毒シ若クハ其他ノ處置ヲ爲ササルヘカラス。

第二十二條 汽車、汽船其他ノ交通機關ノ進行中其乗客中ノ或ル者カ彼ノ第一節ニ記載サレタル疾病中ノ何レニカ罹リタル場合アリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ運送業者ハ直チニ該患者ヲ隔離シ而シテ汽車、汽船若クハ其他ノ交通機關ヨリ他ノ便利ナルヶ所ニ移サンコトヲ要ス、所謂便利ナルヶ所トハ斯ル患者ヲ收容スルニ足ルヘキ諸般ノ設備整頓セル所是レナリ、而シテ直チニ其由ヲ合衆國公衆衛生局ノ軍醫總監、州及地方(離隔所々轄)ノ衛生官ヘ通報スヘク、且ツ汽車若クハ汽船内ノ臨時隔離所ニ充テタルヶ所ハ之ヲ消毒センコトヲ要ス。

第二十三條 苟クモ「ベスト」虎列拉、痘瘡、猩紅熱若クハ黃熱ニ罹リタルモノハ、何人ヲ問ハス商業用ニ充ツヘキ汽車、汽船若クハ其他ノ交通機關ニ收受スルコトヲ得ス。

第二十四條 運送業者ハ各州間ノ商業用ニ充ツヘキ汽車、汽船若クハ其他ノ交通機關ニ腸室扶斯熱ニ罹リタル患者ヲ收受スルコトヲ得ス、但其出發及來着ノヶ所ニ於ル州若クハ地方ノ衛生官ヨリ許可セラレタル場合、右ノ如キ患者ガ一種ノ別室ニ收容セラレ且ツ適當ノ資格アル看護婦若クハ附添人之レアル場合及此等ノ看護婦若クハ附添人カ運送業者ニ對シテ旅行中ハ左記ノ如キ規則ニ服従スヘキコトヲ書面ヲ

以テ申シ出テタル場合等皆此限ニアラス

(イ) 一 患者ノ收容サレ居ル室内ト他トノ交通ハ全ク之ヲ遮斷センコトヲ要ス、蓋シ患者ノ看護上及

安寧上必要ナレハナリ

二 苟クモ患者カ使用シタル器皿類ハ石炭酸五%溶液若クハ消毒液ニ少ナクモ一時間浸シ置カンコトヲ要ス

三 患者ノ大小便及其他ノ排出物ハ石炭酸五%溶液若クハ他ノ消毒液ヲ盛リタルモノニ入レ其上ニ蓋ヲシテ少ナクモ二時間靜カニ其儘ニナシ置カンコトヲ要ス、斯クテ其時間經過シテ後之ヲ焼却スルカ、若クハ餘リニ遠カラサル港ノ下水中ニ放棄センコトヲ要ス

四 右ニ述ヘタル看護婦若クハ附添人タランモノハ、患者ニ蠅ノ接近シ來ラサル様常ニ注意ヲ密ニセンコトヲ要ス、又患者ニ接シテ何等カノ用事ヲ爲シタラン場合ニハ、其都度々々必ラス其手ヲ洗ハサルヘカラス、而シテ其手ヲ洗ハンニハ五%ノ石炭酸溶液カ其他同様ノ消毒力ヲ有スル液體ヲ用ヒンコトヲ要ス

(ロ) 患者ノ退去シタル時ハ直チニ其室ヲ閉鎖センコトヲ要ス、但其室内ノ諸物品ハ全ク其儘ニシテ閉鎖スヘキモノトス、斯クテ消毒法ノ執行濟ミトナルマデハ閉鎖シ置カンコトヲ要ス

第二十五條 各州間ノ商業用ニテ旅行スル者ノ爲メニ運轉スル汽車、汽船若クハ其他ノ交通機關ノ進行中

若シ黃熱病ノ發生シタルコトアリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ該患者ヲ相當ノ設備アル箇所ニ容レテ隔離センコトヲ要ス、所謂相當ノ設備トハ蚊族ノ入り込マサル様若クハ存在セサル様ノ手當ヲ爲シアルカ、或ハ蚊族ノ患者ニ近ツキ來ラサル様手段ヲ施シアルノ類是レナリ、又タ黃熱ノ流行シ居ル箇所ヘハ乗客ヲ上陸セシムヘカラス、但蚊族ノ全ク襲來セサル設備アルカ、管轄地ノ州及地方ノ衛生官ニシテ其上陸ヲ許可シタル場合ハ此限ニアラス、又右ノ如キ患者ヲ上陸セシメタラン場合ニハ、今マテ其患者ノ居タル箇所ニ充分ナル薰蒸法ヲ施シテ蚊族全滅ヲ計ラサルヘカラス

第二十六條 運送業者タランモノハ黃熱流行地方ヨリ汽車、汽船若クハ其他ノ運送機關ヲシテ他ニ運轉セシムルコトヲ得ス、但合衆國公衆衛生課ノ軍醫總監若クハ其信任ヲ得タル代理者ヨリ許可サレタル場合ハ此限ニアラス、所謂其許可トハ此汽車、汽船若クハ其他ノ交通機關ハ蚊族ヲ撲滅スヘキ薰蒸法ヲ施シ若クハ蚊族ノ侵入シ來ラサル様夫々方法ヲ取リタルニ相違ナキコトヲ證スルニ足ルヘキ證明書アルモノ是レナリ

第二十七條 實布埤利亞、麻疹、若クハ百日咳ニ罹リタル患者アリタル場合ニハ苟クモ運送業者タランモノハ各州間ノ商業用ニ充ル所ノ汽車、汽船若クハ其他ノ交通機關ニ斯ル患者ヲ搭載スルコトヲ得ス、但左記ノ如キ場合ハ此限ニアラス、曰ク出發及來着地方ニ於ル州若クハ地方ノ衛生官カ出發ト來着トヲ許シタル場合又右ノ如キ患者ヲ全ク他ノモノト異ヲタル箇所ニ收容サレ、適當ノ資格アル看護婦若クハ附

添人アリテ此等ノ患者ニ屬シ此等ノ看護婦若クハ附添人カ運送業者ニ對シテ書面ヲ以テ左記ノ如キ規則ヲ遵守スヘキコトヲ證明シタル場合ノ如キ是レナリ

(イ) 一 右ノ如キ旅行患者ヲ收容シタル室ハ全ク他ト交通スルコトヲ嚴禁センコトヲ要ス是レ患者ノ適當ナル看護ト安寧トヲ圖ランカ爲メナリ

二 途中此等ノ使用シタル器皿其他ノ器具類ハ五%ノ石炭酸溶液若クハ之ト同等ナル他ノ消毒液ニ少ナクモ一時間浸シ置カンコトヲ要ス

三 患者ノ唾液及鼻汁等ハ之ヲ「ガーゼ」若クハ紙片等ニ包ミテ覆被アル器物ニ入レテ焼却スルカ或ハ五%ノ石炭酸溶液若クハ之ト同等ナル他ノ消毒液ノ器物ニ入レテ少ナクモ二時間其儘ニ靜止セシメ置カンコトヲ要ス

(ロ) 運送業者ハ右ノ如キ患者ノ立チ去リタル場合ニ於テハ直チニ其室ヲ閉鎖センコトヲ要ス但其室内ニアル所ノ諸物品ハ全ク其儘ニナシ置キテ消毒法施行濟マテ閉鎖シ置カンコトヲ要ス

第二十八條

運送業者ハ肺結核ニ罹リ居ルモノト知りナカラ、之ヲ汽車若クハ汽船等ニ搭載シテ他ニ送致スルコトヲ得ス、但右ノ患者ト雖モ自カラ左記ノ如キ準備ヲ爲シ居ルモノハ此限ニアラス

(イ) 一 ノ唾壺ヲ携ヘ居ルコト、但其唾壺ハ唾液ノ外部ニ滲透セサル材料ニテ造ラレタルモノナルヘク、而シテ之ヲ用ヒサル時ハ自然ニ密閉スルカ若クハ密閉シ置クヘキ様注意センコトヲ要ス

二 手巾「ガーゼ」若クハ其他之ト同様ノモノヲ充分ニ携ヘ居リテ、咳ヲナシ及噴嚏ヲ爲ス場合ニハ之ヲ以テ其口邊及鼻頭ヲ蔽ハンコトヲ要ス、而シテ之ヲ用ヒタランニハ一ノ容器ニ密閉シ置キ後之ヲ焼却センコトヲ要ス

三 總テ患者ノ排出シタル唾液及鼻汁等ハ之ヲ「ガーゼ」若クハ紙片ニ受ケ、密閉シタル容易ニ貯ヘ置キ後之ヲ焼却スルカ、或ハ五%ノ石炭酸溶液若クハ之ト同等ナル消毒液ヲ盛リタル容器ニ投入シ、少ナクモ二時間其儘ニ靜止セシメ置カンコトヲ要ス

(ロ) 運送業者ハ右ノ如キ患者ノ退去シタラン場合ニハ、直チニ其室ヲ閉鎖シ其室内ニアル所ノ諸物品ハ一切其儘ニナシ置キ、消毒法施行後マデ斯ク閉鎖シ置カンコトヲ要ス

(ハ) 肺結核ニ罹リ其病毒他ニ傳染スベキ度合ニ進テ居ラン者ガ、商用ニテ各州間ニ旅行セン場合ハ、右ニ記載シタル唾壺若クハ「ガーゼ」ノ外略痰スルヲ得ス

第二十九條 運送業者ハ癩病ニ罹リタルモノカ商用ニテ各州間ニ旅行セントスルノ際、之ヲ其汽車、汽船等ニ搭載スルコトヲ得ス、但シ合衆國公衆衛生局課ノ醫務總監若クハ其信任アル代理者ヨリ左記ノ如キ許可證ヲ得タルモノハ此限ニアラス、曰ク此癩患者ハ該病傳播ヲ豫防シ得ヘキ嚴重ナル取締法ニ從フタカラニハ之ヲ交通機關ニ搭載スルモ妨ケナキモノトス、而シテ其取締法ナルモノハ其都度々々特ニ通告スルモノトス、尙ホ以上ノ許可證ノ外ニ斯ル患者ノ發着地管轄ノ衛生局ヨリ得タル許可證モ矢張り同

一ノ效力ヲ有スルモノトス

第三十條 何人ニ限ラス彼ノ人ノ癩患者ヲ知り若クハ癩患者タリト信スルニ足ルヘキ理由アリタランニハ、之ヲ商用ニテ何州間ヲ旅行スルモノトシテ交通機關ニ搭載スルコトヲ得ス、但シ前段ニ掲ケタル許可證ヲ有スル場合ハ此限ニアラス、又タ本人自カラ書面ヲ以テ前述セル許可證中ニ特記サレタル禁令ヲ遵守スヘキコトヲ申シ出テタル場合モ妨ケナキモノトス

第三十一條 茲ニ或ル人アリ癩病ニ罹リ居ル徵候現ハレ居ルモ尙ホ旅行シツツアルカ、若クハ前段ニ述ヘタル規則ニ違犯シテ其居住地ヲ立チ去リタリトセンカ、斯ル者ハ一時留置シタル上ニテ愈ヨ癩患者ト定マリタランニハ、元ノ居住地ニ差シ返スカ大藏大臣ノ定メタル聯合收容所及地方衛生局ノ指定セル箇所ヘ送致センコトヲ要ス

第三十二條 此等ノ規則實行ノ爲メ諸種ノ疾病潜伏期ヲ定ムルコト左ノ如シ

病名	潜伏期ノ日數
「ベ」スト	七日
虎列拉	五日
痘瘡	十四日
黃熱	六日

發疹チブス	十二日
腸室扶私	十四日
猩紅熱	七日
實布埤利亞	四日
百日咳	十六日
麻疹	十四日

第三十三條 各州共通ノ衛生官、州、地方及其他ノ衛生當局者ニシテ、苟クモ一千八百九十三年二月十五日ヲ以テ裁可サレタル各州共通檢疫法第三節ニ規定セラレタル檢疫法ヲ實行セント欲セハ左記ノ如キ行動ヲ取ランコトヲ要ス、曰ク虎列拉、黃熱、發疹チブス、及「ベ」スト等ノ疾病發生シタラン場合ニハ、直チニ其旨電信ナリ書面ニテ合衆國公衆衛生局ノ醫務總監ヘ通告センコトヲ要ス、又タ痘瘡、癩病、猩紅熱、實布埤利亞、小兒麻痺症、流行性腦脊髓膜炎、結核其他ノ疾病ノ豫防ニ關スル月報ヲ發行スル等是レナリ

第三十四條 或ル地方ニ於テ痘瘡、猩紅熱、實布埤利亞、腸室扶私、小兒麻痺症、流行性腦脊髓膜炎若クハ流行性喉頭炎等ノ疾病カ非常ニ多ク發生スルカ、突然トシテ斯ル病者ノ數カ増加シタラン場合ニハ、直チニ其旨電信若クハ書面ニテ前述セル衛生當局者ヨリ合衆國公衆衛生課ノ醫務總監ヘ報告センコトヲ要ス

第三十五條 合衆國公衆衛生局ニハ醫師委員會ナルモノアリ、此等ノ委員カ各州共通ノ衛生官トシテ行動スル場合ニハ、一千八百九十三年二月十五日ヲ以テ發布サレタル條例中第三節ノ規定スル所ニ從ツテ規則ヲ實行センカ爲メ州、市及其他ノ衛生當局者ト共同一致ノ行動ヲ取ランコトヲ要ス、斯ク共同一致シテ事ヲ執ルヘキ方法手段ハ大藏大臣ノ認可スル所ニ從フヘキモノトス

第三十六條 毎年三月十五日ヨリ六月十五日ニ至ルマテノ期間ハ運送業者タルモノ「ロッキ―山斑點熱」(Rocky mountain spotted fever)ノ發生セル地方ヨリ産出セル牛、馬、羊、山羊、鹿若クハ豚ヲ船積トシテ運送スルコトヲ得ス、又荷主ノ方ニ於テモ運送業者ニ斯ル動物ノ運送方ヲ依頼スルコトヲ得ス、但シ左記ノ如キ證明書アル場合ハ此限ニアラス、所謂ル其證明書トハ州若クハ其他ノ地方衛生當局者、若クハ合衆國農務省動物取締局ノ視察官、若クハ州ノ獸醫等ヨリ交付サルタルモノニシテ、此等ノ動物ハ其軀中ニ決シテ扁虱<sup>メ</sup>附着シ居ラス、即チ此等ノ害蟲ハ或ハ手ニテ搔キ取り、充分ノ效力ヲ有スル消毒液ヲ噴霧器ニテ振り掛ケ或ハ此液ニ浸シ杯シテ充分ニ之カ撲滅法ヲ施コシタリ、且ツ此等ノ驅除法ハ丁度病毒染感地ヲ立チ去ラントスル前ニ執行シタル事等ヲ證明スルモノ是レナリ

## 附 錄

### 消毒法

消毒法ハ通常之ヲ大別シテ左記ノ如クス

- 一、日光、乾熱、燒却、煮沸、電氣等之ヲ名ケテ物理的消毒法ト云フ
  - 二、「フオルマリン」瓦斯、亞硫酸瓦斯、「クロリン」瓦斯等之ヲ名ケテ瓦斯的消毒法ト云フ、
  - 三、昇汞、「フオルマリン」、石炭酸、「トリクレゾール」、「リゾール」「クレオリン」「過マンガン酸カリウム」、石灰、鹽化石灰「ヒポクロライト」等之ヲ名ケテ化學的溶液消毒法ト云フ
- 以上掲ケタル消毒法中熱ヲ除クノ外殺蟲ノ效力アリトシテ幾干カ廣ク用ヒラルルモノハ、僅カニ亞硫酸瓦斯ノ一法アルノミ、或ハ此外「チアレ」水素瓦斯、除蟲菊、揮發的石油ノ類ハ殺蟲ノ效力アリトシテ適用セラルルモノナリ

### 物理的消毒法

燒却、疑ヒモナク有效ナルモノナレトモ此方法ヲ用フルコトハ甚タ稀レナリ  
煮沸、最モ有效ナル消毒法ニシテ廣ク適用セラルルモノナリ、此方法ニ從ツテ消毒セント欲スル品物ハ其全部ヲ十分間以上熱湯中(攝氏百度ノ溫度)ニ浸シ置カンコトヲ要ス、若シ磨キタル鋼鐵、物ヲ切斷スル器



械、其他ノ道具類（「アルミニウム」製ノモノハ之ヲ除ク）ヲ消毒セントスル場合ニハ、1%ノ炭酸曹達ノ溶液ヲ加ヘンコトヲ要ス

蒸氣、(イ)流通的蒸氣（壓搾ヲ受ケサル）消毒法、此消毒法ヲ適當ナル方法ニ從ツテ適用シタランニハ、最も有效ナルモノト謂フヘキナリ、而シテ之ヲ實行センニハ攝氏百度ノ溫度ニ達シタル後、三十分間其儘ニ持續セシメ置カンコトヲ要ス

(ロ)、空虛ナクシテ壓搾ヲ受ケタル蒸氣ノ消毒法、此方法ヲ用ヒンニハ其壓力カ毎平方吋ニ就テ十五封度ニ達シタル後三十分間其儘ニ持續セシメ置カンコトヲ要ス、左スレハ消毒ノ目的ヲ達スルコトヲ得ヘキナリ但シ此消毒法ヲ行ハント欲スル場合ニハ豫シメ其裝置ヨリ空氣ヲ排除シ置カサルヘカラス、若シ又タ所要ノ壓搾ヲ得ルコト能ハサル場合ニ於テハ一層時間ヲ長クスヘシ、左スレハ同一ノ結果ヲ生スヘキナリ

(ハ)、空虛アリテ壓搾ヲ受ケタル蒸氣ノ消毒法、此消毒法ノ最良ト謂フヘキハ空虛ヲ有スル特別ノ裝置アル蒸氣力ヲ用フルコト是レナリ、蓋シ此裝置ノ目的トスル所ハ空氣ヲ排除シテ蒸氣ノ侵入ヲ容易ナラシメント欲スルニアリ、而シテ此方法實行ノ際ハ方一時ニ就テノ壓力カ十封度ニ達シタル後三十分間其儘ニ持續セシメンコトヲ要ス

消毒用トシテ蒸氣ヲ不適當トナス場合之レアリ、即チ蒸氣ノ物質ヲ害スヘキ場合、例之ヘハ革、毛皮、護謨、革囊、帽子、絹布及毛布ノ如キモノヲ消毒スル場合はレナリ、斯ル物品ヲ消毒セントスル場合ニハ「フ

オルマリン」瓦斯若クハ規則上許サレタル其他ノ消毒法ニ從ハンコトヲ要ス、若シ又ハ濕氣ヲ含メル消毒法ニテハ品質ヲ害スル恐レアル場合アラシカ、斯ル場合ニ於テハ瓦斯消毒法ニ依ランコトヲ要ス

衣服及織物類ニシテ最も美麗ナルモノノ病毒ニ感染シタル疑ヒアルモノハ、「フオルマリン」瓦斯ノ消毒法ニ從ハンコトヲ要ス、是レ其品質ヲ害スルコト甚ハタ少ナケレハナリ

#### 瓦斯的消毒法

瓦斯的消毒法ヲ行ハント欲スル場合ニ其消毒材料幾干ヲ要スルヤヲ知ラント欲セハ、其消毒スヘキケ所ノ空間カ幾立方呎アルカヲ計算セサルヘカラス、蓋シ箇所ノ空間ノ立方呎ノ計算ハ通常一千立方呎杯ノ語ヲ用フヘキモノトス

今マ箇所ノ空間ノ立方呎幾干アルヤヲ知ラント欲セハ、其高サト縦横トヲ互ヒニ掛ケ合サンコトヲ要ス、左スレハ自カラ判然スヘキナリ、例之ヘハ茲ニ一室アリ其高サ、縦、横共ニ皆十呎ナリトセンカ、其立方呎一千呎ヲ算スルカ如キコト是レナリ

消毒スヘキ箇所ヨリ瓦斯ノ脱出ヲ豫防センカ爲メニ、竈、空氣抜、戸、窓等ノ孔隙ヲ皆綿、紙若クハ布片等ヲ以テ充塞センコトヲ要ス、就中新聞紙ヲ以テ目張リヲスルヲ最良法トス、但シ此目張リニ用フルノ糊ハ粉製ヲ好シトス

凡ソ消毒ニ附スヘキ物品ハ充分ニ消毒作用ヲ受ケシムル様注意セサルヘカラス、又タ消毒瓦斯ノ滲透力ニ

モ程度アルヘケレハ、物品ヲシテ成ルヘキ丈ケ容易ク消毒瓦斯ヲ受ケシムヘキ様注意センコトヲ要ス

「フオルムアルデヒド」

消毒ノ目的ニ用ヒラルル「フオルムアルデヒド」ハ通常此瓦斯ノ水溶液ヨリ製出セラルルモノナリ、普通之ヲ稱シテ「フオルマリソ」ト云フ

「フオルマリソ」中ニ含有セラルル「フオルムアルデヒド」ハ四〇％ト想像セラルルト雖モ、或ハ蒸發シテ品質劣レルカ故ニ三七％以上ヲ含有セルモノハ甚ハタ稀レナリト謂フヘキナリ、抑モ「フオルマリソ」瓦斯ヲ最モ都合善キ有様ニ從ツテ用ヒタランニハ、吾人ノ取り扱ヘル範圍内ニ於テ最モ強力ナル殺菌劑ノ一タルヘキナリ、且ツ斯ル殺菌力ヲ有スルカ上ニ他ノ消毒法ノ遠ク及ハサル特種ノ效力ヲ有スルモノナリ、即チ通常ノ家具類ヲ消毒センニ此瓦斯ヲ用ヒタランニハ其品質ヲ傷害スルコトナシ例之ヘハ絨氈、椅子、卓子窓掛、「ペンキ」塗ノ物品。其他織物類ノ如キ皆ナ是レ長時間此消毒法ヲ受ケシムルモ、其品質ヲ傷害スルコトナキノ類是レナリ、但シ美麗ナル色ヲ有スルモノ及光澤アル鋼鐵ノ如キハ此限ニアラス

「フオルマリソ」ノ殺菌力ヲ有スルコトハ右ニ述ヘタルカ如シト雖モ、其滲透力ニ至リテハ左マテ強カラサルモノト謂ツヘキナリ、故ニ消毒ニ附スヘキ物品ハ出來得ヘキ丈ケ充分ニ展開シテ、消毒シ易カラシムル様注意セサルヘカラス、此瓦斯ハ斯クノ如ク滲透力左マテニ強カラサルカ故ニ、蒲團類其他深ク滲透スルコトヲ要スル物品ヲ消毒スルニハ不適當ナリト云ハサルヘカラス、凡ソ斯ル物品ヲ消毒センニハ之ヲ燒

却スルカ煮沸スルカ、蒸氣力ヲ用フルカ、若クハ或ル消毒液ヲ浸潤セシメンコトヲ要ス

「フオルマリソ」ノ殺菌力ハ氣候ノ如何ニ依リテ消長スル所アルヲ免カレス、例之ヘハ合衆國ニ於ル通常ノ夏季ノ溫度及濕氣ニテハ、物品ノ表面消毒ニ用ヒタランニハ其效力ニ何タル影響ヲモ及ボササルナリ、然レトモ溫度カ華氏ノ殆ント五十度若クハ其レヨリ以下ニ落ツルカ、或ハ大氣中ノ濕氣カ飽和力ノ六〇％以下ニ落チタリトセンカ、「フオルマリソ」ノ效力ハ甚タ減少セサルヲ得ス、然レトモ人爲ヲ以テ溫度及濕氣ノ不足ヲ補フコトヲ得ヘキナリ、所謂ル其人爲ノ方法トハ消毒スヘキ室内ニ於テ溫度ヲ高上センカ爲メニ湯ヲ沸カシ、濕氣ヲ増サンカ爲メニ噴霧器ニテ床上ヲ潤ホシ、或ハ「フオルマリソ」ノ分量ヲ増加スルカ如キコト是レナリ

「フオルマリソ」瓦斯ハ虫類ヲ殺スヘキ效力ヲ有セサルカ故ニ此目的ニ向ツテ用フヘキモノニアラス、若シ此瓦斯ヲ以テ蠅及蚊杯ヲ殺サント欲スル場合ニハ、此瓦斯ヲ一ヶ所ニ集中セシメテ以テ長時間ヲ費ヤサルルヘカラス、此瓦斯ヲ以テ虫類ヲ殺サンニハ僅カニ此一法アルノミ、然ラスンハ決シテ蟲類ヲ殺スコト能ハサルナリ、且ツ「フオルマリソ」瓦斯ハ高等動物(人類ヲモ含有ス)ニ對シテ有害ナルモノニアラス、然レトモ動物ノ氣管、鼻及眼等ノ粘膜ニ激衝ヲ起サシメ、從ツテ咳、噴嚏及涙ノ生スルハ止ムヲ得サルノ影響ナリト知ルヘシ、然レトモ此瓦斯ニ接觸スルコト長時間ニ互ラサル以上ハ、斯ル影響モ一時的ニ止マリテ速カニ鎮靜スヘキナリ

從來「フォルマリン」瓦斯ヲ製出センカ爲メニハ一種特別ノ装置ヲナシテ、之ヲ取り扱ハンニハ相當ノ熟練ヲ要シタリシカ、今日ニ至リテハ最モ簡便手輕ニシテ家庭内ニテモ之ヲ製出シ得ヘキ方法ヲ取ルコトナレリ、今マ之ヲ製出シ得ヘキ簡便法ノ僅カニ數者ヲ舉レハ左ノ如シ

- 一、「フォルマリン、過マンガン酸カリウム」法  
(Formalin-permanganate method)
- 二、「フォルマリン」噴霧的「シート」法  
(Formalin sheet spraying method)
- 三、「フォルマリン、アルミニウム」硫化石灰法  
(Formalin-aluminum sulphat-lime method)
- 四、「パラフォルム」  
(Parform)

右ニ掲ケタル方法中何レノ方法ニ從ツテ消毒ヲ行ハント欲スルモ、豫シメ夫々用意シ置カサルヘカラス、今マ其用意スヘキ事柄ノ大要ヲ舉ケンニ、革囊、抽斗類ハ充分ニ之ヲ開放スヘク、又タ此等ノ内部ニアル所ノモノハ皆ナ之ヲ取り出シテ消毒スヘキ室内ニ吊ルスカ、若クハ消毒スルニ便利ナル様排列センコトヲ要ス、殊ニスル内部ノモノカ病毒ニ感染シ居ルトノ疑ヒアル場合ニハ、之カ消毒法ニ最モ深ク注意ヲ拂ハシコトヲ要ス、此外戸棚、物置及本箱等ハ夫々開放シ置カンコトヲ要ス

消毒法ヲ行ハント欲スル場合ニハ豫メ竈、空氣抜、戸及窓等(出口ノ戸ハ之ヲ除ク)ノ虧隙ハ皆ナ之ヲ閉塞シ置カンコトヲ要ス

消毒法ヲ執行シタル後尙ホ殘留セル「フォルマリン」ヲ排出セシメンカ爲メニ戸及窓等ヲ充分ニ開放センコ

トヲ要ス、從來「フォルマリン」瓦斯ヲ緩和センカ爲メニ幾千ノ安母尼亞ヲ用ヒタリシカ、若シ其箇所カ熱セルカ或ハ濕氣ニ接觸スル場合ニハ、安母尼亞ノ店分カ粉狀ヲ爲シテ熱ヲ加ヘラレ又ハ濕氣ヲ加ヘラレタル場合ニ再ヒ「フォルマリン」瓦斯ノ幾千カヲ發セシムルノ虞アルヲ以テ、今日ニテハ安母尼亞ヲ用フルコト甚ハタ稀レナルニ至レリ、又タ消毒後「フォルマリン」瓦斯ヲ窓戸等ヨリ逸出セシムルト雖モ、尙ホ其後數日間ハ尙ホ其瓦斯ノ臭氣ノ消失セサルコトアルモ、并ハ決シテ害アルモノニアラス又タ不便ナルモノニアラス

此消毒法ヲ行フタル後戸及窓等ヲ開放シテ其殘留セル瓦斯ヲ逸出セシメタランニハ、一時間乃至二時間ヲ經過シテ其箇所ニ入り込ムモ妨ケナカルヘキナリ

「フォルマリン、過マンガン酸カリウム」法

「フォルマリン」過「マンガン」酸鹽ノ結晶體ヘ注カレタランニハ強烈ナル反應起ルヘキナリ、即チ液體甚ハタシク沸騰シ強熱ヲ發シ從ツテ「フォルマリン」瓦斯水、蒸氣等多量ニ發生スヘキナリ、而シテ斯ル反應ヲ起シ初ムルニ要スヘキ時間ハ僅カニ數秒乃至一二分タルヘキナリ、蓋シ反應ヲ起スヘキ時間ニ斯ク差異アル所以ハ其ケ所ノ溫度ノ高低如何ニ基ツカسنハアラス、反應ノ起ルニ數分時ヲ費シ且ツ之ニ用ヒタル各材料カ夫々適當ノ量ナリシナランニハ、其器物内ニ殘留シタルモノ殆ント皆乾燥シ居ランハアラス

抑モ此消毒法ヲ便利ニシテ且ツ有效ナラシメンニハ其化合物ノ割合左ノ如クナランコトヲ要ス、即チ「過

マンガン酸カリウム」一ニ對スル「フオルマリン」二ノ割合是レナリ、若シ此比例ヨリ「過マンガン酸カリウム」ノ方一層多量ナリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ「フオルマリン」ヨリ稍ヤ多量ノ瓦斯發生スヘキ他方ニ於テ損スル所ナクンハアラス、即チ「過マンガン酸カリウム」ノ代價増加シタルカ上ニ發火スヘキ危険一層加ハリ來ルコト是レナリ、尙ホ之ヲ詳言スレハ「過マンガン酸カリウム」増加シタルカ爲メ酸化力一層増加シタルヲ以テ、其瓦斯ノ爆發スヘキ危険一層加ハリ來ルコト是レナリ

「フオルマリン」ト「過マンガン酸カリウム」トヲ混和セシムルニ用フヘキ最モ適當ナル器物ハ、大ナル鐵製ノ容器ニ電氣鍍金ヲ爲シタルモノヲ善シトス、陶製ノ容器ハ其周邊厚クシテ反應ヲ起スノ際多量ノ熱ヲ吸收スルカ故ニ不適當ナリ、斯クテ此等ノ二者ヲ混和セシムルニ先ンシテ鐵製ノ容器ヲ熱セシメ置カンコトヲ要ス、且ツ此等ノ二者ヲ混和シテ反應ヲ起サシメンニハ痛ク沸騰スヘキカ故ニ、即チ其容器ハ「フオルマリン」十「オンス」ト「過マンガン酸カリウム」五「オンス」トヲ入レントスルニハ十「グオート」(約我六合三勺餘)ヲ入ルルニ足ル桶ヲ使用セサルヘカラス、而シテ此等ノ混和物ノ僅カニ數滴ニテモ床上若クハ敷物ノ上ニ飛散セサル様注意スヘク、其反應ヲ起スノ場合或ハ發火スルノ虞ナキニアラサルヲ以テ、其容器ヲ載スヘキ臺ハ錫製ノ大皿ノ如キ不燃性ノモノナランコトヲ要ス

斯クノ如キ方法ニ從ツテ「フオルマリン」瓦斯ヲ製出シタランニハ、甚ハタ速カニシテ且ツ多量ニ製出シ得ヘキナリ、若シ戸及窓等ノ立付極メテ緻密ナル家屋内ニアリテハ、故ラニ目張ラスルノ必要ナカルヘキナ

リ  
戸棚、抽斗及革囊等凡ソ消毒ニ付スヘキモノハ皆ナ之ヲ開放シ置カンコトヲ要ス、而シテ先ツ彼ノ容器ニ「過マンガン酸カリウム」ヲ入レ次ニ「フオルマリン」ヲ注クヘキナリ、此際内部ノ戸及座敷等ハ皆ナ開放シ置カンコトヲ要ス、一室内ニ少ナクモ一ノ容器ヲ置クヘシ、但シ甚ハタ狭小ナル室内ハ此限ニアラス、然レトモ甚ハタ大ナル室ニ至リテハ二三ノ容器ヲ据ヘ置クヘシ、但シ大ナル容器ヲ用フル場合ハ此限ニアラス

室内ノ空間每一千立方呎ニ就テ要スル所ノ「フオルマリン」及「過マンガン酸カリウム」ノ量如何ト云フニ、其室内ノ溫度等如何ニ從ツテ差異ナクンハアラス、例之ヘハ其室内ノ空氣溫カニシテ且ツ濕氣ヲ含ミ居レリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ「フオルマリン」十「オンス」ニ「過マンガン酸カリウム」五「オンス」ニテ足ルヘキナリ、然レトモ其空氣カ乾燥シテ且ツ寒冷ナリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ此二者ノ量ヲ増シテ二倍ニセサルヘカラス、而シテ此二者ヲ盛ルヘキ容器ハ前述セルカ如ク室々ヘ配布センコトヲ要ス  
又タ此等ノ容器ハ其口廣クシテ狹隘ナルヘカラス、否ラسنハ「フオルマリン」ヲ注キ込ム場合ニ多クノ時間ヲ費スノ虞アルヘキナリ、蓋シ此等ノ二物ヲ混和センニハ出口ノ戸ヨリ最モ遠ク隔タル箇所ニ於テセンコトヲ要ス

斯クテ消毒法執行ニ要スヘキ時間ハ少ナクモ二時間タルヘク、寧ロ四時間ヲ費ス方然ルヘキナリ、而シテ

此時間ヲ經過シタランニハ戸及窓ヲ開放シテ殘留セル瓦斯ヲ散逸セシメント要ス

一九二

「フオルマリン」噴霧的「シート」消毒法

此消毒法ハ「フオルマリン」ヨリ「フオルマリン」瓦斯ヲ放出セシムル最モ單純ニシテ費用ノ掛ラサル方法ナリ、此方法ヲ適當ニ都合好ク實行シタランニハ甚ハタ有效ナルモノナリ、而シテ此消毒法ハ「フオルマリン」ヲ噴霧器ニ盛リテ「シート」ノ上ニ注キ掛ケルモノニシテ甚ハタ單純無造作ノモノナリ、凡ソ「シート」ヲ消毒セント欲スル時ニハ紐様ノモノヲ長ク引キテ之ニ「シート」ヲ掛ケ置キテ消毒セント要ス、且ツ「シート」ヲ垂レ掛ケルニ先ンシテ幾干カ之ヲ潤ホシ置キタランニハ其結果一層好カルヘキナリ、蓋シ是レ「フオルマリン」ヲ速カニ吸收セシメ且ツ其流レ行ク度合ヲ緩フシ得ヘケレハナリ

花卉杯ニ水ヲ遣ルヘキ噴霧器ヲ此消毒ニ利用シタランニハ何タル造作モナカルヘキナリ、而シテ此瓦斯ハ甚ハタ飛散シ易キモノナレハ、此消毒法ヲ行ヒ初メタランニハ出來得ヘキ丈ケ速カニ結了セシメサルヘカラス、抑モ此消毒法ナルモノハ各室ニ實行シテ然ルヘキナリ、而シテ此消毒法ヲ行ハンニ「ホルマリン」幾干ヲ要スヘキヤト云フニ、「シート」ノ毎三十平方呎ニ就テ十「オンス」以内ニテ然ルヘキナリ、今マ「シート」ノ平方呎幾干アルヤヲ知ラント欲セハ、其縦ト横トノ呎ヲ乘スヘシ、左スレハ自カラ判然スヘキナリ

室内ノ溫度華氏六十度以下ナラン場合ニハ此消毒法ヲ行フヘカラス、是レ他ナシ「フオルマリン」カ「シート」ノ或ル箇所ニ凝集シテ展開セサルノ虞アレハナリ、又々消毒スヘキ箇所ノ戸及窓等ノ立附カ極メテ緻

密ナランニハ目張ヲ爲スノ必要之レナキナリ、但シ強風ノ吹キ起ル場合ハ此限ニアラス、其他竈、煙突及空氣抜等ハ皆ナ古布等ヲ以テ閉塞シ置カンコトヲ要ス

年ノ内溫暖ナル月ノミニ限リテ此消毒法ヲ行フコトト爲シタランニハ、空間ノ立方呎每一千呎ニ就キ「フオルマリン」十「オンス」乃至十二「オンス」ニテ足ルヘキナリ

此消毒法實行ニ要スヘキ時間ハ四時間乃至六時間タルヘク、既ニシテ此時間ヲ經過シタランニハ戸及窓ヲ開放センコトヲ要ス、尙ホ出來得ヘクンハ消毒シタル「シート」ヲ他ノ箇所ヘ携ヘ行カンコトヲ要ス、此消毒法ニテハ「シート」ノ質ヲ傷害スルコト更ニ之レナキモノト知ルヘシ

「フオルマリン・アルミニウム」硫化石灰消毒法

此消毒法ヲ行ハンニハ左記ノ如キ手續ニ從ハンコトヲ要ス、曰ク先ツ市中ニ販賣スル所ノ硫化「アルミニウム」ニ封度半ヲ買ヒ求メ、熱湯ニ「クオート」(「クオート」ハ凡ソ我六合餘ニ當ル)、ヲ以テ之ヲ溶解シ二三時間其儘ニナシ置クヘシ、斯クテ此ノ溶液「クオート」ニ三「クオート」ノ「フオルマリン」ヲ加ヘ、之ヨリ得タル溶液ヨリ「フオルマリン」瓦斯ヲ發セシメント欲セハ之ニ生石灰ヲ混和センコトヲ要ス、但シ其混和ノ割合ハ石灰一封度ニ就テ此溶液十「オンス」ナランコトヲ要ス、蓋シ此二者ヲ混和セサルニ先ンシテ石灰ヲ充分ニ粉末ニナシ置クヘク、左スレハ容易ク冷水ニテ融和スヘキナリ、斯ク粉末ニナシタル石灰ヲ桶若クハ其他ノ器ニ入レテ右ノ溶液ヲ注クヘシ、斯ク二者ヲ混和セシメテヨリ二十分乃至三十分經過シタ

一九三

ランニハ「フオルマリン」瓦斯、蒸氣等發生スヘキナリ、其發生シタル量ハ前述シタル「フオルマリン、過マンガン酸カリウム」ニ比スレハ、甚タ僅少ナルモノナレトモ適當ナル氣候ニ際シテ之ヲ用ヒタランニハ好結果ヲ生スルニ相違ナシ、然レトモ此消毒法ハ天氣寒クシテ乾燥シタル場合ニハ用フヘカラス  
右ニ掲ケタル如ク「フオルマリン、アルミニウム」硫化溶液殆ント十五「オンス」石灰一封度半アリタランニハ毎ニ空間一千立方呎ヲ消毒スルニ足ルヘキナリ、但シ此瓦斯ノ百分比例ハ甚ハタ少量ナルカ故ニ、電、空氣拔等ハ嚴重ニ閉塞シ其他ノ孔隙等ハ皆目張ヲシテ瓦斯ノ逸出ヲ豫防セサルヘカラス、此消毒法ニ要スヘキ時間ハ四時間乃至六時間ニシテ各室ニ施行センコトヲ要ス

然レトモ此瓦斯ヲ發生スヘキ方法ハ「フオルマリン、過マンガン酸カリウム」ニ比スルモ不利ナル點少ナカラス、「シート」消毒法程有效ナルモノニアラス、故ニ此方法ヲ用フルコトハ稀レナリト知ルヘシ

#### 「バラホルム」消毒法

此消毒法ハ取り分ケ狭小ナルケ所ヲ消毒スル場合ニ用ヒラルヘキモノトス、但シ其消毒スヘキケ所ノ濕氣濕氣ノ度合ハ既ニ記載シタル他ノ消毒法ノ場合ト同一ナルモノト知ルヘシ

抑モ「バラホルム」ナルモノハ「フオルマリン」瓦斯ノ重合體ノ一ニシテ、其質綠焰ニ燃ヘ易キ白色ノ粉ナリ而シテ之ヲ消毒品トシテ用ヒントスル場合ニハ、之ヲ熱セシメテ「フオルマリン」瓦斯ニ變セシメンコトヲ要ス、然レトモ之ヲ燒却セシメサル様注意センコトヲ要ス、燒却セシメタランニハ其瓦斯ヲ皆無ニ歸セシ

ムヘキ虞アレハナリ、「バラホルム」ヨリ「フオルマリン」瓦斯ヲ製出スルノ良法ハ之ヲ金屬製ノ器ニ入レテ「ラムブ」若クハ「アルコール」焰火ニ掛ケルコト是レナリ、特別製ノ「ラムブ」若クハ其他ノ裝置ヲ用フルモ固ヨリ妨ケナシト雖モ、通常ノ錫製ノ杯ニテ「バラホルム」ノ「オンス」乃至二「オンス」ヲ熱セシムルノ手段ニ出ルモ不都合ナルヘキナリ、乃チ「バラホルム」ヲスル杯ニ入レテ之ヲ焰火ノ上ニ掛クヘシ、但シ其火力ノ餘リニ強カラサル様注意センコトヲ要ス、若シ其火力強キニ失シタランニハ此瓦斯ヲ生スルコト能ハサレハナリ、此消毒法ヲ行ハント欲スル場合ニハ其ケ所ヲ嚴重ニ密閉シ、各孔隙ハ皆ナ是レ目張ヲセンコトヲ要ス、而シテ消毒ニ要スル量如何ト云フニ、「バラホルム」二「オンス」アリタランニハ空間一千立方呎ヲ消毒スルニ足ルヘキナリ、此消毒ニ要スル時間ハ四時間ニテ足ルヘク、尙ホ必要ト認メタランニハ「バラホルム」ヲ盛リタル器物ノ下邊ノ焰火ハ、消毒執行中絶ヘス燃ヘツツアリテ然ルヘキナリ

「バラホルム」溶液ヲ製出シテ之ヲ用フル方法順序ハ前述シタル「フオルマリン、過マンガン酸カリウム」消毒法ノ場合ト同一ナリト知ルヘシ、今マ「バラホルム」ヲ調製シテ消毒用ノ材料ト爲スヘキ方法順序ヲ掲クレハ概ネ左ノ如シ、曰ク熱湯八「オンス」ヲ以テ「バラホルム」二「オンス」ヲ溶解シ、此溶液ヲ「過マンガン酸ポッタース」五「オンス」ノ上ニ注カンコトヲ要ス、但シ此「過マンガン酸ポッタース」ハ二「ガロン」入ノ器物ニ入レアリシモノト知ルヘシ、是レ則チ空間一千立方呎ヲ消毒スヘキ量ニシテ其消毒ノ方法手續ハ總テ「フオルマリン、過マンガン酸カリウム」消毒法ト同一ナリト知ルヘシ

今マ消毒用トシテ市上ニ販賣セラレル所ノ「バラホルム」ハ蠟燭狀及其他ノモノ之アリト雖モ、左記ノ一事ハ之ヲ取扱フモノノ念頭ニ置カサルヘカラス、曰ク其化合物中ニ可燃性ノ物質アリタランニハ之ヲ避ケンコトヲ要ス、是レ他ナシ若シ燃燒シタランニハ「フォルマリン」瓦斯モ共ニ滅盡スヘケレハナリ「バラホルム」ヲ買入レントスル場合ニハ最モ純精ナルモノヲ擇ハサルヘカラス、效力ノ不慥ナルモノハ勤メテ避ケンコトヲ要ス

#### 亞硫酸消毒法

亞硫酸消毒法ナルモノハ空氣ノ濕リタル場合ニ於テ物ノ表面ヲ消毒スルニハ最モ有效ナルモノナリ、亞硫酸ハ滲透力餘リニ強カラス又芽胞ヲ殺スニモ足ラサルナリ、然レトモ最モ都合好ク之ヲ適用シタランニハ傳染病ノ傳染性ヲ滅却スルニ足ルヘキナリ、但シ有芽胞性ノ細菌ハ此限ニアラス、又タ乾燥シタル亞硫酸ハ殺菌力ヲ有セサルナリ、然レトモ空氣ノ濕リタル場合ニハ亞硫酸瓦斯一變シテ硫酸トナルナリ、既ニ硫酸ト一變シタル以上ハ病原菌ヲ滅殺スルノ力アリト雖モ、物ヲ消毒スルニハ不適當ナリト謂フヘキナリ、即チ家庭内ニ於テ家具織物類ニ傷害ヲ與フルハ免カレサル所ナリ、然レトモ鼠族、蠅、蚤杯傳染病ヲ蔓延セシムヘキ蟲類ヲ滅殺スヘキカ故ニ船舶、厩舎、野小屋、倉庫等ノ消毒ニ適用セララルヘキナリ

濕氣ノアルケ所ニ於テ亞硫酸消毒法ヲ行ヒタランニハ、其ケ所ニアル所ノ金屬ハ概ネ酸化セスマンハアラス然レトモ豫シメ何物ニテカ其金屬ノ表面ヲ蔽ヒ置キタランニハ其憂ヒナカルヘキナリ、此外綿布「リンネ」ルニ毛織物等ノ色ヲ變シテ白色タラシメ其質ヲモ害スヘケレハ注意セサルヘカラス、又粉類ヲ害スルノ恐ナルヲ以テ之ヲ桶杯ニ入レテ之ヲ避ケンコトヲ要ス、此外肉汁、珈琲、茶、砂糖、燐寸等何等ノ豫防法ヲモ爲サスシテ其儘ニ打チ棄テ置キタランニハ害セララルヘキナリ、時計ノ如キモ亦タ然リ、濕氣アリタランニハ壁紙モ其害ヲ免カルルコトヲ得ス

亞硫酸ヲ以テ生活機能ヲ有スル病芽ヲ滅殺センニハ濕氣ナカルヘカラス、蓋シ此濕氣ナルモノハ人爲ヲ以テ製出シ得ラルヘキナリ、然レトモ濕リタル天氣或ハ船舶ノ胴間(常ニ濕氣アル所)等ハ故ラニ人爲的濕氣ノ必要之レナキモノト知ルヘシ

亞硫酸瓦斯ヲ以テ消毒セントスルケ所ハ最モ嚴重ニ密閉センコトヲ要ス、即チ戸、窓、鍵穴、空氣抜其他ノ孔隙ハ皆ナ目張ヲスルカ、其他ノ方法ヲ以テ之ヲ密閉スルカ如キコト是レナリ、此等ノ目張ニハ紙片ト粉製ノ糊トヲ用アルヲ好シトス、勿論此等ノ準備ハ消毒法施行前ニ爲シ置クモノト知ルヘシ、既ニシテ消毒法了リタランニハ水ヲ以テ目張ヲシタルケ所ヲ濕ホシテ之ヲ取り去ランコトヲ要ス斯ク消毒スヘキケ所ニ右ニ述ヘタルカ如キ諸ロノ品物アリテ傷害サレントスル場合ニハ、消毒法施行前ニ之ヲ他ニ移サンコトヲ要ス、又タ消毒スヘキケ所ニ眞鍮其他ノ金屬製ノ器具アラン場合ニハ、其害ヲ避ケンカ爲メニ其面ニ「ワセリン」ヲ塗リ置カンコトヲ要ス

今マ亞硫酸消毒ノ重モナルモノヲ舉クレハ左ノ如シ

## 一 燒煮法

## 二 液體亞硫酸消毒法

## 三 棒狀硫黃消毒法

## 燒煮法

此消毒法モ亞硫酸ヲ發生セシムル消毒法中最モ廉價ニシテ最モ單純ナルモノナリ、此消毒法ニ要スル所ノ材料ハ僅カニ鍋埵、硫黃及「アルコホール」ノ少量アレハ足ランノミ、今マ其方法ヲ略叙センニ少量ノ「アルコホール」ヲ硫黃ニ注キ掛ケテ、尙ホ燃ヘ居ル石炭若干ヲ之ニ加ヘテ燃燒セシムヘシ、斯ク硫黃ノ燃燒スルニ從ツテ亞硫酸發生スヘク、硫黃ノ燃燒スルハ空氣中存生スル酸素ニ歸セサルヘカラス、故ニ硫酸瓦斯ノ發生スル速度モ其燃燒スルケ所ノ面積如何ニ關セスンハアラス、又タ此瓦斯ノ速カニ發生センコトヲ欲セハ其之ニ用フル埵ノ口廣クシテ且ツ淺カラシムコトヲ要ス。

通常和蘭式竈、鐵製「バケツ」ヲ用フト雖モ、其最良ナルハ一種ノ鍋埵是レナリ、所謂ル一種ノ鍋埵トハ何ソヤ、下底平遍ニシテ高サ殆ント四吋位アリ、其直徑ハ十二吋乃至十八吋ノモノ是レナリ、此外平タキ皿モ亦タ是レ必要ナリトス

今マ其レ空間一千立方呎ノケ所ニ於テ一封度ノ硫黃ヲ全ク燃燒シタリトセンカ、學說上ヨリ之ヲ云ヘハ亞硫酸一・一五%ヲ發生スヘキナリ、然レトモ其實際ニ至リテハ一%ヲ發生スルニ過キサルナリ、故ニ病原

菌ヲ滅殺センニ五%ノモノ必要ナリトセンカ、一千立方呎ノ空間ヲ消毒センニハ五封度ノ硫黃ヲ燃燒セサルヘカラス

既ニシテ消毒セラルヘキ空間ノ立方呎ヲ測知シタランニハ之ニ要スル硫黃ノ量ヲ定メンコトヲ要ス、即チ其硫黃ノ量ハ空間每一千立方呎ニ就テ五封度ノ割合ナリト知ルヘシ

而シテ各鍋埵ニ盛ル所ノ硫黃ノ量如何ト云フニ深サ一吋半乃至二吋ヨリ多カラサルヲ度トスヘシ、然レトモ時ニ或ハ此量ヨリ稍ヤ多キヲ要スルコトモアルヘキナリ、硫黃鍋埵ニ盛ランニハ其周邊ヲ高クシ其中一部ヲ窪クセンコトヲ要ス

團塊トナリタル硫黃ヲ用ヒントスル場合ニハ其幾分カヲ粉末ニナシ置カサルヘカラス、又タ消毒スヘキ箇所ヘ配置スル鍋埵數ハ其箇所ノ大サ如何ニ從ツテ差ナクンハアラス、而シテ其之ヲ据ヘ置クヘキ場所ハ床、卓子及「ストウブ」等ヲ好シトス

此消毒法ヲ行ハント欲スル場合ニハ左ノ如キ事柄ニ注意スル所ナクンハアルヘカラス、曰ク硫黃ノ燃燒スルニ從ツテ使用スル所ノ鍋埵カ甚ハタシク熱シ動モスレハ火ヲ發セントスル虞ナクンハアラス、故ニ燃燒セサル物質若クハ熱ノ爲メニ傷害ヲ受ケサル物質ヲ擇ンテ其鍋埵ノ臺ト爲サンコトヲ要ス、平タキ皿ニ一吋乃至二吋程水ヲ盛リテ其臺トナサンハ最モ適當ナルモノト謂フヘキナリ、是レ獨リ發火ノ豫防法タルノミナラス、硫黃消毒法ヲ行フニ際シテ最モ必要ナル濕氣ヲ生スルノ利アルモノ、所謂ル一舉兩得ナルモノ



是レナリ、若シ又タ皿ヲ用フルコト能ハサル場合アリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ陶器製若クハ金屬製ノ板ノ上ニ彼ノ鍋埵ヲ据ヘ置キテ形ノ如ク取り扱ハンコトヲ要ス、其ケ所ノ空氣カ濕潤シ居ラン場合ニハ完全ナル消毒法ヲ行フコトヲ得ヘキナリ、今ハ學說上ヨリ之カ論定ヲ下セハ硫黃一封度ヲ燃ス毎ニ水三「オンス」ヲ蒸發セシムレハ足ランノミ、既ニ「アルコホール」ヲ硫黃ニ注クモ諸事ノ準備夫々整頓スルニアラスンハ決シテ點火スヘカラス、然レトモ之ニ點火スルニ就テ最モ安全ナル方法ハ、燐寸ヲ擦一擦シテ點火スレハ其儘餘燼ヲ鍋埵中ニ投スルコト是レナリ、斯ク點火シテ後尙ホ數分時ハ硫黃ノ臭氣發セサルカ故ニ、作業者ハ尙ホ引續キテ他ノ數個ノ鍋ニモ點火シ得ヘキナリ、斯クテ各鍋埵共ニ皆ナ善ク燃ヘ居ルヤ否ヤヲ視察シ出口ヲ閉塞シ其他ノ孔隙ヲモ一々目張ヲナサンコトヲ要ス

硫黃ノ燃燒スルコト半時間ニ及ヘル時目張リスヘキ孔隙ノ等閑ニセラレタル所アルヤ否ヤヲ視察シ、若シアリタランニハ直チニ閉塞センコトヲ要ス

消毒シタル箇所ハ閉塞シタル儘ニテ十二時間打棄テ置キ、而シテ後戸及窓等ヲ明ケ放チテ殘留セル硫黃ノ臭氣ヲ排除センコトヲ要ス、斯ク戸窓等ヲ明ケ放チタリト雖モ尙ホ一時間ハ其内ニ入ルコトナカレ、凡ソ消毒シタル室内ハ戸窓等ヲ明ケ放チタル後通常二時間乃至三時間經過シテ入ルヲ善シトス、

#### 液體亞硫酸消毒法

此消毒法ヲ前述セル消毒法ニ比シテ僅カニ其製出法ニ於テ差アルノミ、大體ニ至リテハ同一ナリト謂フベ

キナリ

此方法ニ從フ時ハ短時間ニ多量ノ亞硫酸ヲ製出スルコトヲ得ヘキナリ、然レトモ之ヲ製出スル費用ニ至リテハ其間最モ甚タシキ差ナクンハアラス、即チ前者ノ費用ヲ一ト算スレハ後者ノ其レヲ十ト算スルカ如キコト是レナリ、然レトモ他ノ方面ニ於テ益スル所ナクンハアラス、液體亞硫酸ヲ用フルノ方法ハ甚タ單純無造作ニシテ且ツ發火スルノ虞ナキカ如キコト是レナリ、而シテ此等ノ液體ハ通常罐詰トシテ市場ニ販賣シ居レルカ故ニ必要丈ケノ量ヲ購求スルニ便利ナリ、消毒ノケ所ニ必要丈ケノ罐數ヲ集メテ上部ノ鉛管ヲ同時ニ切り離セハ足ランノミ、此際其液體ノ發散スルコト餘リニ迅速ナランニハ其罐ヲ金屬製若クハ陶器製ノ容器ニ入レンコトヲ要ス

消毒用ニ充テンカ爲メニ亞硫酸五%ヲ得ント欲セハ空間每一千立方呎ニ就テ液體亞硫酸十封度ヲ用ヒンコトヲ要ス、故ニ先ツ消毒スヘキケ所ノ空間ノ立方呎如何ヲ計算シテ次ニ之ニ適應スヘキ亞硫酸ヲ用意センコトヲ要ス此消毒法ヲ用フル場合ト雖モ矢張り墮用消毒法ト等シク、其ケ所ニアル所ノ物品ノ傷害セラルルヲ豫防セサルヘカラス、若シ又隣室ノ若干ヲモ併セテ消毒スヘキ場合アリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ其間仕切ヲ明ケ放チテ共ニ消毒センコトヲ要ス、且ツ亞硫酸ノ容器ニシテ管若クハ「サイホン」ノ仕掛ケアランニハ、之ヲ利用シテ鍵穴等ヨリ亞硫酸液ヲ注入センコトヲ要ス、此消毒法ヲ行フテ後十二時間ハ其儘ニナシ置カンコトヲ要ス

此消毒法カ瘻用消毒法ニ比較シテ著シク不便ヲ感スルハ濕氣ヲ生セサルコト是レナリ、蓋シ濕氣ナルモノハ亞硫酸消毒法ヲシテ最モ有效ナラシムルニ必要ナレハナリ

#### 棒狀硫黃消毒法

此消毒法ナルモノハ實際消毒ヲ目的トスルモノニアラス、只だ殺虫ノミノ目的ニ使用セラルルモノナリ、而シテ之ヲ用フルノ方法ニ至リテハ殺蟲品トシテ硫黃ノ事ヲ論述スル條下ニ於テ記載スルコトアルヘシ

#### 化學的溶液

#### 昇汞

昇汞ノ純粹ナルモノニ至リテハ白色ノ結晶體ニシテ水ニ溶解シ易キモノナリ、彼ノ無結晶體ニシテ水ニ溶解シ難キ甘汞トハ全ク異ナルモノト知ルヘシ  
今マ市場ニテ販賣セラルル所ノ『防腐劑』ナルモノハ通常昇汞ヨリ成レルモノナリ、昇汞ノ水ニ溶解セラレタル場合ハ其色純清ナルヨリ之ヲ防腐劑タラシメンニハ、人爲ニテ之ヲ變色(綠色)シテ有毒性ニ變スヘキ機會ヲ減少センコトヲ勤メタリ

昇汞ハ吾人ノ有スル最モ強力ナル殺菌劑ノ一ナレトモ他ノ方面ニ於テ不都合ナル點ナクンハアラス、蛋白質ヲ有スルモノト化シ易クシテ金屬ヲ腐蝕シ有毒性トナルカ如キコト是レナリ、故ニ唾液其他ノ排泄物等ヲ消毒スルノ材料タラシムヘシト勤ムヘキモノニアラス

昇汞ノ一ハ冷水十六ト熱湯三トヲ以テ溶解セラルヘキナリ、凡ソ昇汞ヲ溶解セントスル場合ニハ先ツ之ヲ粉末ニナシ置カサルヘカラス、既ニ之ヲ粉末ニナシタルモノニテモ尙ホ且ツ溶解シ難キ場合アリ、然レトモ之ヲ溶解スルニ海水ヲ用フルカ若クハ水ニ幾分カノ鹽ヲ混和シタランニハ一層溶解シ易キモノト知ルヘシ、且ツ之ヲ溶解センカ爲メニ用フル水ハ全ク有機物ノ混和シ居ラサル純清ノモノナランコトヲ要ス、兎ニ角之ヲ溶解センニハ水ヨリ寧ロ熱湯ノ方然ルヘキナリ

昇汞ノ溶液ヲ傳染病ノ消毒ニ用ヒントスル場合ニハ通常一千倍ノ溶液ニテ然ルヘシ、尙ホ之ヲ詳言スレハ昇汞一ヲ水一千ニテ溶解シタルモノ是レナリ、例之ヘハ一千「オンス」ノ水ヲ以テ一「オンス」ノ昇汞ヲ溶解シタルモノナリ、今マ五百倍ノ溶液ト云ハンモ矢張り同一ノ理ニテ五百「オンス」ノ水ヲ以テ一「オンス」ノ昇汞ヲ溶解シタルノ謂ナリ、其他二百倍、三百倍ノ溶液ト云フモ畢竟スルニ此理ニ外ナラサルナリ、而シテ此溶液ヲ製出センニハ陶器若クハ木製ノ器ヲ用ヒンコト最モ都合好カルヘキナリ、又々此溶液ニ僅カニ藍色カ若クハ其他ノ色ヲ着ケタランニハ誤ツテ之ヲ飲ムノ憂ヒナカルヘキナリ

病毒ノ感染シタル衣服及寢具等ヲ消毒センニハ一千倍ノ昇汞水ヲ盛リタル桶ノ中ニ浸シテ、一時間其儘ニ爲シ置キテ後之ヲ取り出シテ善ク水ニテ洗濯スヘシ、左スレハ甚ハタ安全ナルヘキナリ然レトモ昇汞ハ元是レ媒染劑ナルカ故ニ好シ昇汞水ノ中ニ衣服杯ヲ浸シ置クモ、之ニ附着シ居ル斑點(血痕ノ如キモノ)ハ永久ニ拭ヒ去ルコト能ハス、昇汞ハ有毒ノ危險アレハ決シテ食器類ノ消毒用ニ供スヘキモノニアラス、然レ

トモ病毒ノ感染シタル床、卓子、木製ノ寢臺、椅子、壁等ハ一千倍ノ昇汞水ニテ消毒シテ然ルヘキナリ、斯ク昇汞水ニテ消毒センニハ柄ノ着キタル雑巾ヲ用ヒンコトヲ要ス、而シテ床及其他ノ表面ニハ充分此溶液ヲ含マセ置キテ其儘乾カサシメンコトヲ要ス、顔面ヲ除クノ外手其他ノケ所ハ一千倍ノ昇汞水ニテ之ヲ洗フモ決シテ害ナカルヘキナリ

前ニモ述ヘタル如ク糞、尿、唾液其他蛋白質ヲ有スルモノハ昇汞水ニテ消毒スヘカラス、但シ他ニ消毒用ニ供スヘキ材料全ク之レナク萬止ムヲ得サル場合ハ五百倍ノ昇汞水ヲ用フヘキモノトス

所謂『防腐劑』ナルモノハ通常水ニテ溶解セラルヘキモノナリ、而シテ所要ノ效力ヲ得ンニハ其容器ノ表面ニ記載サレタル所ニ從ハンコトヲ要ス、但シ此防腐劑ハ昇汞水ノ少量ヲ要スル場合ニ限リテ必要ナルモノナリ、即チ千倍ノ昇汞水ハ之レヨリ容易ク得ラルヘキナリ、病人ニ接スルカ若クハ病毒ニ感染セル物品ニ觸レタル後其手ヲ洗ハンニハ斯ル溶液ヲ用ヒンコトヲ要ス、但シ此溶液ヲ以テ手ヲ洗ハントスル場合ニハ、先ツ石鹼ト水ヲ以テ洗フタル後二分間乃至五分間ヲ費シテ此溶液ニテ洗ハンコトヲ要ス

「フォルマリン」

「フォルマリン」(「フォルムアルデヒド」瓦斯ヲ水ニテ溶解シタルモノ)ハ價値アル消毒品ト謂フヘキモノナリ、其作用カ蛋白質ヲ有スル物品ノ爲メニ阻害サレヌ點ニ至リテハ昇汞ヨリ優レル所ナクンハアラス、且ツ腐蝕質ヲ有セサルカ故ニ此消毒法ヲ行フタルカ爲メニ通常物品ノ傷害ヲ受クルコト是レナキナリ、且

ッ防臭劑トシテ有效ナルモノニシテ昇汞程甚タシキ毒性ヲ有セス

「フォルマリン」ハ「フォルムアルデヒド」瓦斯ノ三五%乃至四〇%ヲ有スルモノナリ然レトモ其百分比例ヲ舉ル場合ニハ「フォルムアルデヒド」瓦斯ノ百分比例ニアラスシテ「フォルマリン」ノ百分比例ナリト知ルヘシ、例之ヘハ一%ノ「フォルマリン」溶液中ニハ「フォルマリン」ヲ含メルコト百ニ對スル一ノ割合ナリ然レトモ「フォルムアルデヒド」瓦斯ヲ含メルコトハ二百五十ニ對スル一ニ過キサルナラム、但シ是レハ「フォルマリン」中ニ四〇%ノ「フォルムアルデヒド」瓦斯ヲ含メル場合ナリト知ルヘシ、斯ル次第ナルカ故ニ五%ノ「フォルマリン」溶液ヲ製出セント欲セハ水十九容積ニ對シテ「フォルマリン」一容積ヲ加フヘク一〇%ノ容積ヲ製出センニハ水九容積ニ對シテ「フォルマリン」一容積ヲ加ヘンコトヲ要ス

「フォルマリン」ハ糞、尿、唾液及此等ト同様ノ排泄物ヲ消毒スルニ最モ效用著シキモノナリ、是レ他ナシ斯ル排泄物ヲ消毒スルト同時ニ其臭氣ヲモ併セテ防止スヘケレハナリ、而シテ斯ル消毒ヲ爲サンニハ五%ノ溶液ヲ用ヒテ一時間ヲ費ヤサンコトヲ要ス、此消毒法ヲ行ハンニハ消毒液ト消毒スヘキモノトヲ充分ニ混和セシメサルヘカラス、斯ク二者ヲ混和セシメンニハ勢ヒ消毒液ノ方稀薄ナルヘケレハ其レ丈ケノ猶豫ヲ見越ササルヘカラス、例之ヘハ糞便一「ビン」ヲ消毒センニ五%ノ「フォルマリン」溶液一「ビン」ヲ混和シテ然ルヘシト思惟セラルル場合アリトセンカ、斯ル場合ニ於テ一〇ノ「フォルマリン」溶液一「ビン」ヲ用フルカ如キコト是レナリ

「フォルマリン」ハ病室ニ用フルコトヲ得ス、是レ其瓦斯カ苦惱ヲ起サシムレハナリ  
 病毒ニ感染シタル麻布寝具類ハ五%ノ「フォルマリン」溶液ニ一時浸シテ消毒センコトヲ要ス

「フォルマリン」消毒法ハ其瓦斯ノ刺激ヲ避ケシメンカ爲メ戶外ニテ行ハンコトヲ要ス

純粹若クハ稀薄ノ「フォルマリン」僅カニ數滴ヲ落スモ尙ホ且ツ大便所小便所等ノ臭氣ヲ防止スルヲ得ヘキ  
 ナリ

### 石炭酸消毒法

此消毒法ハ甚タ要用ナルモノナリ、抑モ石炭酸ハ透徹スヘキ臭氣ヲ有シ且ツ強クシテ燒クカ如キ味ヲ有シ、  
 有毒ニシテ物ヲ腐蝕セシムヘキ質ヲ有スルモノナリ、純石炭酸ハ通常ノ溫度ニテ結晶シテ固體トナレルモ  
 ノナリ、然レトモ之ニ熱ヲ加フルカ若クハ之ニ少量ノ水例之ヘハ五%ノ割ニ水ヲ加フレハ變ジテ液體トナ  
 ルヘキモノナリ

石炭酸ハ其殆ント十五倍ノ冷水ニテ溶解セラルヘキナリ、例之ヘハ「ビント」(殆ント十六「オンス」ニ當  
 ル)冷水ニテ石炭酸一「オンス」ヲ溶解スヘキナリ。即チ石炭酸六%ノ溶液是レナリ

今マ水ニテ石炭酸ヲ溶解セシメンハ困難ナル所アルヲ以テ彌ヨ確實ニ之ヲ溶解セシメント欲セハ熱湯ヲ注  
 キテ攪動センコトヲ要ス

石炭酸ヲ消毒ノ目的ニ用ヒント欲スル場合ニハ通常三%乃至五%ノ溶液ヲ用ヒンコトヲ要ス、而シテ三%

ノ溶液ヲ得ント欲セハ九十七ニ石炭酸三ヲ加フヘク、五%ノ溶液ヲ得ント欲セハ水九十五ニ石炭酸五ヲ加  
 フレハ足ランノミ

右ノ如ク溶解セラレタル石炭酸ノ力ハ最早ヤ織物類、色物、金屬ヲ傷害スヘキモノニアラス、故ニ消毒ノ  
 材料トシテ之ヲ用フルノ範圍自カラ廣クナレリ、且ツ蛋白性ノ物品ヲ凝結セシムルコト之レナキカ故ニ大  
 小便其他唾液等ノ消毒法ニハ最モ必要ナルモノトナレリ、今マ五%ノ溶液ヲ以テ排泄物ヲ消毒セント欲ス  
 ル場合ニハ二者ヲ等分ニ混和シテ一時間其儘ニ打チ棄テ置カンコトヲ要ス

麻布、寝具等ヲ消毒センハ三%ノ溶液中ニ一時間浸シ置カンコトヲ要ス、床若クハ壁等ノ塵埃ヲ掃除セ  
 ンニモ亦タ是レ同様ノ溶液ヲ用ヒテ效果アルヘキナリ、又タ病毒ノ感染シ居ルナラント思惟セラルルモノ  
 例之ヘハ寝具其他唾壺等ヲ取り扱フタランニハ、其都度々々必ラス其手ヲ洗ハサルヘカラス、但シ其手ヲ  
 洗ハンニハ二・半%ノ石炭酸溶液ヲ以テ二分間乃至五分間ヲ費シテ洗ハサルヘカラス、斯ル溶液ヲ以テ手ヲ  
 洗フノ場合ニ於テ石炭酸ノ爲メニ感覺ヲ失フノ虞アルニ依リ、亞留格保留ヲ飽和シタルモノニテ更ニ洗ハ  
 ンコトヲ要ス、然レトモ石炭酸ハ芽胞ヲ滅殺スヘキ力ナキカ故ニ破傷風、炭疽熱若クハ悪性水腫ノ感染ヲ  
 防クコト能ハサルナリ

市上ニテ賣買セラルル所ノ天然ノ儘ナル石炭酸ハ黑色ニシテ「タール」質ヲ有シ諸種ノ化合物ヨリ成レルモ  
 ノナリ、而シテ其化合物中ノ或ルモノノ殺菌力ハ純石炭酸ヨリ一層強キモノナレトモ、生石炭酸ヲ水ニテ

溶解シタランニハ其力甚ハタ微弱ナルモノナリ、故ニ生石炭酸ハ之ヲ消毒用トスヘキ價値アルヤ否ナ尙ホ疑ハシキ所アリト謂ツヘキナリ、或ル衛生家ノ説ニ曰ク生石炭酸ヲ排泄物ノ消毒用ニ充テンニハ、排泄物

一ニ對スル石炭酸二ノ割合ナラサルヘカラスト  
生石炭酸ハ最モ不快ナル臭氣ヲ有スルモノニシテ之ヲ用ヒタル後嫌惡スヘキ「タール」質ノ殘物ヲ生スルモノナリ然レトモ生石炭酸ハ純石炭酸ヨリ一層廉價ナルモノナリ、而シテ之ヲ稀薄ニスヘキ度合ヲ増シ且ツ用後生スル所ノ「タール」質殘物ヲ除去スルノ方法タニ見出サレタランニハ、責メテ大小便及唾液等ノ消毒用ニ充テラルヘキナリ

「トリクレゾール」消毒法  
Tricresol

「トリクレゾール」消毒法ハ其用法純石炭酸消毒法ト全く同一ナルモノナリ、但シ兩者ノ間異ナル所ハ「トリクレゾール」ノ殺菌力ハ純石炭酸ニ比スレハ殆ント三倍ナリトス、故ニ芽胞ヲ殺ス場合ニ於テ主トシテ用ヒラル、モノナリ、「トリクレゾール」ハ水ニテ二・半%ノ溶液トナスヘキモノナリ、即チ「トリクレゾール」一ヲ水四〇ニテ溶解サレタルモノ是レナリ、一%乃至二%ノ溶液ヲ前述セル石炭酸ト同一ナル有様ニテ同一ノ目的ニ使用セラレタランニハ、通常ノ消毒法ニハ效力アルモノト謂フヘキナリ

「リゾール」及「クレオリン」消毒法  
Lysol. Creolin.

此消毒法ノ實行ハ石炭酸及「トリクレゾール」消毒法ト同一ニシテ、消毒ノ種類モ亦タ是レ同一ナラスンハ

アラス

殺菌力ハ「トリクレゾール」ト同等ニシテ其用法モ亦是レ石炭酸及「トリクレゾール」ト同様ナリ、一%乃至二%ノ溶液トシテ用フ

害蟲滅殺ノ動力

凡ソ消毒法ヲ施行スル場合ニ於テ之ト共ニ害蟲ヲ滅殺スルコトハ往々アリ得ヘキコトニシテ決シテ珍ラシカラサルナリ、是レ他ナシ病原菌滅殺ノ方法ハ他ノ害蟲ヲモ滅殺シ得ヘケレハナリ、但シ消毒法トシテ「フオルムアルデヒド」瓦斯ヲ用フル場合ハ此限ニアラス、「フオルムアルデヒド」瓦斯ハ病原菌ヲ滅殺スルニハ最モ效力大ナリト雖モ、他ノ動物ヲ滅殺スルノ效力殆ント之レナケレハナリ、斯クテ瓦斯の消毒法ニテ蟲類滅殺ヲ計ラント欲スル場合ニモ、其方法手段ハ全く同一ナラスンハアラス  
然レトモ動物滅殺ノ目的ヲ以テ瓦斯の消毒法ヲ行ハントスル場合ニハ、通常其力ヲ一層弱クシ且ツ其時間ヲ一層短カクセンコトヲ要ス瓦斯力ヲ以テ蟲類ヲ滅殺セント欲スル場合ニハ其蟲類ノ逸出セサル様充分ニ注意ヲ拂ハサルヘカラス、即チ其滅殺法ヲ行フ間ハ其箇所ノ出口ノ一ヲ悉ク閉塞スヘク、又其小動物ノ潜伏スヘキ戸棚、本箱、抽斗等悉ク皆開放シテ瓦斯ノ入り込ミ易キ様爲スカ如キコトコレナリ  
昆蟲類滅殺法ヲ分チテ左ノ三種トス

一、硫黃薰蒸法、(Sulphur)

## 二、青酸瓦斯、(Hydrocyanic acid gas)

## 三、菊粉法、(Pyrethrum)

## 硫黄熏蒸法

硫黄熏蒸法ハ吾人ノ知り得タル範圍内ニ於テ最モ價値アル最モ有力ナル殺蟲法ノ一タリ、而シテ其用法ハ數種アリ

亞硫酸瓦斯此瓦斯ノ製造法ハ既ニ前段ニ於テ述ヘタルカ故ニ、今マ此篇ニ於テ述ヘント欲スル所ハ病原菌ヲ滅殺スル方法ト蟲類ヲ滅殺スル方法トノ差異ニ過キサレナリ

硫黄ヲ用ヒテ蟲類ヲ滅殺セントスル場合ニハ濕氣アルヲ要セサルナリ、乾燥シタル場合ニテモ濕氣アル場合ニテモ共ニ是レ同一ノ效力アルヘケレハナリ、人爲ヲ以テ濕氣ヲ造ルノ必要ナキノミナラス、其箇所ノ空氣カ乾燥シ居レハ居ル程其箇所ニ在ル所ノ器具物品ノ性質色合ヲ損スルコト益々少ナキモノナリ

出口及其他ノ虧隙ヲ充分ニ閉塞シテ硫黄一%ノ瓦斯ヲ用ヒタランニハ、二時間内ニ蠅及蚊杯ヲ滅殺スルコトヲ得ヘキナリ、若シ又其箇所ノ空氣カ適度ニ乾燥シ居タランニハ、其室内ニ於ル器具物品類ノ害セラルヘキコトモ至ツテ少ナカルヘキナリ

同シク二%ノ瓦斯ニテハ四時間内ニ鼠ヲ殺スコトヲ得ヘク、同シク五%ノ瓦斯ニテハ床蝨、虱等ヲ六時間内ニ殺スコトヲ得ヘシ、假令ヘ其内ノ幾干カハ虧隙等ニ遁レテ避難スルコトアルニモセヨ、所要ノ亞硫酸瓦

スヲ得ント欲セハ左ノ如キコトヲ念頭ニ留メ置カンコトヲ要ス、曰ク空間ノ一千立方呎ニ就テ硫黄一封度ヲ燃燒シタランニハ殆ント一%ノ瓦斯ヲ生スヘク、同シク二封度ヲ燃燒シタランニハ二%ノ瓦斯ヲ生スル等ノ事ヲ心得置クコト是レナリ

瓦斯ヲ生センカ爲メニ鍋埵方法ヲ用フルコトハ既ニ前述シタルカ如シ、今マ速カニ硫黄ヲ燃サント欲セハ深サ一吋以上ノ鍋埵ヲ用フヘカラス、水盤ノ必要之レナシト雖モ其鍋埵ハ煉瓦、砂、石若クハ此等ト同様ノ物ノ上ニ置キテ防火ノ手當ヲ爲サンコトヲ要ス、而シテ鍋埵ハ前ニモ述ヘタルカ如ク「アルコホール」ニ點火シテ熱セシメンコトヲ要ス

液體亞硫酸モ亦是レ蟲類滅殺ニ用ヒラルヘキナリ、但シ瓦斯ノ放散スル時間短カ、ランコトヲ要ス、而シテ液體亞硫酸ノ二封度ノ力ハ鍋埵方法ニシテ燃シタル硫黄ノ一封度ト匹適スヘキモノナリ、此瓦斯放散ノ方法ハ前述シタルカ如シ

蠟燭用方法カ時トシテ蠅及蚊ヲ滅殺シ若クハ瓦斯ノ少量ヲ要スル場合ニ用ヒラル、コトアリ、所要ノ蠟燭ノ重量ハ皆夫々異ナル所ナクンハアラス、然レトモ夫々定量ノアルヘキモノナリ、例之ヘハ蠅及蚊ヲ殺サシニハ每一千立方呎ニ就テ一封度半ヨリ少カラサル蠟燭ヲ要スルカ如キコト是レナリ、只タ要スル所ハ蠟燭ヲ煉瓦杯ノ上ニ置キテ之ニ點火スルノ一事アルノミ、通常容易ク燃ユルモノナリ、而シテ此方法實行ニ要スル時間ハ通常二時間ナリト知ルヘシ

青酸瓦斯

此瓦斯ハアラユル動物ニ對シテ甚ハダシキ害毒ヲ與フルモノナリ、鼠、甘口鼠、蚤、蚊、床蟲等最モ確實ニ又甚ハタ速カニ殺サルヘキナリ、然レトモ之ヲ取り扱フモノハ最モ經驗アルモノナランコトヲ要ス、不馴ノモノ之ヲ取扱フタランニハ甚ハタシキ危險アルヘキナリ、此瓦斯ハ元來激毒ナルカ故ニ僅カニ不注意ノ點アルモ終ニ生命ヲ損スコトアルヘキナリ、故ニ人ノ居住セル家屋内ニテ此方法ヲ行ハシハ實ニ危險ニシテ愚策ト云ハサルヘカラス、然レトモ鐵道列車、穀倉、厩、野小屋、時、空家等ニ於ル蟲類ヲ滅殺センニハ必要ナリト謂ツヘキナリ、而シテ此目的ヲ達センカ爲メニハ左記ノ三者ヲ左ノ分量ニ從ツテ化合セシメンコトヲ要ス

「オンス」

青酸加里 (Potassium Cyanide) ..... 五

硫 酸 ..... 五

水 ..... 一二・五

酸ト水トヲ混和セシメンニハ土燒ノ器物ヲ以テ之ヲ行ハシコトヲ要ス、是レ土燒ノ器物ハ二者ノ混和ヨリ生スル甚タシキ熱ニ抵抗シ得ヘケレハナリ、斯クテ生スル所ノ液體ノ冷却スルマデハ「チアン」ヲ加フヘカラス、此「チアン」ハ必要丈ケ目方ニ掛ケテ之ヲ或ル袋ニ入レ置キ、諸事準備ノ整フタル時彼ノ土器ノ

液體中ニ此袋ヲ投スヘシ、斯クテ器中ノ酸ハ其袋ヲ破リテ瓦斯ノ發生スルト共ニ「チアン」ト混和スヘキナリ、然レトモ此瓦斯ハ恐ルヘキ毒物ナルカ故ニ作業家ハ直チニ其室ヲ立去ラサルヘカラス

酸中ニ「チアン」ヲ投スルニ前述セル方法ヨリ尙ホ一層安全ナル方法アリ、其室ノ出口ノ戸ヨリ絲ヲ引キ來リテ恰カモ彼ノ土器中ニ盛りタル液體ノ上部ニ「チアン」入ノ袋ヲ吊シ置キ、而シテ作業家ハ戸口ノ所ニアリテ其絲ヲ引キテ「チアン」ノ袋ヲ振動セシメテ酸ト混和セシムルコト是レナリ

右ノ方法ヲ執行セント欲スル場合ニハ出來得ヘキ丈ケ嚴重ニ其箇所ヲ密閉シテ瓦斯ノ逸出ヲ防カンコトヲ要ス、而シテ消毒時間ハ一時間タルヘキモノトス、但シ其時間カ長ケレハ長キ程其窓及戸ヲ開放シタル時瓦斯ヨリ受クヘキ危險少ナキモノト知ルヘシ、斯クテ消毒時間カ經過シタラン場合ニハ外側ヨリ窓及戸ヲ開放スルヲ善シトシ、且ツ之ヲ開放スル間ハ呼吸セサル様注意センコトヲ要ス、如何ナル事情アリトモ此消毒法ヲ行フテ後八時間乃至十時間空氣ヲ流通セシメサル以上ハ決シテ其室内ニ入ルヘカラス

菊粉法

菊粉ナルモノハ只タ殺蟲ノ効力アルニ過キササルノミ、人類ニ對シテ決シテ有毒ナルモノニアラス、又或ル種類ノ家具ハ決シテ之カ爲メニ傷害セラレサルナリ、然レトモ蠅、蚤及蚊杯ヲ滅殺スルニ就テモ甚タ有力ナルモノト云フヲ得サルナリ、此等ノ蟲類中ノ或ルモノハ之カ爲メニ滅殺セラル、モ、他ノモノニ至リテハ其行動ヲ遲鈍ニスルニ過キササルナリ、故ニ此法ヲ行フタル後斯ク遲鈍ニナリタル蟲類ヲ拂ヒ棄ルカ或ハ

之ヲ燒却センコトヲ要ス

菊粉ノ用法ハ之ヲ分チテ二種トス、其粉末ノ儘ニテ之ヲ散布スルト之ヲ燒キテ薰蒸セシムルトノ二者是レナリ、今日市上ニテ販賣シ居ル所ノ波斯粉及其他ノ殺蟲粉ハ幾分カ菊粉ヲ含有セルモノナリ、而シテ此等ノ殺蟲粉ハ密閉シタル室内ニ於テ糶ヲ以テ席上ニ散布スルコトアリ、若クハ各虧隙暗然タル隅、戸棚、或ハ蚊、蠅、床蟲等ノ潜伏スヘキ特別ナル箇所ニ散布スルコトアリ、斯ク散布シテ二時間ノ後行ハレ得ヘクンハ此等ノ蟲類ヲ拂ヒ棄ツルカ若クハ燒却センコトヲ要ス

菊粉ヲ燃焼シテ蠅及蚊ヲ滅殺セントスル場合ニハ出來得ベキ丈ケ其室ヲ密閉センコトヲ要ス、或ル室内ニ於テ此方法ニ從ツテ斯ル蟲類ヲ滅殺セント欲スル場合ニハ一ヶ所ヲ除クノ外窓覆ヲ悉ク皆引キ下サンコトヲ要ス、斯ク一ヶ所ノ窓ノミヲ明ルクナシ置キタランニハ、此殺菌法ヲ施スト同時ニ此等ノ蟲類ハ殆ント皆明ルキ窓ノ所ニ飛ヒ來リテ斃ル、カ若クハ其自由ヲ失フヘキナリ、故ニ斯ク死シタルカ或ハ弱リ果テタル蟲類ヲ拂ヒ棄テンハ極メテ容易ナルヘキナリ、此方法ヲ施行センニハ通常戸及窓ノ目張りヲスルノ必要ナキナリ、

菊粉ヲ燃焼スヘキ分量如何ト云フニ每一千立方呎ニ就キ二封度乃至四封度ニテ足ルヘキナリ、而シテ之ヲ燃焼センニハ鍋埵、皿若クハ鐵製ノ「バケツ」ヲ用フヘク、而シテ其方法ハ鍋埵ニテ硫黃ヲ燃シタル場合ト同一ナリト知ルヘシ、而シテ之ニ要スル所ノ鍋埵ノ員數如何ト云フニ、是レ室ノ大サニ準スヘキモノニ

シテ毎鍋埵ニ菊粉四封度ヲ踰ヘサルヲ程度トナシ金屬若クハ石ノ臺ノ上ニ載セテ防火ノ用心ヲナサンコトヲ要ス

菊粉ヲ燃サントスル場合ニハ之ニ「アルコホール」ヲ灑キカケテ點火スレハ可ナリ、既ニアルコホール燃ヘテ菊粉モ共ニ燃ヘ出シタランニハ一種ノ匂ヒ生スヘキナリ、而シテ此方法執行ニ要スル時間ハ通常二時間タルヘシ、但シ夜間之ヲ行フタランニハ翌朝マテ其箇所ヲ閉塞シ置クモ妨ケナカルヘキナリ、斯クテ其箇所ヲ開放シタランニハ其蟲類ヲ拂ヒ棄ルカ燒却センコトヲ要ス、蓋シ此菊粉及其香氣ハ決シテ人類ニ害毒ヲ與フヘキモノニアラス、故ニ其箇所ヲ開放スルト均シク入り込ムモ更ニ危險ナカルヘキナリ

#### 局所ノ消毒法

各州間ノ商業用ニ充テラル、汽車若クハ汽船等ノ或ル局所或ル場所ニシテ傳染病患者ノ發生シタル場合アリトセンカ、斯ル場所ハ左ノ如キ方法ニ從ツテ消毒セサルヘカラス、否ラスンハ再ヒ之ヲ用フルコトヲ得ス、但シ特別ノ規定アル場合ハ此限ニアラス

右ノ如キ傳染病ノ發生シタル箇所及其箇所ニ在ル所ノ諸物品ハ「フオルムアルデヒド」瓦斯ヲ以テ消毒センコトヲ要ス、但シ「フオルムアルデヒド」瓦斯ノ量ハ其場所ノ空間每一千立方呎ニ就テ其溶液一「ピント」アランコトヲ要ス、而シテ此瓦斯製出法ハ前ニ述ヘタル所ト同一ナリト知ルヘシ、又タ此方法ニ從ツテ消毒スヘキ箇所ハ此瓦斯ノ逸出ヲ豫防スル手段ヲ取ランコトヲ要ス



消毒時間ニ長キヲ要スヘキモノト短カクシテ可ナルモノトノ別アリ、織物類ノ如キハ多少ノ滲透ヲ要スルガ故ニ自カラ消毒時間ヲ長クセサルヘカラス之ニ反シテ戸窓等ニ些少ノ虧隙ナク善ク密閉セラレタル空室ニテ其表面平滑ニシテ且堅固ナランニハ、其消毒時間最モ短カクシテ然ルヘキナリ

亞硫酸及「フオルムアルデヒド」瓦斯ノ消毒時間ハ無芽胞性細菌ヲ撲滅シ得レハ足ランノミ、但シ感染病毒ガ物ノ表面ニ留リ居ル場合ナリト知ルヘシ、然レトモ今マ假リニ室ノ構造カ瓦斯ノ散布ヲ妨クルカ如キコトアルカ、室ノ空氣カ乾燥シテ居ルカ、若クハ何等カノ事情ニテ瓦斯ノ病芽撲滅力ヲ減退セシムル場合アリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ其度合々々ニ應ジテ消毒時間ヲ長フスルカ、若クハ其他ノ方法ニ依頼セサルヘカラス

寢具、手拭及此等ノ物品ト同種類ノモノハ皆是レ瓦斯消毒ヲ行フタル後、5%石炭酸溶液等ノ内ニ少ナクモ一時間浸シ置クカ、若クハ之ヲ煮沸シ又ハ蒸氣ヲ以テ消毒センコトヲ要ス、敷物、窓掛、枕其他ノ織物類ハ之ヲ焼却スルカ若クハ蒸氣消毒ニ附センコトヲ要ス、床、壁其他液體ニテ傷害セラレサルモノハ、皆是レ5%ノ石炭酸溶液ヲ以テ之ヲ濕ホシ清潔ニセンコトヲ要ス

患者ノ排泄物ニテ汚染セラレタル織物類若クハ汚染セラレタルナラント思惟セラル、織物類ハ(イ)煮沸スルカ、(ロ)蒸氣消毒ヲ施スカ若クハ(ハ)消毒液ノ一ニ浸サンコトヲ要ス

料理及飲食ニ要スル所ノ器具ハ熱湯中ニ浸スカ若クハ蒸氣ヲ以テ消毒センコトヲ要ス、然レトモ此等ノ方

法ノ實行シ得ラレサル場合ニ於テハ、5%ノ石炭酸溶液中ニ少ナクモ一時間浸シ置キテ後能ク之ヲ洗ハンコトヲ要ス

衣服、織物、窓掛ノ類ハ以上掲ケタル消毒法(イ)ヨリ(ハ)ニ至ルマテノ内何レノ方法ニカ從ツテ消毒セン

コトヲ要ス、但シ「フオルムアルデヒド」瓦斯若クハ亞硫酸瓦斯ヲ用ヒント欲スル場合ニハ、此等ノ物質カ之カ爲メニ損害ヲ受クルコトナキヤ否ナヲ見定メンコトヲ要ス

船舶中ノ居室、船室及前甲板下ノ水夫室等ハ左記ノ方法中ノ一カ若クハヨリ以上ニ從ツテ消毒センコトヲ要ス

(イ) 亞硫酸消毒法、但シ此瓦斯ハ物質ヲ滅却スヘキ作用アルコトヲ念頭ニ置カンコトヲ要ス

(ロ) 「フオルムアルデヒド」瓦斯消毒法

(ハ) 昇汞水、5%ノ「ホルマリン」溶液若クハ5%ノ石炭酸溶液ヲ以テ洗滌スル方法、中ニ就テ石炭

酸溶液ハ光澤アル木、輝ケル金屬ノ消毒ニ適當ナルモノトス

前甲板下ノ水夫室、下等船客室及其他ノ居室ニシテ甚タ惡シキ衛生状態ナランニハ、先ツ(イ)法

ニ從ヒ次ニ(ハ)法ニ從ツテ消毒セサルヘカラス

敷物、枕及重量ノアル織物類ハ左ノ方法中ノ何レカニ從ツテ消毒センコトヲ要ス

(イ) 煮沸消毒法

- (ロ) 流動的蒸氣消毒法、(壓搾セラレタル蒸氣)
- (ハ) 壓搾セラレタル蒸氣消毒法
- (ニ) 真空的特別ノ裝置アル蒸氣消毒法
- 貨物運送ヲ專ラトセル船舶ノ船艙中ニアル所ノ荷物ヲ他ニ移スコト能ハス、其儘ニシテ消毒セントスル場合ニハ四%以上ノ亞硫酸ニテ消毒セントヲ要ス、且其荷物中ニ火災ノ起ランコトヲ豫防センニハ、亞硫酸ヲ製出センカ爲メニ電ヲ用ヒンコトヲ要ス
- 又タ甲鐵艦ノ空虛ナル船艙ヲ消毒センニハ左記ノ方法中ノ何レニカ從ハンコトヲ要ス
- (イ) 硫黃ヲ燃シテ製出シタル亞硫酸ヲ以テ消毒スル事、乃チ之ニ要スル所ノ硫黃ノ量ハ空間每一千立方呎ニ就テ五封度ヲ用フレハ足レリ、或ハ液體的亞硫酸十封度ヨリ製出シタルモノニテモ妨ケナシ、但シ此等ノ二者共ニ之ヲ實行スル場合ニハ充分ノ濕氣ナカルヘカラス、此消毒ニ要スル時間ハ二十四時間ナリトス
- (ロ) 一千倍ノ昇汞水ヲ以テ洗滌スル事

### ○淫賣婦ト道德トノ關係

#### 序 文

本書ノ編輯員ハ其材料蒐集ニ就テ他ノ人ノ援助ヲ受ケタルコト少ナカラス、此等ノ人々ニ對シテハ深ク感謝スル所ナリ、蓋シ淫賣婦ノ社會へ害毒ヲ流スコトノ甚大ナルハ今更言フヲ要セス、從ツテ此ノ害毒ヲ撲滅防止セントスルノ叫聲モ各所ニ起ラスンハアラス、而シテ本書編纂ノ主トシテ目的トスル所ハ淫賣婦ト道德トノ關係如何ヲ讀者諸君ニ知ラシメント欲スルニアリ、近頃發行サレタル皇立花柳病調査委員會ノ報告書ニ據レハ、今日當國ニ現存スル所ノ花柳病ノ害毒如何ヲ廣ク公衆一般ニ知ラシムルノ必要アリト云ヘリ、國會モ亦是レ此問題解決ニ就テハ既ニ活動スル所アリ、其他新聞ノ如キモ此問題ニ關シテ各方面ヨリ論述シ居レリ、又從來此問題如何ヲ知ラサリシ者或ハ之ヲ知ルト雖モ左マテ重キヲ置カサリシモノモ、今日ニ至リテハ最早黙止スルコト能ハス、之ヲ救済スルニ就テ適當ノ方法ヲ案出シ以テ活動セント欲スルニ至レリ、既ニ此問題ニ關シテ心志ヲ勞シタル人ニシテ基督教ノ信仰上ヨリ之ヲ救済セント欲スルモ、容易ノ業ニアラサルコトヲ了知スルナラン、而シテ此等ノ害毒ヲ救済セントスルニ就テ先ヅ第一ニ幫助ヲ與ヘント爲シタルハ、加登律幾教ヲ奉スル成年ノ婦人ニシテ此害毒ニ罹リタルモノヲ救済セントシタルモノ是レナリ、蓋シ此救済事業タルヤ加登律幾教徒ノ計畫スル所ニシテ、其教徒中ノ婦人ノ墮落セルモノヲ救

濟セント欲スルニ出テタルモノナリ、然レトモ加登律幾教ノ主義ヨリ之ヲ觀レハ獨リ同教徒中ノ墮落者ヲ救濟スルノミナラス、其レヨリ以外ノモノヲモ救濟センコトコソ望マシケレ、一タヒ此害毒ニ罹リタルモノハ其精神上ニ蒙フル所ノ病傷ノ重大ナルコト知ルヘカラサルナリ、早ク之ヲ救濟スルニアラスンハ遂ニ不治ノ症ニ陥キルヘキナリ、彼ノ歐洲大戰亂前ニ於テ加登律幾婦人協會ヨリ組織セラルヘキ萬國聯合會設立ノ計畫アリ、羅馬法王ノ承認ヲ經テ其設立趣意書中ニ「白人奴隸賣買廢止」問題ヲモ掲ケタリ乃チ此ノ萬國聯合會ノ重モナル目的ハ淫賣婦救濟ニアルコト勿論ナリト知ルヘシ、此萬國聯合會ハ實際尙ホ未タ設立セラレスト雖モ、其設立セラル、ハ遠キ將來ニアラサルヘシト信ス、蓋シ此聯合會ニ參加スル人々ハ基督教ノ義ニ基キテ淫賣婦救濟ノ方法ヲ講究セラルルハ今更贅スルヲ要セス、今マ子輩カ論述セル所ノ主意カスル人々ノ參考資料トナラハ子輩ノ望ミ亦タ足ランノミ

一千九百十六年十一月

エム、エフ、ゼー、エフ述

淫賣婦ト道德トノ關係

### 緒論

基督教々義ヲ闡明センカ爲メニ左記ノ如キ事柄ヲ研究スルノ必要アリトハ既ニ分リ切リタル事ニシテ、今事新シケニ喋々スルノ必要ナキナリ、曰ク神ノ存在、人生ノ複雜セル事、人生ニ天運アル事、罪惡ノ事實、一夫一婦及家族制度ノ神意ニ出ル事、男子及女子ノ道德上ニ制裁アル事等はレナリ、然レトモ此等ノ事柄

ヲ通俗談話的ニ敷衍シテ叙述センハ決シテ無用ノ事ニアラサルヘシ、今マ其次第ヲ述ント欲ス

淫賣婦問題ヲ研究センニ單ニ肉體上、經濟上若クハ社會上ノ見地ノミヨリ之ヲ研究セント欲スルモノ往々ニシテ之レアリ、斯ル研究ハ甚ハタ不充分ナリト云ハサルヘカラス、他ノ基督教團體ニ屬スル記者カ此問題ヲ精神上ノ見地ヨリ解決セント欲シテ時トシテ論述スル所アルモ、其論述スル所固ヨリ不充分ニシテ徹底スル所アラス、從ツテ讀者諸君ニ取リテモ之ヲ讀ンテ何等ノ益スル所アラサルナリ

又タ吾人ハ目今ニ於テ淫賣婦ノ原因ヲ研究調査シ從ツテ之カ救濟策ヲ考究セントスルニ際シテ、廣ク唱道セラルル所ノ或ル哲學ヲ講究スルノ必要ナクンハアラス、蓋シ此哲學タルヤ偶像教ニ基キテ人ノ心理狀態ヲ研究スルモノニシテ、其主義トスル所全ク基督教主義ノ倫理學ニ反對シ、其男女間ノ有様ヲ說クヤ基督教主義ヨリ尙ホ一層平等ナリシナリ

又タ過去時代ニ於テ基督教カ淫賣婦救濟ニ對シテ如何ナル行動ヲ取リタルヤト云フニ、暗黒時代トモ謂フヘキモノニシテ基督教ノ勢力甚タ微弱ナリシヨリ、此害毒ヲ除却スルコト能サリシナリ、蓋シ其當時ニアリテハ基督教主義ハ全ク孤立ニシテ理化學ノ方面ヨリ更ニ援助ヲ受ケサレハナリ、然レトモ目今ニ至リテハ其狀態全ク一變シタリシナリ此ニ於テカ此害毒救濟ニ關シテ注意ヲ深クシ考慮ヲ密ニシテ研究スルノ必要アリ、而シテ先ツ第一ニ此問題ニ關スル基督教ノ態度如何ヲ知ラサルヘカラス

### 解釋

人トハ何ゾヤ無形ノ精神能ク有形ノ體軀ヲ活動セシムルモノ是レナリ

體軀ハ生理的法則ニ從フヘキモノニシテ其大部分ハ意志ノ支配ヲ受ケス其發達、衰退及革新等自動的ト知ルヘシ、而シテ衰退及革新ト云ヘル内ニハ決シテ衰退セサル或者ノ潜在實在シ居ルコトヲ知ルヘキナリ、又タ生レテ搖籃ニアルノ始メヨリ死シテ塚穴ニ入ルノ終リニ至ルマテ自己アルヲ感スヘキナリ

人ノ本性及身體、人ハ男女ノ構造互ニ異ナル所アリト雖モ其有スル所ノ本性ニ至リテハ均シク是レ同一ナリト云ハサルヘカラス、其間決シテ優劣高下アルヘキモノニアラス、其他道德上ノ觀念モ亦是レ兩者ノ間差異アルコトナシ、又タ男女ハ互ニ相依リ相扶ケテ以テ社會ヲ組織スルノ基礎ヲ成スモノト謂フヘキナリ

人種ノ官能——人類ノ繁殖力、此繁殖力ハ人ノ意志ニ從ツテ活動スルモノナリ、凡ソ人ノ動作ハ其意志ノ指導支配ヲ受クヘク復タ其意志ハ宗教的及正義的觀念ノ指揮命令ニ從ツテ活動スルモノト知ルヘシ

自然ノ動作ノ道德ニ關係ナキ事、人ノ行動ニシテ天性自然ニ出ルモノハ尙ホ未タ善行若クハ惡行ノ名アラサルナリ、然レトモ道德ノ原則ニ從フモノハ之ヲ善行ト名ケ之ニ背クモノハ惡行ト名クルニ過キサルナリ

罪惡、罪惡トハ何ソヤ人カ其體力ヲ不適當ニ用ヒタル行動ニ外ナラサルナリ、人其體力ヲ適當ニ用ヒタル行動ト不適當ニ用ヒタルノ行動トハ、自然ノ原則ト基督教ノ原則トニ依リテ説明スルコトヲ得ヘキナリ

一ノ造物タル人類、基督教徒ハ元是レ自由ノ身ナレトモ何等カノ制限ナカルヘカラス、絶對的ニ自由ナル只ターノ眞神アルノミ、人ハ自然ノ原則及自然以上ノ原則ヲ破リテモ妨ケナキ自由ヲ有セサルナリ、人若

シ此等ノ原則ヲ破リタラシカ、單ニ其身ヲ害スルノミナラス、結局其身ノ滅亡ヲ免カレス、毫モ斯ル原則アルヲモ顧リミス漫リニ己カ欲スルカ儘ニ行動ヲ取リタランニハ、當ニ諸々ノ能力ヲ滅却スルノミナラス、結局人種ヲ滅絶スルニ至ルヘキナリ

一ノ道德的の原則、凡ソ人類タランモノハ其男子タルト女子タルトヲ問ハス、共ニ遵守スヘキ道德的の原則僅カニ一アルノミ

姦通罪、(人其生殖力ヲ不適當ニ不正ニ用フルノ謂)姦通スルノ有様ノ如何ナルヲ問ハス、苟クモ男女間ニ不正不義ノ行爲アルモノハ均シク之ヲ稱シテ姦通罪ト云フ、然レトモ此姦通罪ニハ概シテ種々ノ罪惡ノ隨伴スルモノト知ルヘシ、貪慾、不正、詐僞、殘忍等ノ如キ是レナリ、或ハ親愛、慈悲、同情等發セサルニアラスト雖モ概ネ不善ナルモノト云ハサルヘカラス

不善、不善ニハ罪惡ヲ犯スノ習慣トナリタルモノ是レナリ、傲慢及貪慾ハ所謂ル不善ナリ、人ノ肉慾ヲ數々誤用シテ満足セシメ且ツ天然ニ賦與セラレタル官能ヲ誤用スル習慣性ヲモ亦是レ不善ト云フヘキナリ

### 民法

民法ノ意義如何及當國ニ於ル現行ノ民法ノ意義如何ヲ茲ニ説明スルハ最モ適當ノ事ト信ス

民法、民法トハ一ノ地方、市邑若クハ州ニ行ハルヘキ法律是レナリ

刑法、刑法トハ法律ニ違犯シタル者ヲ處罰スルモノ是レナリ

犯罪、民法ニ規定サレタル條項ニ違犯シタルヲ犯罪ト云フ、廣ク一般ニ用ヒラルル意義ニテハ重罪ニ限レリ  
 惡行、犯罪ト云ヒ惡行ト云フモ法語上ノ見地ヨリスレハ其間左マテ差異アルコトナシ、然レトモ廣ク一般ニ用ヒラルル意義ニテハ輕小ナルモノヲ名ケテ惡行ト云フ

今マ法語上ヨリ之カ解釋ヲ下サンニ一千八百八十五年發布ノ刑法改正條例ノ規定スル所ニ從ヘハ左ニ記載スル行動ハ所謂ル惡行ニ屬スルモノト知ルヘシ、曰ク淫賣婦ヲ召抱フル事。人ヲ誘拐スル事。不法ニ人ヲ拘禁スル事。恐赫、詐僞若クハ藥品ヲ用ヒテ不徳作業ヲ行フ事。十三歳乃至十七歳ノ女子ニ對シテ不徳作業ヲ爲ス事。痴者若クハ低腦者ニ對シテ同様ノ作業ヲ爲ス事。淫賣屋ヲ有スル事。不徳作業ヲ行ハシムル目的ヲ以テ或ル屋敷ヲ所有シ及之ヲ賃貸スル等はレナリ

重罪、重罪トハ讀ンデ字ノ如ク重大ナル罪ヲ犯シタルノ謂ナリ、即チ死ノ宣告、終身懲役若クハ永期間禁錮ニ處セラルヘキ罪ヲ犯シタルモノ是レナリ、其他十三歳以下ノ子供ニ對シテ不徳行爲アリシ者、若クハ斯ル行動ヲ取ラシメンカ爲メニ或ルケ所ヲ貸與シ或ハ之ヲ幫助スルカ如キ是レナリ

今マ左ニ記載セント欲スル事柄ハ須ラク讀者諸君ノ胸中ニ留メ置レンコトヲ要ス、曰ク茲ニ或ル男女アリ共ニ成年以上ニシテ結婚シタルモノニアラス、然レトモ合意上慫慂ヲ通シタリトセンカ、其行動道德上ノ見地ヨリ觀レハ罪アルモノト謂フヘキナリ、然レトモ此國ノ法律上ノ見地ヨリ觀レハ犯罪若クハ惡行ト見

做スヘキモノニアラサルナリ、之ヲ犯罪ト見做シテ社會ノ制裁ヲ受ケシメントスルハ德義精神上ノ觀念ニ外ナラサルナリ、尙ホ之ヲ詳言センニ淫賣行動ナルモノハ法律上犯罪ト見做スヘキモノニアラス、之ニ伴フテ公衆ノ秩序ヲ紊シ社會ノ風紀ヲ害スルノ點ニ至リテ初メテ犯罪ヲ構成セルニ過キササルナリ

### 解釋

淫賣婦問題研究家タルフレツキスナー氏ノ說ニ曰ク、猥リニ淫ヲ賣ルト雖モ其範圍狹隘ナルモノニ至リテハ、淫賣婦ト命名スルコト適當ナラスト謂フヘキナリ、今茲ニ一ノ婦人アリ活計唯一ノ方法トシテ淫ヲ賣リ、常ニ絶ユルコトナク淫賣ヲ事トスルモノニ限リテ淫賣婦ト名クルコト至當ナルヘケレ、此ニ於テカ此種ノ婦人ニ限リテ本問題研究ノ材料トナルヘキナリ

右ノ如キ淫賣婦ニ對シテ比較的小規模ノ淫賣婦アリ、斷續淫賣業ヲ營ムモノ是ナリ、蓋シ斷續淫賣業トハ正業ト醜業トヲ交ルノ營ムモノノ謂ニシテ、正業ニテ金錢ヲ儲ケ得ラルル場合ニハ正業ニ從事シ、否ラサル場合ニ於テ醜業ニ從事スルモノ是レナリ、而シテ第三種ニ屬スル淫賣婦アリ、此種ニ屬スルモノハ醜業上ノ收金ヲ以テ正業上ノ所得ヲ補ハントスルモノ是レナリ、然レトモ生計ノ必要上正業ノ所得ノミニテハ足ラサル所アルヨリ、醜業ノ收金ヲ以テ其不足ヲ補ハント欲スル主意ニ出テタルニアラス、衣食等贅澤ヲ爲サント欲スルノ意ニ出テタルカ、若クハ所謂ル其正業ナルモノカ醜業ト餘リニ隔タリ居ラスシテ醜業ニ傾キ易キヨリ然カナスノ場合ナリト知ルヘシ

淫賣婦右二種ノ外ニ尙ホ一種ノアルアリ、前者ニ比スレハ尙ホ一層高尙優美ニシテ男子ノ目ヲ引クコト甚ハタ強キモノナリ、而シテ此種ノ淫賣婦ハ如何ナル男子ノ需用ニ應スルヤト云フニ、一種ノ男子小團體ニ過キサルナリ、即チ自己一人ノミニテ一婦人ヲ貯フルノ資力ナキモノカ、其費用ヲ分擔シテ共有ト爲スモノ是レナリ、此ニ於テカフレッツキスナー氏ハ左記ノ如キ種類ヲモ淫賣婦問題中ニ組ミ入ルルヲ以テ至當ナルコトトセリ、曰ク淫ヲ賣リテ金錢ヲ得ルト否ラサルトニ論ナク苟クモ男女相媾合スルモノハ、其度合好シ甚ハタシカラサルモ之ヲ淫賣婦問題中ニ算入シテ然ルヘキモノナリ

フレッツキスナー氏ガ右ノ如キ種類ヲ淫賣婦問題中ニ編入シタルニ就テハ其理由ナクンハアラス、抑モ淫賣婦カ社會ニ害毒ヲ流スコト一ニシテ足ラスト雖モ、其重モナル害毒ヲ舉レハ三種類アリ、人ノ道德觀念ノ弛廢、金錢ノ浪費及一種ノ疾病ノ傳播是レナリ、彼ノ淫ヲ賣リテ金錢ヲ得ルト得サルトニ論ナク、好シ其度合ハ好シ左マテ甚ハタシカラストスルモ、苟クモ猥リニ男女媾合シタランニハ、所謂ル三害毒ヲ社會ニ流サスンハアラス、是レ此種類ヲ淫賣婦問題中ニ編入スル所以ナリ

今其レ淫賣婦カ一種ノ疾病ヲ發生スルノ源泉ナリトセンカ、道德上ヲ腐敗セシムルノ原因トナルコトハ尙ホ一層甚ハタシト云ハサルヘカラス、兎ニ角有形、無形共二人ヲ傷害スルモノト謂ツヘキナリ、古往今來基督教主義ヲ以テ此問題ヲ解決セントシタルコトニシテ一ニシテ足ラサルナリ

基督教主義ヲ以テ此等ノ害毒ヲ救治センニ二種ノ方法アリ、即チ直接、間接ノ二法是レナリ、直接ノ方法

トハ親シク個人ノ精神ヲ救済スルモノ是レナリ、次ニ間接ノ方法如何ト云フニ法律ノ力ヲ借りテ救治スルモノ是レナリ、蓋シ此方法タルヤ個人々々ノ多數カ基督教主義ヲ能ク受ケ納ルルニ當リテ初メテ實行セラルルモノト知ルヘシ、今マ歴史ノ記述スル所ニ據リテ之ヲ考フルニ、左記ノ如キ事實ハ駭カニ之ヲ證明スルニ足ルヘキナリ、曰ク人類ハ何時シカ道德ノ原則ヲ見出シタルモノト思ハル、但シ其男子及女子ニ關スル道德ノ原則ヲ善ク受ケ納ルルコトハ最モ困難ナルモノト思ハレタリ、而シテ此等ノ道德ノ原則ナルモノハ基督教主義ト最モ密接ノ關係アルモノト知ルヘシ、斯クノ如クシテ道德ノ發達スルハ甚ハタ遅々タルモノト雖モ、之カ爲メニ婦人ノ地位モ自カラ進歩發達シテ高ク成リ行ケルカ、茲ニ其進歩發達ノ前途ニ横ハレル一ノ障礙物アルヲ如何セン、其障礙物トハ何ソヤ淫賣婦ノ盛ンナルコト是レナリ、淫賣婦ハ甚ハタ多數ナラスト雖モ社會ニ害毒ヲ與フルコト決シテ容易ナラサルナリ、且ツ淫賣婦ノ自カラ墮落スルハ今更云フヲ要セス、斯ク自カラヲ害シ社會ヲ害スル所以ヲ知ラント欲セハ、先ツ如何ナル婦人カ淫賣婦トナルヤヲ知悉セサルヘカラス

淫賣婦ノ重モナル標本、今マ左ニ記載スル所ノ事實ハ研究家多數ノ皆一致シテ異論ナキ所ナリ、曰ク淫賣ヲ專業ト爲スモノノ大多數ハ意思ノ力、腦ノ力及道德ノ觀念概シテ不充分ナラサルハナシ、然レトモ其間多少ノ差異ナクンハアラス、其甚ハタシキニ至リテハ實際低脳ナルモノアリ、或ハ尋常一樣ノ事ヲ處理スルニ就テ更ニ其腦力等ノ不充分ナルコトヲ知ルコト能ハサルモノアリ、今マ概括シテ之ヲ言ハンニ斯ル

醜業ニ從事スルモノハ懶惰放恣ニシテ自制ノ念ニ乏シク、規程常例ノ下ニアリテ勤勉スルコトヲ嫌ヒ、克己耐忍ノ力少ナクシテ常ニ人ノ意ニ誘ハレ易キモノナリ、斯クノ如キ有様ハ概シテ淫賣婦ノ通有性ト云フヘキモノナリ、斯ル女子ノ不善ナル性質ハ父祖ヨリ遺傳セルモノニアラスト雖モ、一たび泥水中ニ沈淪シタル以上ハ再ヒ浮ミ出テントスル氣力ナク、周圍ノ情勢ニ抵抗スル意力ナキモノナリ、然レトモ是レ畢竟スルニ淫賣婦ニ關スル概見ニ過キス、少數ノ淫賣婦ニ至リテモ斯ル通有性ヲ有セルモノ往々ニシテ之レアリト知ルヘシ

生活情態ノ結果トシテ得タル通有性、右ノ外淫賣婦ノ通有性ト見ルベキモノアリ、曰ク飲酒ニ耽ル事、誠意ノ缺乏セル事、交接慾ノ放縱ナル事、意志ノ取締ナキ等是レナリ、蓋シ斯ル特有性ハ固ヨリ遺傳ト見做スヘキモノニアラス、生活情態ノ然ラシメタル結果ト云フヘキナリ、且ツ先天的缺陷ノ然ラシムル所幾分カ之アルニ相違ナカルヘシト雖モ、之ヲ證明スヘキ材料ノ缺乏セルハ遺憾ナリト謂フヘシ

淫賣婦ヲ供給スル階級、左記ノ如キ事實ハ多數ノ記者カ一致シテ異論ナキ所ナリ

- 一、淫賣婦ノ大多數ハ職人及労働者ヨリ供給セラルルモノナリ、或ハ稍ヤ上流ニシテ才貌双美以テ能ク人ノ耳目ヲ惹クモノ往々ニシテ之レアリ、此等ハ花柳社會ニ於テ最モ勢力強キモノト知ルヘシ
- 二、或ハ下婢雇女ヨリ轉シテ淫賣婦トナルモノ甚ハタ少ナカラサルナリ
- 三、又タ初メテ泥水社會ニ淪落スル年齢如何ト云フニ、其大多數ハ十八歳未満ニシテ十六歳及十四歳未

滿モ亦タ少ナカラサルナリ

總テノ階級ヲ通シテノ標本、前述シタル淫賣婦トシテノ通有性ハ獨リ職人及労働者ヨリ轉シ來リタルモノノミニ限ラレタルモノニアラス、總テノ階級ヨリ來レル淫賣婦ニモ亦其レ此通有性ナクンハアラス、リツキー氏ノ説ニ曰ク人々ニ道德觀念ノ差異アルハ克己心ノ差異アルニ基ツケリト云ハン方適當ナルヘシ、彼ノ淫賣婦ナルモノ道德觀念ノ薄キハ畢竟スルニ誘惑セラザルルノ心強キニ歸セスンハアラス、今其レ淫賣婦ノ労働社會ヨリ來レルモノ多キハ果シテ何故ナルカ、其周邊ノ事情然ラシムルカ其生計上ノ實況ニ基ツケルカ、吾人ハ其原因ヲ研究セサルヘカラス、此問題ハ後段社會ノ現況ヲ論述スルニ際シテ論及セント欲ス

惡道ニ誘ハレ易キコトハ獨リ婦女子ノミニ限リタルモノニアラス、青年男兒ニ至リテモ亦是レ然ラスンハアラス、苟クモ男兒成年ニ達シタランニハ智識ヲ得ント欲スルノ念強ク、冒險事業ヲ試ミント欲スル心熾シニ、何等カラ實驗センコトニ熱中シ、而シテ制己ノ念ニ乏シク尙ホ未タ社會的制裁アルコトヲ知ラス、道德上ノ指導ヲ受ケサルモノ多キニ居レリ、既ニ斯ル状態ナルカ故ニ世ノ誘惑ニ陥キリ易キハ數ノ免カレサル所ナリ、此ニ於テカ吾人ハ空漠タル樂天主義及不幸ナル厭世主義ハ其ニ之ヲ避ケサルヘカラス、今マ吾人ハ斯ル問題ヲ解決センカ爲メニ一方ニ於テ歐羅巴諸國ニ行ハルル男子ノ純正道德ニ關スル心理状態ト他方ニ於テ米國及大英國ニ行ハルル同シク心理状態トノ區別ヲ明ラカニシ、及昨日ノ歐洲大陸ノ心理状態

ト今日ノ同シク心理状態トヲ明ラカニセンコトヲ要ス

二三〇

英米ニ於ル女子ノ地位改良セラレ從ツテ道德上ノ觀念モ一層高クナリタルヨリ、其ノ身體自由ノ觀念モ一層強クナリタルカ、昔時兩國共ニ之カ爲メニ社會上ノ害惡ヲモ齋ラシ來リタリ、而シテ此等ノ害惡除去策カ施コサレサルニアラサルモ、前日ノ舊思想ニ屬スル論理學ノ爲メニ妨ケラレテ其功ヲ奏セサリシ、歐羅巴諸國ニ於テハ概シテ男子未婚者ニ對シテハ道德觀念ハ望ムヘカラサルナリ、既ニ前日ニ於テ然リ今日尙ホ然ラスンハアラス、但シ未婚男子ニシテ道德ヲ重スルモノハ基督教徒中ニ於テ僅カニ是ンアルノミ、英米兩國ニ於テ輿論ノ壓迫ト周邊ノ制止トニ依リテ宗教歸依者以外未婚者ノ不徳ナル行動ヲ幾分カ減少シタルハ事實ニ相違ナキナリ、然レトモ都鄙共ニ未婚者ノ不徳甚タ廣ク行ハルルハ亦タ蔽フヘカラサル事實ナリ男兒カ其生涯中最モ感動シ易キ時代即チ其心志ノ尙ホ未タ定マラサル時、又タ時トシテハ小學時代ニアリテ早既ニ淫賣婦ト接觸スルモノ居多ナリト謂ツヘキナリ、少年カ最初斯ク惡道ニ誘引セラルルハ淫賣婦ノ奸手段ニ依ルカ或ハ其惡友ノ誘導ニ基ツカスンハアラス、男兒ノ生涯中其神祕ヲ啓發スヘキ鍵ヲ握レルモノハ婦人はレナリ、婦人既ニ此鍵ヲ握レリ、如何ニ男兒ヲ翻弄スヘキヤ得テ知ルヘキノミ、是レ男兒ニ取リテ大切ナル時機ト云フヘキナリ、概ネ此時機一時的ニ止マリテ久シキニ互ラサルハ幸福ト謂ツヘキナリ、然レトモ其經驗タルヤ念頭ニ深く存シテ全ク忘ル能ハサルモノナリ斯クテ此男兒ハ其接觸ヨリ直ニ我ニ立チ歸リテ罪惡ノ觀念ヲ發シ制己ノ心ヲ起シ理論ト親シムニ至レリ、然レトモ一タヒ實見シタル結果ト

シテ知ラス識ラスノ間其態度婦人問題ノ方ニ向ハスンハアラス、即チ其婦人問題ナルモノハ主トシテ淫賣婦タラスンハアラス、彼レハ日々通常ノ女子ト相會スヘク又タ一層高尚ナル女子トモ相接スヘシ、而シテ彼ノ淫賣婦ヲ斯ク高尚ナル女子ト比較スレハ、彼レハ此ヨリ遙カニ下等ナルコト知ルヘキナリ、然レトモ此男兒ノ目ヨリ之ヲ見レハ斯ク高尚ナル女子ハ例外ニ屬スルモノト見ラルヘキナリ、而シテ道德ノ觀念心理状態共ニ劣リタル淫賣婦ハ尙ホ其念頭ニ存スヘキナリ、是レ男兒情念ノ止ムヲ得サル所ナランカ

人格墮落シ道德心腐敗スル事

社會全般ニ及ホス害毒如何

吾人ハ請フ是レヨリ淫賣婦カ社會ノ道德心ヲ腐敗セシムル有様如何ヲ叙述セント欲ス、蓋シ其有様ハ實ニ悲劇ト謂ツヘキナリ、昨日ノ有望ナル少年今日ハ憫レムヘキ墮落生トナリ一種ノ疾病ニ罹リ延イテ今日ノ無垢純潔ナル少年ヲモ腐蝕スルニ至ルヘキナリ、今マ女子ニ就テ之ヲ言ハンカ高尚ナル學藝ノ競争場裏ニ立チテ人ノ耳目ヲ聳動セシムヘク、男子ニ就テ之ヲ言ハンカ進取有爲ノ氣象ニ富ミテ社會ニ雄飛スヘキモノナルニ、二者共ニ意馬心猿ノ狂フカ儘ニ其身ヲ誤リテ復タ救フヘカラサルニ至ルモノ滔々皆是ナリ而シテ此等ノ墮落生ノ背後ニハ不義ノ暴利ヲ貪ラント欲スル巧妙ナル機關ヲ設ケテ一方ニテハ種々ノ手段ヲ取リテ嫖客ヲ誘引シ、他方ニテハ騙濫詐僞アラエル手段ヲ以テ淫賣婦ヲ驅リ集メルモノモ之レアルヘキナリ重モナル風潮、今マ吾人ハ一方ニ於テ女軍ノ一少隊ノ事ニ就テ論述スル所アラント欲ス、乃チ此女軍ト云

二三一



ヘルハ生計トシテ醜業ヲ營ム者ノ謂ニシテ、心理狀態及道德心ノ程度カ平準線ヨリ以下ニ屬スルモノ、言ヒ換フレハ下等社會ヨリ來レルモノニシテ、其人格左ナキタニ高カラサルモノナルニ一タヒ此醜業ヲ營ムコト、ナリテヨリ甚ハタ速カニ墮落セスンハアラス、是レ他ナシ天然ニ備ヘラレタル生殖機能ヲ普通以外ニ濫用シタル結果ニシテ亦タ避クヘカラサルコト、謂フヘシ、又タ吾人ハ他方ニ於テ正業ト醜業トヲ併セ營ムモノ及醜業ヲ斷續的ニ營ムモノニ就テ論述スル所アラントス

吾人ハ既ニ前段ニ於テ左記ノ事ヲ述ヘ置キタリ、曰ク正業ト醜業トヲ併セ營ムモノハ道德心ヲ腐敗セシムル事、淫賣ヲ專業トスルモノニ比較スレハ一層甚ハタシキモノナリト、今マ尙ホ之ヲ敷衍シテ言ハンニ正業ノ側ニ醜業ヲ營ムモノハ、間接ニ獨リ男子ノ道德心ヲ腐敗セシムルノミナラス、直接ニ自カラ一員タル社會ノ風俗ヲモ惡化セシムヘキモノナリ、勿論淫賣婦ノ惡感化ヲ及ホスノ度合ハ皆是レ一樣ナルモノニアラス、其間自カラ淺深輕重ノ差ナクンハアラス、今マ單ニ知識勢力ノ上ノミニ就テ之ヲ評セハ淫賣婦ハ他ノ女子ニ比フレハ一層優レル所ナクンハアラス、然レトモ其營業上其周邊カ不正不義騙濫詐僞人ヲ墮落セシメル所以ノモノ充滿セサルハナシ、尋常普通ノ生計ヲ營メル女子ヲ見ヨ常ニ輿論ノ制裁ヲ受ケテ善良ノ方向ヲ取ルヘキ機會多キモノナレトモ、淫賣婦ニ至リテハ不道德ノ惡道ニ誘ハレ易キモノナリ、正業ニ復リテ自活ノ途ヲ立ルコト能ハサルニアラサルモ、其正業ニ復ルヘキ門戶善ク開カレ居ラサルヲ如何セン、正業ト醜業トヲ併セ營ムモノハ元是レ醜業ヲ以テ生計唯一ノ方法ト爲スモノニアラス、通常自分ノ情慾ノ

奴隸トナリ且ツ自分ヨリ一層上等ノ男子ニ接シテ之ヨリ得タル金錢ヲ以テ贅澤愉樂ヲ盡サントスルニ外ナラサルナリ、而シテ之ヨリ生スル害惡如何ト云フニ男子ノ道德心腐敗セルヨリ社會一般ノ女子ニ及ホス惡影響等是レナリ、此種ノ淫賣婦ニシテ正業ニ復シタルモノ少ナカラスト雖モ、宗教ニ歸依シタルノ結果トシテ全ク從來ノ惡習慣ヲ改メタルモノハ甚ハタ少ナカリシナリ、兎ニ角一タヒ此魔道ニ踏ミ込ミタランモノハ自他ヲ害スルモノト云ハサルヘカラス、再ヒ此魔界ニ陥リタルモノヲ一タヒ正業ニ復セシメントスル場合ニハ、社會カ何等カノ損害ヲ受ケサルヘカラス、此損害ナクシテ正業ニ復セシムルコトハ不可能ノ事ナリ、花柳病ノ社會ニ傳播スルハ蓋シ其損害ノ一タルヘキナリ、花柳病ニ關シテハ後段ニ於テ論述スル所アルヘキナリ

社會ハ今マ新希望紀元ノ端緒ナリト吾人ハ信スルモノナリ、過去ノ簡短ナル歴史ニ就キテ實際ノ事態ヲ研究シタランニハ、此說ノ理由自カラ判然タルヘシ

#### 本問題ノ沿革

##### 猶太國ニ於ル沿革

猶太國ハ其範圍狭小ナレトモ神ヨリ特ニ靈魂上ノ幸福ヲ主トスヘキ靈地トシテ擇ハレタルカ所ナルカ、往古ニアリテ大ニ文明ノ發達シタル國ナリ、文明ノ發達盛大ニシテ社會萬般ノ有様最モ華麗ナル織物ノ如クナルカ、其華麗ナル織物ノ組織中一種粗惡ナル絲ノ織リ込マレタルハ實ニ歎ハシキ事ト云ハサルヘカラス

他ナシ宗教上ノ信仰ト相關聯シテ一種ノ儀式的淫賣婦ノ存シ居タルコト是レナリ、バレストアインノ境界ニ接シテ『グローヴス』ト云ヘル所アリ、邪宗ノ神々ニ事フル尼僧ノ居住スル所ナルカ、猶太人カ竊カニ邪宗ノ神ヲ信仰セント迷ヒ出シタルハ、畢竟スルニ此等ノ尼僧ニ接近シテ其淫慾ヲ満足セシメント欲スルニ外ナラス、所謂ル宗教上ノ信仰ト相關聯シテ一種ノ儀式的淫賣婦ナルモノハ此等ノ尼僧是レナリ、而シテ淫褻俗ヲ案スヘキ行爲ニ對シテ摩西ノ定メタル法律ノ嚴峻ナルコトハ、恰カモ醫師ガ外科ノ手術ヲ施コスカ如シ、豫言者モ亦是レ斯ル行爲ヲ詰責スルコトノ劇烈ナルハ左ナカラ雷鳴ニ異ナラス、然レトモ淫褻ノ風俗ハ容易ニ之ヲ剪除スルコト能ハス

男子若クハ女子ニシテ苟クモ姦淫罪ヲ犯シタランニハ猶太ノ法律トシテ死罪ニ行ハルヘキナリ、蓋シ此法律ノ目的トスル所ハ信仰上ノ純潔ヲ保チ、且ツ家庭ノ安寧堅固ヲ圖ラント欲スルニアリ、然ルニ當時猶太人ノ有様如何ト云フニ一夫多妻主義カ行ハレ、從ツテ悖德ノ行爲アルハ怪シムニ足ラス、男子既ニ斯クノ如キ有様ナレハ之ト併行シテ女子ノ品性墮落スルハ數ノ免カレサル所ナリ

猶太ノ女子ニシテ淫賣婦トナリタランニ死刑ニ處セラレズンハアラス、サレハ猶太國ニハ淫賣婦ハ絶テ之レナキヤト云フニ決シテ然ラス、是レ他ナシ外國ノ女子ニシテ他ノ宗派ニ屬スル教徒カ此國ニ來リテ彼ノ醜業ヲ營メハナリ、此等ノ醜業婦ハエルサレム其他ノ各所ヲ徘徊シテ男子ヲ誘引招致スルヲ事トセリ、姦通淫賣ニ關スル猶太國往古ノ嚴法モ年代ヲ經過スルニ從ツテ幾干カ弛緩シタリシナリ然レトモ隣接セル

國々ノ法律ニ比スレハ一層嚴峻ナル行アリテ人ノ精神上ヲ支配シテ其效力ヲ失ハサリシ、猶太國ニハ斯ル法律ノ制裁アルカ故ニ其女子ノ行動純潔ニシテ淫猥ノ事ナク他ノ國民ヨリ稱讚ヲ受ル程ナリシ、又男子ノ方ニアリテモ一夫多妻ノ舊面目ヲ改メテ一夫一婦ノ制度ヲ守ルニ至レリ、但シ其間容易ク離婚ノ弊アルヲ免カレス

抑モ猶太國ノ文明開化ニ進メル所以ノモノハ神ヲ信仰シタルノ結果ニ外ナラサルナリ、苟クモ神ヲ信仰スルモノハ自然ノ性慾ヲ抑制シ、自然ノ性慾ヲ抑制スレハ一般ノ風俗自カラ善良ニ赴クヘケレハナリ、且ツ基督教の文明トハ人ノ肉體ト精神トノ關係ヲ理會スルニ基キ、此等ノ關係ヲ理會スルハ基督ノ復活ヲ信知スルニ基カスンハアラス

人身ノ永遠不朽ナル觀念ヲ抱カシメタルモノハ基督復活ニ外ナラス、職責義務ノ重ンスヘキコトヲ人ニ教ヘタルモ亦タ是レ基督復活ニ歸セサルヘカラス、アラキス氏ハ其著書『基督教之基礎』ノ中ニ基督復活ノ事ニ關シテ左ノ如ク論述セリ

『基督復活ハ賞ニ驚天動地ノ一大現象ニシテ之カ爲メニ社會ノ面目ヲ新タニシタルコト一ニシテ足ラス、中ニ就テ最モ著名ナルモノ二種アリ、從來ノ二大誤謬ヲ矯正シタルモノ是レナリ、先ヅ其第一ノ誤謬ヨリ之ヲ論述センニブラトウ氏ノ主張セル希臘哲學上ノ誤謬ナリ、其哲學ノ主意ニ曰ク人身ハ惡念ノ宿ル所ニシテ其惡念ノ強盛ナルコト先天的ニシテ造物主ノ力尙ホ能ク之ヲ制御支配セルコト能ハスト、又タ

プラトウ學派ノ説ニ曰ク人ノ身體ナルモノハ畢竟スルニ精神ノ指揮命令ニ從フヘキ一ノ器具タルニ過キ  
ス、決シテ精神ト共同事ヲ與ニスヘキモノニアラス、又タ精神ヲ禁錮スヘキ獄屋ニ異ナラス、決シテ精  
神ノ同業者仲間タルヘキモノニアラス、尙ホ其他彼等ノ説ニ曰ク苟クモ人ノ心カ外界ノ事物ニ觸接シタ  
ラン場合ニ於テ其心ハ其事物ノ爲メニ腐敗シ且ツ其天性ヲ汚穢ナラシムルモノナリト

此等ノ學說ハ決シテ眞理ニアラスシテ全ク誤謬ニ外ナラサルナリ、蓋シ此等ノ學說ヲ誤謬ナリトテ打破  
シタルモノハ取リモ直サス基督復活是レナリ、基督ノ復活ニ因リテ人ノ體軀ガ一層新タナルモノトナレ  
リ、即チ人ノ體軀ハ神ノ造リ玉ヘルモノニシテ甚ハタ高尚ナルモノナリ、決シテ害惡ノ宿ル所ニアラス  
精神ノ指揮命令ニノミ從フヘキ器械ニアラス、又タ精神ヲ禁錮スヘキ獄屋ニアラス人ノ肉體モ精神モ共  
ニ是レ神ノ造リ玉ヘルモノニシテ其間決シテ優劣輕重アルヘキモノニアラス、之ヲ換言スレハ人ノ肉體  
ハ精神ヨリ一層下劣ナルモノニアラス、二者相依リ相助ケテ以テ事ヲ成スヘキ同業組合ニ外ナラサルナ  
リ、抑モ斯ル眞理ノ唱道セラル、ニ至リタルハ基督復活ニ歸セスンハアラス

其第二ハ基督復活ニ依リテ以テ甚ハタシク腐敗シタル道德ヲ矯正シタルコト是レナリ、基督復活ノ事ハ  
嘗ニ口語ノミヲ以テ證言セラルヘキモノニアラス、教會堂組織セラレテ以テ自然ニ人ノ腦裏ニ深ク印象  
セラルヘキモノナリ、基督教ノ儀式及信仰上日々ノ行動ニ依リテ自カラ知ラレ得ヘキモノナリ  
基督御自身ノ復活ニ依リテ以テ人類モ亦是レ永遠不朽ノ生命アルコトヲ證スルニ足ルヘキナリ、既ニ永

遠不朽ノ生命アルカラニハ其畢生間ヲ通シテ取リタル行動ニ對シテ、終ニ神ノ審判ヲ受クヘキ時期來ラ  
サルヘカラス、苟クモ斯ク神ノ審判アルコトヲ知ラシタランニハ、其畢生間ノ行動ヲ慎マサルヘカラス此  
ニ於テカ從來腐敗シタル道德ヲ矯正スルノ途啓カスンハアラス、是レ即チ道德ノ本原基礎タルヘキナリ  
若シ道德ノ本原基礎此ニアラストセンカ、其道德ハ全ク腐敗シテ往古ノ希臘羅馬ノ異教ノ行ハレタル時  
代ト均シカルヘキナリ』

基督教ノ本義右ノ如キ次第ニテ此本義ヨリ考フレハ淫賣婦ヲ其儘ニ棄テ置クヘキモノニアラス、何トカシ  
テ之ヲ矯正スルノ方法ヲ講セサルヘカラス、然ルニ其當時ノ情況如何ト云フニ此問題ヲ其根本ヨリ解決ス  
ルコトヲ爲サス、皮相上ヨリ此問題ノ利害ヲ打算シタリシナリ、尙ホ之ヲ詳説センニ淫賣婦取締ノ事、淫賣  
ヨリ獲タル收益用途ノ事、營業者ノ市民タル權利ノ事等是レナリ、而シテ其當時ノ有様ニテハ淫賣婦ノ存  
立ハ止ムヲ得サルコト、シテ拒否セサリシナリ、羅馬帝國ニ於ル淫賣婦取締規則ハ論理法ニ適シテ最モ巧  
妙ニ編成サレタルモノナリ、此ニ於テカ歐羅巴諸國ハ之ニ則リテ以テ警察令ヲ編成シタル程ナリシ、今マ  
羅馬ノ淫賣婦取締規則ニ從ヘハ淫賣婦ハ通常ノ市民タルノ資格ナキモノトセリ、淫賣婦ノ登記ハ罪人ト同  
一ナル欄内ニ登記スルコトナルカ、淫賣婦モ亦是レ自カラ罪人トナルコトヲ珍ラシカラサルナリ

#### 新ラシキ賦與

我主御自身ノ動作、我々ノ主耶蘇基督御自身ノ動作ハ基督教全般ニ亘レル構造組織ノ本原基礎ニ外ナラサ

ルナリ請フ此事ニ就テ論述スル所アラントス

(イ)、基督ノ第一憂慮シ玉フ所ハ墮落セル婦人はレナリ、此墮落セル婦人トハ或ル階級ノ一人ニシテ宗教ノ儀式上ヨリ不潔ナル行動ヲ取リシカ、其行動ガ恒習トナリテ其階級中ノ他ノモノヲモ同化セシムルモノナリ、而シテ基督ハ先ツ斯ル婦人ノ心ヲ收攬シ之ヲ身ニ體シテ、其罪ヲ宥恕シ廣ク道德ノ門ヲ開放シテ再ヒ其本ニ立チ歸ラシメントセリ、即チ其道德ノ門ト云ヘルハ高尚ニシテ神聖ナル靈山ニ登リ、新宗教ノ精神上ノ團體ノ一員タラシムヘキ道ヲ斯ル婦人ノ前ニ備ヘタルモノ是レナリ

(ロ)、耶蘇ノ身體ニ觸レシ婦人アリシモ耶蘇ハ之ヲ拒ミ玉ハスバリサイノ人之ヲ見テ驚ケリ(路加傳第七章第三十九節ニアリ) 耶蘇ガ此婦人ノ罪ヲ赦シタルニ依リテ此婦人ノ人格ハ全ク一新セリ、即チ此婦人ノ身ハ最早罪惡ノ公標トナルヘキモノニアラス、耶蘇ガ十字架ニ架ケラレ玉ヒシ最後ニ際シテ其十字架ノ下ニ來リシ其母ノ側ニ立チタル婦人ハ、耶蘇ヨリ斯ク罪ヲ赦サレタル婦人ナリシ、尙ホ耶蘇昇天後初メテ出現マシマセシモ、亦此婦人ナリシナリ

(ハ)、而シテ公平ナル正義トハ何ソヤ、驚異スヘキ純清無垢ナルヲコン正義トハ云フヘケレ、『爾曹ノ中罪ナキ者先ツ彼ニ石ヲ投クヘシ』(約翰傳第八章第七節)所謂ル罪ナキモノコン正義ノ人トハ云フヘケレ、今マ不正不義ノ行動アリタルカラトテ婦人ノ一方ノミヲ處罰センハ、道德ノ程度ヲ高上セシムルニ就テ全ク效力ナキモノナリ、斯ク婦人ノミヲ處罰シタランニハ男子ヲシテ不正殘忍ノ罪ヲ增加セシ

ムルニ過キス、是レ歷史上ノ事實ニ照シテ明カナラスンハアラス、苟クモ社會ノ道德ヲ高上セシメント欲セハ、男女ヲ共通シテ同様ニ進ミ行クヘキ途ヲ取ラシメサルヘカラス、否ラスンハ社會ノ道德ハ決シテ上進セサルナリ

而シテ罪惡ヲ處罰センニ摩西ノ定メタル法律機關ニ代ルヘキ新法トハ果シテ如何ナルモノナルヤ、肉體ハ如何ニ精神ト調和シテ行動スヘキヤ、人ノ體中最モ深クシテ思慮ノ宿ルヘキ聖所アリ、其聖所中ニ罪惡ノ種子アリ其種子發生シタランニハ罪惡ノ行動トナルヘキモノナリ、此種子ノ發生セサルニ先ンシテ早既ニ之ヲ剪除セサルヘカラス、而シテ人ノ肉體ナルモノハ精神ト惡魔ト戰鬪スル所ノ戰場ニ外ナラス、故ニ基督ハ人ノ罪惡カ行動ノ上ニ出現セサルモ既ニ其思慮慾望ノ上ニ發シタランニハ之ヲ罰シ玉フナリ、(馬太傳第五章第二十八節)

往古ノ世界ニ於テ活動シタル基督信徒ノ理想、羅馬國文明ノ時代ニ於テハ淫賣業ハ國家事業トシテ公認シタルモノナリシ、但シ羅馬共和政事ノ當時及羅馬帝國創業時代ニ於テハ、人ノ生殖力ヲ重ンスルト人種ノ體格如何ニ重キヲ置ケル所ヨリ、當時ニ於ル輿論ノ制裁トシテ男女間ノ肉交ノ過度ナルヲ抑止センコトヲ勉メタリ、又タ其當時ノ軍人モ同一ノ理由ノ下ニ其性慾ヲ恣マ、ニスルコトヲ禁止セラレタリ、或ハ一夫一婦ニシテ貞實節操ヲ守リシモノナキニアラスト雖モ此等ハ實ニ稀レナルモノト云ハサルヘカラス、一般ニ猥褻淫靡ノ風俗ヲナセリ、婦人ノ墮落及道德上ノ腐敗得テ想像スヘキノミ、今マ此等ノ狀態ヲ詳言セサ

ルモ、ジーヴナル、マーシヤル、シウトニウス、及シセロ等ノ著書ヲ見レハ自カラ明ラカナルヘキナリ、セント、ポウルモ亦羅馬書ノ初ノ章ニ於テ此事ニ關シテ明カニ言ヒ居レルニアラスヤ、

一般ノ風俗カ頽廢墮落シタル當時ニ於テスラ尙ホ且ツ無垢清淨ナル神女ノ信仰アルモノカ存在シ居タリ、而シテ廣ク四邊ニ喧傳セラル、名譽ハ其成シ遂ケタル事業ノ偉大ナルニ匹敵スヘキモノナリ、斯ク高尙ナル神女ノ現存スルハ畢竟スルニ到達シ得ヘカラサル高天ノ寸時ノ光輝ニ外ナラス、斯ル婦人ハ廣漠タル歐羅巴大洲中僅カニ六人アリシノミ、而シテ此等ノ人々ノ境遇如何ナリシヤト云フニ、困難ニシテ悲酸ノ事多ク其任務ノ失敗シタラン場合ニハ死刑ノ宣告ヲ待ツノ外ナキ有様ナリシ、斯ル有様ニテ其任務ニ從事シタル期間ハ決シテ長カラサリシナリ、即チ概シテ四十歳ニシテ永眠シタリシナリ。

右ノ如クシテ基督教ノ種子カ頽廢墮落セル風俗中ニ蒔カレタルコトナルカ、其種子ハ重モニ貧困暗黒ノ中ニ蒔カレタルモノニシテ表面ニ活動セス内密ニ活動シタリシナリ、斯ル有様ニテ人ノ心中ニ再ヒ基督教ノ主義ヲ吹キ込ンハ容易ノ事ニアラサルナリ、基督教ヲ大ニ發展セント欲セハ俗世界ト激戰奮闘セサルヘカラス、而シテ其激戰奮闘ノ結果トシテ自カラ神女ノ殉教者出テスンハアラス

請フ吾人ハ是レヨリ右ニ掲ケタルカ如キ往古ノ殉教者ハ其當時如何ナル夢想ヲ抱キ居タリシヤヲ論述セント欲ス、此等ノ殉教者ハ献身のニ大ニ活動シタル結果トシテ名聲甚ハタ高カリシカ、此等ノ人々ハ當時左ノ如キ日ノ來ルニ相違ナカルヘシトノ夢想ヲ抱キタリシナルヘシ、曰ク全世界カ基督教ノ爲メニ征服セラ

レテ人類皆是レ基督教々義ヲ遵奉シテ純潔ナル行道ヲ取ルノ日來ルニ相違ナカルヘシト

然レトモ是レ畢竟スルニ夢想ニ過キスシテ實現スヘキモノニアラス、即チ基督教ハ全勝ニアラスシテ半ハ勝利ヲ得タリシナリ、半ハ得タル勝利ナレトモ勝者ニ就キテ何等カノ利益ヲ得ントスルハ人生ノ常ニシテ、中心ヨリ眞ニ信仰セサルモ表面丈ケニテモ基督教ヲ奉スルモノ多クナリ行ケリ、是レ殉教者ノ賜モノニ外ナラサルナリ

斯クテ吾人カ實際基督教ヲ信シ掛リタルハ第四世紀中ノ事ナリシ、即チ其當時ハ基督教カ塚穴中ヨリ勃發シ基督教ヲ奉スル帝王達カ法律ヲ以テ基督教ノ教義ヲ編成スヘキコトヲ命令シ、基督教ノ教正カ數團體ヲ作成シテ一般ノ社會ヲ感化センコトヲ勤メタリシナリ、又タ此第四世紀ト第五世紀トノ間ニ於テ聖シビリアン、オリンバスノメツジラス、ニアツサノ聖グレゴリー、聖アムブロース、聖ゼロム、聖クリソストム聖オーガスチン等諸氏ノ筆ヲ以テ彼ノ無垢清淨ナル神女ノ事ヲ稱讚シタリシナリ、其他説教中ニ此神女ノ事ヲ稱讚セシコト數々ナリシナリ

此時代ノ基督ノ教師ハ婦人ヲ教化スルノ任ニ當リシカ、其教化ノ科目ハ貞操節義ノミニ限ラス、延イテ智育ニモ及ヒシナリ、斯クテ此等ノ婦人ハ最モ善ク教化セラレテ其性格品行甚ハタ高ク智識大ニ發達シ信仰最モ深クシテ當時基督教社會ノ花ト愛テラレテ當時ノ人心ニ影響スルノ力實ニ偉大ナリシナリ、當時思想上ノ大ニ發達シ居タリシコトハ其時代ニ發布セラレタル法律ヲ見テ以テ之ヲ證スルコトヲ得ヘキ

ナリ、其當時羅馬帝國ニ於テハ淫賣業ヲ國家事業トシテ公認シ、淫賣婦ニ課税シテ之ヲ國家ノ收入トナシタルモノナリ、故ニ淫賣婦ノ氏名ハ官廳ノ臺帳ニ登記セラレ其營業ハ法律上永久的ト見做サレタリ、又タ當時淫賣婦ト女優トハ營業上稍ヤ其趣ヲ異ニスト雖モ實際ニ於テ全ク同一ノモノト見做サレタリ、而シテ其時代ニ於テ基督教復興ノ感化力如何ヲ記述シタル一書アリ、今マ其大要ヲ擧クレハ左ノ如シ、

『基督教ハヴハレンチニアン一世ノ時代ヨリ以來實ニ大勝利ヲ得タリシナリ、今マ基督教ノ感化力ノ効果ニ就テ之ヲ云ハンニ、一ノ女優アリ基督教ニ婦依シテ終ニ其業ヲ廢シ聖禮典ヲ受ケタリシカ、後如何ニ他ヨリ勸誘セラル、コトアリトモ、再ヒ元ノ醜業ニ復セサルカ如キ是レナリ、然ルニ當時ノ法律ヲ以テ巧ミニ之カ豫防法ヲ實行スルニ至レリ、即チ基督教ノ教義ニ從ツテ女優ヲ廢業セシムルコトヲ法律ヲ以テ獎勵スルノ方法ヲ取リタルコト是レナリ、是レ即チ基督教ノ勢力ノ熾ンナリシヲ證スルニ足ルヘキナリ、又タ法律上左ノ如キコトヲ規定セルアリ、曰ク基督教ヲ奉シタル女優ニアラスンハ解放サレテ自由ノ身トナルコトヲ得ス、是レ亦基督教ノ勢力ノ著シカリシヲ證スルニ足ルヘシ』

ヴハレンチニアンニ繼テ羅馬ノ帝位ニ登リシモノハ大革新家ナルセオドシウス帝ナルガ、帝ノ在位中ニ於テ淫賣婦ニ課セラレタル國稅ハ一時中止セラレタリ、蓋シ此國稅中止ヨリ生スル歲入ノ缺損ハ府ノ富豪家フロレンチウスノ義捐金ヲ以テ補給セラレタルナリ、又タ淫賣屋ヲ廢滅セシメンカ爲メニ嚴重ナル手段ヲ取リ、其他通常ノ婦人ニシテ其行動全ク淫賣婦ニ異ナラサルモノヲ嚴罰ニ處スヘキ規定ハ廢止セラレタ

リ、其後淫賣婦ニ課セラル、國稅ハ不幸ニシテ復活セラレタルモ、終ニ全ク廢止セラレタリ、又タアナスタシウス第一世ノ在位中(紀元四百九十一年ヨリ五百十八年ニ至ルノ間)ニ彼ノ淫賣婦ノ氏名登録ニ關スル臺帳ハ全ク廢止セラレタリ

紀元三百三十七年ヨリジャヤスチニアン在位ノ終末(五百六十五年)ニ至ルノ間ニ於テ隨時公認淫賣婦ヲ廢止セントスルノ目的ヲ以テ最モ嚴峻ナル法律カ發布セラレタリ、今マ其法律ノ二三ヲ擧ケンニ罰金ニ處シ、家財ヲ沒收シ、笞罪、追放、鑛山ノ苦役ニ服セシメ甚シキハ死刑ニ處セラル、カ如キ是レナリ、斯クノ如ク法律如何ニ嚴峻ナルモ更ニ其效力アラサリシナリ、諸種ノ犯罪行爲ヲ抑止センニハ法律ノミノ能クシ得ヘキニアラサルナリ社會一般ノ道德高マリ來ルニアラスンハ能ハサルナリ、此理ハ淫賣婦撲滅ノ上ニモ亦適用シ得ヘキモノナリ

斯クテジャヤスチニアンハ淫賣婦ニ關スル諸種ノ弊害ヲ除却センコトヲ勉メタリ、中ニ就テ其夫人ト云ヘルハ元是レ淫賣婦ナリシカ、一旦其魔窟ヨリ救ヒ出サレシヨリ熱心ナル淫賣婦ノ救護者トナリテ彼等ヲシテ正業ニ復サシメント種々ニ力ヲ盡ス所アリシカ、其内最モ著シキ手段ト云ヘルハボスホルスニ於ル宮殿ヲ淫賣婦ノ救護所トナシテ五百名ノ女子ヲ收容シテ夫々救濟ノ途ヲ立テシメントシタリシカ、人氣ヲ惹クベキ好結果ヲ得ス、逃走スルモノ坏多クアリテ終ニ失敗ニ歸シタリ、蓋シ淫賣婦救助手段ハ一ニシテ足ラスト雖モ、自カラ其非ヲ悔悟シテ正業ニ就クヘキ決心ヲ抱キ而シテ實際正業ニ従事シ得ヘキ能力如何ヲ斷

定スルコト最モ肝要ナリト知ルヘシ

吾人ハ是レヨリ淫賣婦救濟法ノ結果如何ニ就テ再ヒ論述スル所アラントス

- (一) 淫賣婦ノ正業ニ復歸スヘキ門戸ハ基督教カ精神界ヨリ之ヲ開放シ、而シテ社會上法律ヲ以テ之ヲ承認セシカ、此方面ヨリノ效果ハ實ニ測リ知ラレサル程ナリシ
- (二) 淫賣婦ヲ一層下劣ナリトシテ罰スルコトハ廢止セラレタリ
- (三) 淫賣婦ニ課セラレタル國稅ハ既ニ廢止セラレ、從ツテ淫賣婦ノ氏名ヲ登録スヘキ臺帳ノ廢止セラレタルヨリ淫賣婦營業ハ最早國家事業ニアラサルナリ、又タ他ノ方面ヨリ之ヲ見ルニ淫賣婦ヨリ上ルヘキ國稅カ廢止セラレタルヲ以テ國庫ノ收入ハ其レ丈ケ減少シタル譯ナルカ此點ニ就テハ淫賣婦改革家ハ何等ノ成算之レナキカ、此國庫收入問題ハ最モ重要ナルモノト云ハサルヘカラス、淫賣婦ニ課セラレタル國稅ハ既ニ廢止セラレタルモ、淫賣宿カ登記セラレテ國稅ヲ納ムルコト、ナリタリ、但シ其收入額ハ前者ニ比スレハ一層少ナキナリ、然レトモ基督教國ニテハ後再ヒ淫賣婦營業ヲ以テ國家財源ノ一トナスニ至ラザリシナリ

基督教ノ感化力ハ獨リ羅馬ノ法律上ニノミ效果アリシニアラス、其他野蠻國ノ法律上ニモ亦是レ效果ナクンハアラス、且ツ其效果ヲ收ムルニ就テハ左マテノ困難アラザリシナリ、例之ハ彼ノ『ウキシゴス』人ノ如キハ結婚ニ就テ一夫一婦ノ制度ヲ善ク遵奉シテ互ニ貞操節義ヲ重ンスルハ始メト其人種ノ

天性ト思ハル、ハカリナリシ、其他新人種ガ基督教ノ感化ノ下ニ來ル時之ガ立法者タル者ハ、姦淫ヲ防禦スルニ就テ最モ嚴峻ナル制裁ヲ加フルヲ以テ家庭ヲ安定ナラシムルノ手段トナシ、此事ニ關シテ全力ヲ盡シタルモノ、如シ、然レトモ姦通ニ關スル制裁ニ至リテ男女ノ間平等ナラザリシヲ以テ左マテノ效果擧ラザリシナリ

#### 中古時代ニ於ル狀況

基督教ノ宣傳ハ徐々トシテ直接ニ國家ノ法律上ニ影響ヲ及ホスニ至レリ、第六世紀及第七世紀ニ際シテハ教正ノ位置カ甚ハタ高クナリ、從ツテ國家ノ政務ヲ商議スル議會ニモ出席シ、或ハ市府ノ施政ニモ從事スルコト、ナレリ、蓋シ此等ノ教正カ斯ル高位置ヲ得ルニ至リタルハ畢竟スルニ其思想大ニ發達シ其學識該博ナルニ基ツカスンハアラス、然レトモ時ニ或ハ其行動ニシテ不信任ヲ招クコトナキニアラス、然レトモ大體ノ上ヨリ之カ觀察ヲ下セハ此等ノ教正ハ奴隸、弱者及貧困者等ニ對シテハ實ニ有力ナル保護者ト云ハサルヘカラス、淫賣婦救濟ノ事モ亦是レ其念頭ニ懸リ居タルハ吾人ノ更ニ疑ヲ容レサル所ナリ、然レトモ當時此等ノ教正ハ一身ニシテ二様ノ資格ヲ有シ居タルモノナリ、即チ僧侶トシテ事ニ從フ場合ト行政官トシテ事ヲ取ルノ場合はレナリ、僧侶ノ身分トシテハ人ノ精神魂魄ヲ救濟スルヲ以テ其目的トスルモノナリ、然ルニ行政官爲政家ノ立場ヨリ之ヲ觀レハ複雜ナル事情ノ下ニアリテ困難ナル位置ニ立タサルヘカラス、吾人カ今マ中古ノ基督教徒ノ心事如何ヲ公平ニ判斷セント欲セハ勢ヒ一身ニシテ僧俗二者ノ資格ヲ有

スルコトヲ念頭ニ置カサルヘカラス、之ヲ譬フレハ恰カモ時計ノ振子ノ如ク右ニ傾クカト見レハ又タ左ニ傾キテ何レカ一方ニノミ傾クヘキモノニアラス、僧侶ノ身分ノ方ヨリ言ヘハ最モ嚴格ノ態度ヲ取リテ淫賣婦救濟ノ方法ヲ考究セサルヘカラス、去リトテ利益ヲ目的トセル淫賣宿ノ如キモノカスル教正ノ所有ニ屬スルカ故ニ、其利益ノ點ヨリ打算シテ此等ノ魔窟ヲ撲滅スルノ策ヲ取ルコトヲ得ス、又其當時ニアリテハ僧侶カ常ニ淫賣婦ノ許ニ赴キテ教ヲ説キ聞カセ且ツ男子ニ對シテ親切ナルヘキ事ヲモ説キタリシト云フ、此等ノ事實ハ如何ニモ前後矛盾スルカ如キ觀ナキ能ハス、蓋シ所謂ル中古ノ市邑ト今日ノ市邑トハ大ニ其趣ヲ異ニシ居レルコトヲ了知シタランニハ、此等ノ點モ自カラ明カナルヘキナリ

中古ノ市邑ハ甚ハタ狭小ナルモノニシテ其人口ノ如キモ少ナク市民トシテ互ニ相知ラサルモノハ殆ント之レナキ程ナリシ、又タ市民ノ信仰スル所ハ猶太人ヲ除クノ外全ク一種類アルノミ、從ツテ道德上ノ説モ全ク同一ニシテ人ニ依リテ異ナル所アルヲ見ス、然レトモ之ヲ遵守實行スル上ニ於テハ差異ナクンハアラス、市民中ニ階級ハアレトモ表面ノ儀式ニ止マレリ、彼ノ淫賣婦ノ如キモ法律上普通一般ノ婦人ト異ナル所ナクンハアラス、即チ淫賣婦ノ服裝ハ法律ヲ以テ一種格段ナルモノト定メ、又タ其住所ハ市内爾カノノ場所ト定メラレタリ、然レトモスル法律ハ實際ニ於テ行ハレサリシナリ、今マ其事實ヲ擧ケテ之ヲ證サシニ淫賣婦ニシテ市内何レノ箇所ヘ自儘ニ移轉スルモノアルモ處罰セラル、コトナク、又タ公然教會ヘ臨ンテモ何タル制裁ヲモ加ヘラレサリシナリ、其他説教師ガ訓誨上必要アリトテ群集セル淫賣婦中ヨリ一人

ヲ抜き取リテ他ヘ連レ行クカ如キコトハ珍ラシカラサリシナリ、當時淫賣婦ニ關スル不取締モ亦甚ハタシカラスヤ

當時ニ於ル淫賣婦ノ數カ全般ノ人口ニ比例シテ甚タ多カリシコトハ、今日ノ比例ノ遙カニ及ハサル所ナリ是レ疑フヘカラサル事實ナリ、而シテ此等ノ淫賣婦ハ營業上識ラス知ラスノ間ニ刑事上ノ犯罪人トナリテ、嘗ニ宗教上ノ訓誡其功ヲ奏セサルノミナラス、正路ニ立チ歸リテ身ヲ益スルコト能ハサルニ至ルヘキナリ、而シテ此等ノ淫賣婦ノ影響トシテ克己心ナキ墮落男子ノ數ヲ増加シ、又淫賣ヲ營業トスル婦人ノ數ヲ増加セスンハアラス、其社會ヲ荼毒スルコト得テ想像スヘキノミ

當時ノ市邑ノ有様如何ナリシヤト云フニ克己心アリテ智識上及道德上共ニ著シク進歩發達シタリシナリ、而シテ斯ル市邑ノ長タルモノハ淫賣婦取締上ニ就テ種々思慮ヲ回ラシタルカ、結局淫賣婦ハ再ヒ正業ニ就クコト難クシテ社會ニ害毒ヲ流スコト甚ハタシキカ故ニ終ニ之ヲ市外ヘ追放スルコト、セリ、但シ其追放ノ結果如何ニ成リ行クヘキカニ就テハ何等思慮スル所モナカリシ由、斯ク市外ニ追放セラルル淫賣婦ト云ヘルハ其行動亂雜ニシテ毫モ秩序ナク刑事上ノ罪惡ヲ犯シ且ツ常識ヲ有スルモノニアラサルカ、往々鼻或ハ耳杯ヲ切り殺カル、カ如キ野蠻殘酷ナル刑罰ヲ受ケタル後市外ニ追放セラル、モノナリ、斯ル體刑ヲ受ケ其爲人下劣ニシテ且一種ノ疾病ニ罹リタルモノカ市外ノ各所ヲ徘徊シ或ハ巡禮ノ仲間ニ加ハリ或ハ隊商ノ列ニ入りテ益々其病毒ヲ蔓延セシメ、而シテ此等ノ病毒ハ再ヒ市中ニ侵入セスンハアラス、抑モ此淫賣婦



追放ノ政策タルヤ疫病流行ニ際シテ往々實行セラレタルモノナルカ、先見ノ明ナク殘酷ナリト評スルノ外ナキナリ、又タ斯ク淫賣婦ヲ追放スルニ就テモ個人タル淫賣婦ト團體ヲ成セル淫賣婦トノ間ニ毫モ區別ヲ爲サ、リシナリ

市邑タルモノハ法律ヲ定メテ市民ヲ保護シ苟クモ社會ノ安寧秩序ヲ害スヘキモノアラシニハ充分ニ之カ取締ヲ爲サ、ルヘカラス、淫賣婦ヲ離隔シテ或ル箇所ヲ其居所ト定メンコトハ其取締上適當ノ處置ト云ハサルヘカラス、然ルニ市民中ノ或ル階級ヲシテ淫賣宿ノ持主タラシメ淫賣婦ヨリノ上リ高ヲ其所得トナシ淫賣婦ノ保護者タラシメンカ、是レ不都合ナル事ニシテ決シテ其儘ニ打テ棄テ置クヘキモノニアラス、今マ市内ノ淫賣宿ヲ全ク廢止スルコト能ハストセンカ、果シテ然ラハ市邑タルモノハ淫賣宿取締規則ナルモノヲ設ケテ嚴重ニ之ヲ取り締ランコトヲ望マシケレ、而シテ其取締規則ノ概要如何ト云フニ所謂淫賣宿ニ居住セル淫賣婦ヲシテ不當ノ暴利ヲ貪ホラシメス、強請強奪スルカ如キ振舞アラシメス、以テ公衆ヲ保護スルカ如キモノ是レナリ、尙ホ一步進メテ之ヲ云ハンカ、斯ル營業上ヨリ得タル金圓ハ之ヲ社會ノ公共事業ニ用フルコトトセンカ、社會公衆ノ爲メ尙ホ一層ノ得策ト云ハスンハアルヘカラス、此種ノ金圓ヲ斯ク利用センカ、一方ヨリ之ヲ觀レハ一種ノ罪滅ホシト云フヘキナリ、此營業上ヨリ得タル收益ヲ一種ノ贖罪金ト見做シテ處分シテ不可ナルヘキナリ

又タ淫賣婦ヲ市外ニ追放スルコトヲ爲サス、矢張り其儘ニ棄テ置クヘシトノ說ヲ立ルモノアリ、此說ハ最

モ有力ナルモノニシテ其主意ノ概要ヲ擧クレハ左ノ如シ、曰ク宗教上ノ力ヲ以テ總テノ男子ヲシテ其行狀ヲ端正ニシ、淫賣婦杯ニ近カシメサラント勉メタレトモ、更ニ其效力ナク、此等ノ男子ハ其性慾極メテ熾ニシテ到底之ヲ抑制スルコト能ハス、故ニ淫賣婦ヲ市外ニ追放スルモ直チニ其缺陷ヲ補フヘキモノ生セスンハアラス、是レ自然ノ趨勢ニシテ亦タ如何トモスルコト能ハス、恐ラクハ其缺陷ヲ補フヘキモノハ下劣ナル婦人ニアラスシテ無垢可憐ノモノナルヘシ、淫賣婦ヲ追放シテ斯ル弊害ヲ生セシメンヨリ寧ろ淫賣婦ヲ其儘ニ棄テ置キテ此弊害ナカラシメンニ若カム

淫賣婦ヲ市中ニ其儘差シ置クコトコソ却ツテ得策ナルヘケレトノ說アル以上ハ、淫賣宿ノ如キモ矢張り其儘存シテ差支ヘナカルヘシトノ說起ルハ當然ノ事ナリ、普通ノ人或ハ低腦ノ人ニ至リテハ斯ル說ヲ當然ト思フナルヘシ、去リナカラ其說果シテ眞ニ至當ナルヤ否ナニ至リテハ有識具眼ノ人ノ判斷ヲ乞フアランノ

而シテ淫賣婦ニ關スル意見ニシテ今日ノ如キニ至リタルハ思想界ノ變遷ニ歸セサルヘカラス、思想界ノ變遷ハ第十六世紀ノ出來事ニシテ其結果淫賣婦營業ヲ市ノ事業ヨリ排除スルコト、ナレリ、且ツ市ノ權能ナルモノハ法律上明ラカニ制定セラレタリ、而シテ第十六世紀以降此醜業ハ個人ノ營業タルニ過キサルトコト、シ、法律ヲ以テ之ヲ取り締ルコト、セリ、

第十五世紀中ニ於テ花柳病廣ク蔓延シタルヨリ一般ノ人心大ニ驚怖シタリ、蓋シ花柳病ノ由來セルコトニ

就テハ後段ニ於テ論述スル所アルヘシ、淫賣營業ノ罪惡タルコトハ何人モ之ヲ否認スルコト能ハス、然ルニ當時政府力之ヲ默許スルハ亦タ止ムヲ得サルノ政策ナリト見做シタルモノ、如シ、抑モ花柳病ノ發生シタルハ畢竟スルニ斯ル罪惡ヲ犯シタルヲ神ノ怒リ玉フタル結果ニ外ナラストハ一般ノ人カ其良心ヨリ判斷シタル所ナリ、西班牙國ニ於テハ法律上淫賣業ヲ許可シテ相當ノ取締法ヲ設ケタリ、一ノ旅客アリ同國ノグハレンシアニ一廓ヲ成セル花柳界ノアル事ヲ記載セルカ、其記事中ニ廓内ノ婦人ハ何レモ美服ヲ纏ヒ居リテ且ツ醫師ノ診察ヲ受ケシムヘキ規定ノ設ケアルコトヲ述ヘタリ、其他加登律幾教々長ハ淫賣宿營業ヲ許可シタリト云フ、又々市ハ其歲入ヲ増加センカ爲メニ此等ノ淫賣宿ニ課税シタルコト往々ニシテ之レアリ、其他佛蘭西國セント、ルキモ一千二百九十三年ニ於テ淫賣宿ニ課税スルノ政策ヲ取リタリシガ、後シヤールマール帝ノ禁示法ニ從フテ淫賣宿ヲ廢止セントシタリシカ、不幸ニシテ失敗ニ終リタリ又タ其當時ニアリテ一種異様ノ淫賣宿アリシ、ラス、バーマスニ設立セラレタルモノ是レナリ、(此箇所ハ其後セント、オーガスチンノ教會堂及修道院ノ建設セラレタル所ナリ)抑モ此淫賣宿ト云ヘルハ一千五百三年五月二日イサベラ女王ノ勅命ニ從ツテ設立セラレタルモノニシテ、之ヨリ上ル所ノ收益ハ税金トシテ徵收セラレ市ノ金庫ヘ納ムヘキモノト定メラレタリ、然ルニ一般ノ人心ハ斯ル不潔汚穢ナルモノヲ設立スルハ神ノ怒リヲ惹キ起スヘキモノナリトテ大ニ激昂シ、終ニ一ノ團體ヲ造リテ之ヲ顛覆シ之ニ代フルニ神聖ナル教師ノ居住スル所ト爲シタリ、後此箇所ハ種々神變不思議ナル事アリテ有名トナレリトシ

第十六世紀ニ至リテ市廳ハ再ビ淫賣宿ヲ抑壓セント試ミタレトモ其甲斐ナカリシ、倫敦ニテハ淫賣宿ハ元是レウキンチエスタノ教正ニ税金ヲ納メタリシカ、後市役所ノ管轄ニ歸セシモ一千五百六年ニ至リテ一旦廢止セラレタリ、然レトモ幾干ナラスシテ國家ヲ利スルモノナリトテ再ヒ開カル、コト、ナリタリ、然レトモ一千五百四十六年ニ至リテ市民ノ要求ヲ容レテ終ニ全廢セラレタリ

斯クテ一千五百六十年ニ至リテフランシス二世ハ佛蘭西全國ノ淫賣宿ヲ禁止スヘキ命令ヲ發シタリ一千五百五十三年ニ於テポルドウ市ハ借家人ノ品行如何ニ就テハ家主タルモノニ之カ責任ヲ有セシムルコト、セリ、即チ借家人ノ品行如何ヲ確ムルコトヲ以テ家主タルモノ、職責トシタルコト是レナリ、淫賣婦媒介者及淫賣宿ヲ爲シタルモノハ初犯ニ於テハ鐵籠ニ入レテ之ヲ河水ニ投シ再犯ニ於テハ嚴刑ニ處セラルヘキモノトス

淫賣ヲ營業トスルモノ、罪アルコトハ今更云フヲ要セス、然レトモ此淫賣營業者モ其背後ニ之ヲ鼓舞獎勵スルモノナクンハ決シテ成リ立チ得ヘキモノニアラサルナリ、故ニ淫賣業ヲ退治セント欲セハ先ツ之ヲ鼓舞獎勵スル者ヲ處罰セサルヘカラス、是レ之ヲ退治スルノ最良法ト謂ツヘキナリ

## 花柳病ノ事

抑モ淫賣營業ナルモノハ獨リ社會ノ倫理道德上ニ危害ヲ及ホスヘキノミニアラス、人ノ身體ヲ害スルコト

モ亦タ少ナカラサルナリ、男女ノ間濫リニ淫猥ノ事行ハル、ヨリ從ツテ一種ノ疾病發生スルハ勢ヒ免カレサル所ナリ、即チ花柳病ノ發生スルコト是レナリ、方今花柳病蔓延ノ事ニ就テハ大ニ輿論ヲ惹キ起セリ、醫師ノ團體ヨリ其筋ヘ左ノ如キ事ヲ警告セルコトハ殆ント絶ヘサル程ナリシ、曰ク花柳病ナルモノハ國民ノ能率ヲ減少セシムヘキモノナレハ決シテ等閑ニ附シ去ルヘキモノニアラス、早ク之ニ對シテ適當ノ處置ヲ施コサ、ルヘカラス、人ノ體力ヲ衰退セシメ出生率ヲ減少セシムヘキモノニアラスシテ何ソヤ

今ヨリ二十年前ノ事ナリシカ英國醫師協會ヨリ當時ノ政府ニ對シテ花柳病ノ事ヲ調査シテ相當ノ處分アリ度旨忠告セシコトアリ、然ルニ政府ハ此忠言ニ耳ヲ貸サスシテ矢張り放任主義ヲ取リタリ、又タ體力衰退調査協會ハ一千九百四年ノ年報ヲ發行シテ右ト同様ノ忠告ヲ政府ニ提出シタリ、後貧民救助法研究委員會ハ一千九百九年ノ年報中ニ花柳病蔓延ノ事及其治療ノ不充分ナルコトヲ記載シタリ、其他地方政局ハ局費ヲ支出シテ或ル方面ヲ限リテ花柳病ヲ調査シ一千九百十三年ニ其結果ヲ公表シタリ、又タ皇立調査委員會員ナルモノ組織セラレタルカ、此委員會ノ目的トスル所ハ我聯合王國ニ於ル花柳病蔓延ノ度合如何、花柳病ガ社會ノ健康上ニ及ホス影響如何、及花柳病ノ害毒ヲ輕減シ若クハ豫防スル方法如何ヲ調査スルニアリシナリ、斯クテ一千九百十六年ニ至リテ其調査シタル結果ヲ報告シタリ、此報告書ハ二大冊子ヨリ成レルモノニシテ二萬二千二百九十六ノ問題ト之カ答案トヲ記載シタリシナリ、今マ此編ニ於テ記述スル所ハ重モニ此等ノ報告書ニ基ツケルモノト知ルヘシ

『花柳病』ノ意義ハ廣クシテ微毒、癩病及下疳ノ三種ヲ含メルモノ、謂ナリ、蓋シ此疾病ハ兩性交合中何レカ一方カ既ニ之ニ罹リ居タルヨリ感染スルモノト知ルヘシ、然レトモ今マ予輩カ論述セント欲スルハ微毒ト癩病トノミニ限ルヘキモノトス、下疳ニ至リテハ公衆衛生上ニ左マテノ影響ヲ及ホスヘキモノニアラサレハ姑ラク之ヲ擱クヘシ

微毒、是レハ新タニ生シタル疾病ニアラス、支那ニテハ紀元前一千二十四年以來既ニ之レアリシナリ、日本ニテモ是レ亦タ支那國ヨリ以前ニ之レアリシナリ、而シテ歐羅巴ニ此病ノ侵入シタルコトニ就テハ種々ノ說アリテ未タ一定シタルモノアラス、醫師杯ノ手ニ成リシ書籍ヲ涉獵スルモ微毒ニ關スル記事ハ曾テ見當ラサリシナリ、或ル人ノ說ニ曰ク摩西ノ衛生法ニテ癩病取締ヲ最モ嚴重ニシタリトノ事ナルカ、此癩病ト云ヘルハ其實微毒ナリシナラント、然レトモ是レ臆說ニシテ確乎タル根據アラサリシナリ

往古ニアリテ羅馬府ハ到ル所清潔ヲ重ンスルノ風習アリ、且ツ其當時ノ羅馬人モ亦タ是レ其身體ヲ清潔ニ保ツノ習慣アリシナリ、是レ身カラ疾病蔓延ヲ豫防スル手段トハナリタルナリ、斯ル次第ニテ中世マテハ傳染病蔓延ノ事アラサリシナリ、即チ中世ニ至リテ人口充溢シテ不潔甚ハタシキ都府ヨリ傳染病發シテ廣ク蔓延スルニ至レリ、彼ノ微毒ノ如キモ其内ノ一タラスンハアラス、微毒ノ蔓延最モ甚ハタシクシテ公衆一般ノ注意ヲ惹キ起シタルハ第十五世紀ノ終末ナリシカ、當時先ツ伊太利ニ發生シタルカ忽チ歐羅巴到ル所ニ蔓延シ次テシリア、埃及北阿非利加ニ波及シタリ、多クノ世人ノ想像說ニ曰ク一千四百九十五年佛軍

ガネーブルスヲ取り圍ミタリシ時、ネーブルスニ於ル西班牙國婦人カ微毒ヲ佛軍ノ兵士ニ感染セシメタリ是レ微毒ノ歐羅巴ニ蔓延シタル原因ナリト、然ルニ輓近カール、サツドツフ氏ノ研究シタル所ニ據レハ微毒ハ右ノ時代ヨリ以前ニ於テ既ニ歐羅巴ノ風土病トナリ居タル事ハ亦疑フヘカラサル事實ナリ、尙ホ是レヨリ先キ伊太利、日耳曼、佛蘭西及西班牙等ニ此病ノ存在シ居タルヲ證スルニ足ルヘキナリ、當時此病ハ到ル所ニ於テ一名『佛蘭西病』ト唱ヘラレ居タリシナリ、且ツ中世ニ於テハ癩病ノ診察甚ハタ粗漏ニシテ微毒ト癩病トヲ混同シ、之カ治療法トシテ水銀劑ヲ用ヒタルコトハ全ク疑フヘカラサル事實ナリ、然ルニ第十五世紀ノ終末ニ際シテ歐羅巴ニ於テ癩病カ其跡ヲ絶ントシタリシカ、恰カモ此時一種ノ疾病カ新タニ發生シタルカト思ハル、モノ出現シタリ、癩病ノ後繼者ト見ラルヘキモノニシテ、癩病患者ト淫賣婦ト交接シタル結果ニ外ナラスト思ハレタリ、當時微毒ニ對シテ斯ル觀念ノ生シタルモ醫術ノ充分發達セサル時代ニアリテハ亦無理カラヌコト、謂ツヘキナリ、而シテ今マ種々ノ事實ニ就テ研究センニ終ニ左記ノ如キ斷定ニ到着スヘキナリ、曰ク抑モ此微毒ナルモノハ一千四百九十四年ニ於テ先ヅ南部佛蘭西ノ費澤ナル都府ニ發生シ、夫レヨリヒレニースヲ越ヘテ西班牙國ニ入り、佛國王チャールス八世ノ軍隊ヲ介シテアルプス山ヲ踰ヘテ南下シタリ當時、チャールス王ノ軍勢ハ向フ所敵ナクシテ終ニネーブルスニ達シタリ、然レトモノヅハラニ至リテヴヘネチア人及ミラン人ニ依リテ其進路ヲ食ヒ止メラレタリ、當時伊太利軍ノ軍醫マーセリウス、クマナス氏ハ包圍セル佛軍中ニ微毒ノ發生シタルコトヲ證言シタリ、之ニ因リテ是ヲ觀レ

ハ佛軍ヲ介シテ此病ヲ蔓延セシメタルコトハ亦タ疑フヘカラサルナリ

斯クテ右ノ戰爭ハ二ケ年間打續キタルカ、其ノ間ニ彼ノ微毒ノ有様ハ全ク一變シテ最モ激烈ナル傳染病トナレリ、且ツ媾和條約訂結セラレテ此ノ戰爭モ終熄ヲ告ケ、從ツテ傭兵モ夫々解散スルコト、ナリタルカ、傭兵解散後ハ歐羅巴洲中到ル所ニ布散セラル、カ故ニ、之レカ爲メ微毒モ廣ク傳播セラル、コトトナレリ

一千四百八十四年ニ於テポール、ヴオン、ミツドルバルフ氏ハ豫言シテ曰ク、一千四百九十二年ヨリ一千五百年ニ至ル間ニ於テ最モ恐ルヘキ花柳病起リテ其勢猖獗ヲ極ムヘク、而シテ男女間ニ不徳ノ行爲盛ナルニ相違ナカルヘシト、斯クノ如キ豫言ハ觀察力ノ鋭敏ナルモノナランニハ左マテ困難ナルコトニアラサルヘシ、恰カモ前世紀ニ於テ黑死病ノ犠牲トナリタルモノ六千萬ノ多キニ達シタリ、換言スレハ全歐洲人口ノ四分ノ一ヲ斃シタルコトナルカ、當時此大事變ノ爲メニ道德禮讓及人情等ノ美德大ニ頽廢シタリシカ、後斯ル頽廢ヨリ徐ロニ恢復セントスルニ際シテ一般ノ文學技藝大ニ發達シ來レリ、所謂ル吾人ノ『文藝復興時代』ト唱フルモノニシテ第十五世紀ノ終末ニ至リテ其頂天ニ達シタリ、ヅキラリー氏ハ此時代ヲ指シテ『智識ノ發達シタルニハ驚クヘキモノ之ニ伴フテ道德頽廢シタル時代ナリ』ト云ヘリ、然レトモ此時代ノ文學ト云ヘルハ猥褻淫靡ヲ主トセルモノニシテ斯クノ如ク甚ハタシキモノハ未タ曾テアラサル程ナリシ、而シテ當時ノ貴公子達ハ此種ノ書物ヲ愛讀シタルモノナリシト云フ

當時ニアリテハ人ノ意見思想ヲ束縛スルコト曾テ之レナク甚ハタ自由ナリシカ、之レト同時ニ道徳ノ觀念大ニ弛廢シタリ、宗教信徒ト否ラサルトヲ問ハス共ニ是レ恥辱ナリト云ハサルヘカラス、既ニ斯クノ如キ有様ナルカ故ニ一千四百九十五年ニ於ル歐羅巴ハ花柳病發生ニ就テハ最モ成熟シタルモノト謂フヘキナリ

其後二十年間乃至三十年間ハ引キ續キテ此病流行シタリシカ、尙ホ歐洲到ル所ニ地方病トシテ絶ヘサリシナリ、斯クテ此病ノ蘇格蘭ニ侵入シタルハ一千四百九十七年ナリシ、然ルニ蘇格蘭王ゼームス第四世ハ同年九月廿二日ヲ以テ一種ノ命令ヲ發シタリ、其命令ノ要領ヲ擧クレハ左ノ如シ、曰クエジンバルフ府ニ於テ苟クモ花柳病ニ罹リ居ルモノハ二十四時間内ニレースニ立チ退クヘク、而シテ所要ノ物品等ヲ夫々準備シテインチケース島ニ送致セラレ、其病ノ平癒スルマテ同島ニ留マラサルヘカラス、此命令ニ從ハサルモノハ其類ニ燒印シテ何人ニテモ一見以テ命令違犯者タルコトヲ知ラシムベキモノトス

此病ノ英吉利ニ侵入シタルモ亦是レ一千四百九十七年ナリシト信セラル、然レトモ微毒侵入ニ關シテ始メテ記載セラレタルハ一千五百三年三月十五日ナリシ、當時國王ヘンリー七世ノ后妃エリサベス陛下ガジヨン、バトリツヘノ微毒ヲ平癒セシメタル醫師ヘ謝金トシテ御手元金ヨリ二十志ヲ賜ハリタル事實ノ記載ニ係ルモノ是レナリ、夫レヨリ三年ノ後倫敦ニ於ル淫賣宿ハ全ク廢止セラレタルシカ、微毒ハ尙ホ根絶セ

ラレサリシナリ、當時歐洲ニ於テ微毒ニ關スル書籍ノ發行セラレタルモノ少ナカラサリシカ、其内英國ニ關スルモノハ殆ント之レナカリシナリ、抑モ微毒ニ關スル書籍ノ始メテ出版サレタルハ一千五百三十三年ニシテ、ウリツチ、フツテンズ氏ノ著書ヲメルトン寺院ノカノン氏ノ翻譯シタルモノ是レナリ、此書籍ハ當時評判ノ甚ハタ好カリシモノト見ヘテ第七版マテ發行スルニ至レリ、又タ英文ニテ始メテ微毒ニ關スル書籍ノ出版サレタルハ一千五百七十六年ニシテ、其著者ハセント、パーソロミウ旅館ノ醫師ウキリアム、クロース氏ナリシカ、一千五百七十九年ニ至リテ内容ヲ増補シテ再版セラレタリ、而シテ一千五百七十九年ニ至リテ彼ノ微毒カ好シ流行性タラサリシト雖モ、其跡ヲ絶ツニ至ラス尙ホ存在シ居タルコトハ亦タ疑フヘカラサルナリ、是レ他ナシ彼ノウキリアム、クロース氏カ左ノ如キ事實アルコトヲ證明シタレハナリ曰ク、セント、パーソロミウノ内三ヶ所ハ微毒患者ヲ以テ充滿サレタル程ニテ、其患者ノ多キコトハ其他ノ諸種ノ疾病ニ罹レルモノ、全數ヨリモ一層多カリシナリ、且ツ此病ノ久シキ間存在シタルコトハ其他種々ノ證迹アリ明ラカナラスンハアラス

微毒ノ性質、抑モ微毒ナルモノハ特種ナル一ノ有機體ヨリ發生スルモノナリ、蓋シ此事實ハ一千九百五年ニ於テスヘージーン氏及ホッフマン氏ノ發見ニ係ルモノニシテ、此等ノ人々ハ此有機體ヲ名ケテ「スピロヘータ、バリーダ」ト云ヘリ、此有機體ニシテ一タヒ人體中ニ侵入シタランニハ直チニ或ル機關ヲ攻撃スヘキナリ

微毒ニ關スル臨床的沿革ハ皇立委員會ノ報告書四頁、二十三頁及二十四頁ニ明記セラレタリ、此報告書ナルモノハ非醫者タル讀者ニ對シテ最モ解シ易キ様最モ平易ニ能ク編成セラレタルモノナリ、然レトモ今マ吾人ノ目的トスル所ハ花柳病ノ社會ニ及ホス影響如何ヲ説キ明カサント欲スルニアリ、是レヨリ以外ニ論及スルコトハ吾人ノ目的トスル所ニアラサルナリ

微毒傳播ノ模様如何、微毒ハ直接若クハ間接ニ傳染シ、或ハ遺傳性（先天的微毒）ノモノモアリト知ルヘシ

### イ、後天的

一、直接的、通常交接ヨリ、微毒アル嬰兒ニ接吻シ若クハ之ニ乳ヲ吞マシメタルヨリ、醫師、看護婦等ニ我身體ヲ取り扱ハレタルヨリ

二、間接的、此病毒ニ感染シタル物品ニ觸レタルヨリ、即チ剃刀、肉刺、櫛、「コツブ」、煙管等ニシテ此病毒ニ感染シタルモノ是レナリ、其他公衆一般ノ思ヒ設ケサル所ヨリ感染スルコト甚ハタ多シト知ルヘシ

ロ、先天的、幼兒カ此病ニ感染シタル母ヨリ遺傳スルカ如キコト是レナリ、或ハ父カ此病ニ罹リタルモ母ハ表面之ニ感染セサルカ如クナルモ、其實母ノ體內ニ潜伏シ居リテ「ワツセルマン」式試驗ニ掛ケタランニハ反應アルヘキナリ、而シテ斯ル母ヨリモ尙ホ遺傳スヘキモノト知ルヘシ

麻疾、此病ノ歐羅巴ニ侵入シタルハ微毒ノ侵入ヨリ一層以前ナリシコトヲ證スルニ足ルヘキ事實ノアルアリ、抑モ此病ノ發スルハ顯微鏡の有機體ニ基ツカسنハアラス、即チ麻毒球菌ノ發達ニ歸スルコト是レナリ、此麻毒球菌ナルモノハ一千八百七十九年ニ於テネイツサー氏ノ發見ニ係ルモノナリ、且ツ此病ハ傳染性ニシテ殆ント常ニ交接ヨリ傳染スルモノト知ルヘシ、最初ハ此病毒カ局部ニ留マリシヲ速カニ其衝地ニ蔓延スヘキナリ、若シ治療ヲ加ヘシテ其儘ニ打テ棄テ置キタランニハ其病毒往々全身ニ蔓延スヘキナリ、急性ニテモ間接ニ傳染スヘク若シ其毒液カ他ノ部分ニ運ハレタランニハ甚ハタシキ衝ヲ起スヘキナリ、斯クノ如クシテ最モ激烈ナル眼炎ヲ惹キ起スコトアルヘキナリ

### 花柳病發生後ノ影響如何

微毒、微毒ノ人體中ニ侵入シテ直チニ起ル所ノ影響如何ハ既ニ明ラカナレハ今更云フヲ要セス、然レトモ好シ此病ノ鎮靜シタル後ト雖モ決シテ油斷スヘキモノニアラス、其病毒カ秘密ニ行動シテ徐ロニ其組織中ニ侵入スヘキナリ、斯クテ數年ノ後繼續ノ症候タニナクシテ潜伏微毒ノ結果トシテ思ロ設ケサル疾病ノ發生スルコトアリ、從ツテ起ル所ノ影響ハ其度合第一回ノ症候ト何等ノ關係モ有セサルナリ、例之ヘハ第一回ノ症候ハ甚ハタ輕微ナリシニモ係ラス、第二回目ノ發病ハ其症候極メテ劇烈ナルカ如キコト是レナリ、身體中何レノ部分ト雖モ病毒ノナキ所ハ曾テ之レナキ有様ナルカ故ニ、第二回目ノ症候ハ種々ニシテ夥多ナラスンハアラス、中ニ就テ最モ重症ト謂ツヘキハ心臟及血管ノ内壁カ劣惡トナリ、腦脊髓ノ痛ク侵害セ

ラル、カ如キコト是レナリ、其他大動脈幹ノ動脈瘤ノ九〇%ハ微毒ニ基ツキ、又タ危険ナル精神病等モ微毒ニ起因セスンハアラス、倫敦養育院收容中男生一六%、女生二%ハ實例トシテ引用スルコトヲ得ヘキナリ

痲疾、此病ハ世間一般ノ人カ想像スルヨリ一層油斷ノナラス病症ト謂フヘキナリ、世人カ左マテノ疾病ト思ハサルヨリ隱蔽シ或ハ庸醫ノ手ニ委ネテ等閑ニ經過シ、適當ノ治療ヲ怠リタルカ爲メ終ニ重症ニ陥キリテ好シ治療スルモ其效ヲ奏スルコト能ハサルニ至ル、實ニ思ハサルノ甚ハタシキニアラスヤ、最初ノ程ハ一局部ノ痲衝ニ止マリシモ其儘ニ打棄テ置キタランニハ其病毒速カニ蔓延シテ全身ヲ侵スニ至ルヘキナリ、而シテ男子ニアリテハ其結果トシテ難症ノ痲質、尿道狹窄症及子ナキニ至ルヘク、女子ニアリテハ概シテ不妊症ニ陥キルヘキナリ、兎ニ角此病ハ社會ニ害毒ヲ流スコト最モ大ナルモノト謂ツヘキナリ、痲疾ニ罹リテ不幸ニ陥キルコト男子ヨリ女子ノ方一層甚ハタシキモノナリ、女子ニシテ此病ニ罹リタル初期ニアリテハ左マテノ痛苦ヲ感セサルヨリ他ノ力ヲ借リス、自家治療ヲ爲サントスル傾向アリ、而シテ容易ナラス事ト心ツキテ他ニ治療ヲ乞ハントスル時ハ、既ニ時機ヲ失シテ治療スルモ其效ナキコト珍ラシカラサルナリ

歐洲醫界ノ權威ト謂フヘキ博士ビンクス氏ノ説ニ曰ク、男子ノ痲疾ハ適當ナル治療ヲ爲シタランニハ平癒セサルモノ殆ントナカルヘシ、然レトモ女子ノ痲疾ニ至リテハ治愈スルモノ殆ントナカルヘシ、蓋シ同氏

ノ説タルヤ痲疾ニ罹リタル淫賣婦ニ就テノ實驗ニ基ケルモノ是レナリ、苟クモ痲疾ニ罹リタルモノハ男女ヲ通シ子ナク又タ痲質ニ罹レルコトハ既ニ前述シタル所ナルカ、中ニ就テ女子ノ方ニアリテハ尻骨盤ノ痲衝ヲ起シ及虛弱質トナルヘキナリ、サー、トウマス、パーロー氏ハ彼ノ調査委員會ニ於テ左ノ如キ事實ヲ明言シタリ、曰ク女子ノ尻骨盤ニ就テ施術シタル經驗ニ據レハ、其五〇%乃至六〇%ハ痲疾ニ基ツキ居タルコトヲ見出シタリト

#### 花柳病、患者ノ子ニ及ホス影響

花柳病ハ其病毒ヲ遺傳スルノ性質ヲ有スルモノナリ、即チ花柳病ニ罹リタル者ノ生ミタル子ハ生レナカラ其身體組織中ニ其病毒ヲ有スルモノナリ、或ハ恐ラクハ其生レタル子ハ甚ハタシキ不具者、盲目、聾、白癩、痲痺痲痺症等ニ罹リテ夭折スルモノ多キニ居ラスンハアラス、又タ遺傳ノ微毒カ流産若クハ死産ノ原因トナルコトハ決シテ珍ラシカラサルナリ

新タニ生レタル嬰兒ノ化膿性眼炎ノ七〇%ハ痲疾ニ基ツケルモノナリ、又タ幼童中ノ盲人中二〇%ハ痲疾ニ基ツケルモノト謂ツヘキナリ

#### 花柳病ノ經濟上ニ及ホス影響

痲疾ニ罹リタル男子及女子ニ子ナキコト、遺傳的微毒ノ爲メ流産死産若クハ夭折ナルカ如キコトアランカ是レ國民ノ元氣ニ取リテ甚ハタシキ重税ト云ハサルヘカラス、幼兒ニシテ疾病ニ罹ランカ經濟上ノ價值之

レナキモノトナルヘク、之ヲ治療スルニ就テ要スル所ノ費用、幼キ盲啞者ノ教育、白癡者ノ看護ニ要スル費用等果シテ幾干ソヤ、是レ皆花柳病ニ原因スルモノナリトセンカ、花柳病ノ國家經濟上ニ及ホス損害嗚呼亦タ甚ハタシカラスヤ、蓋シ此等ノ損害ハ遺傳的花柳病ニ罹リタル幼童ニ外ナラサルナリ、此外成年者ニ關スル損害ナクンハアラス、即チ成年者ニシテ花柳病ニ罹リタラシカ、其働力ヲ損害セラルルコト容易ナラサルナリ、其他陸海軍ノ力モ花柳病ノ爲メニ著シク減少スル所ナクンハアラス、花柳病ノ爲メニ國家經濟上ノ損耗一ニシテ足ラスト雖モ今マ一例ヲ舉ケテ之ヲ示サンカ、英吉蘭及威爾斯ノ養育院ノ經費中微毒ノミニ原因セル精神病患者ノ費用年々十五萬封度ニ下ラスト云フ、花柳病ヨリ生スル國家經濟上ノ損耗果シテ如何ナルヤ得テ想像スヘキノミ

### 花柳病ノ流行

皇立花柳病調査委員會ノ報告書第十六頁ニ記載サレタル事實ハ、種々ノ公立及私立ノ團體カ花柳病ニ就テ統計的ニ調査シタル結果ニ基キテ編成シタルモノ是レナリ、然レトモ信憑スヘキ事實ノ充分ナラサルハ遺憾ト謂ツヘキナリ、我國ニ於テハ花柳病全體ニ關スル統計曾テアラサルナリ、然レトモ陸海軍ニ於テ調査シタル結果ハ信スルニ足ルヘキモノナリ、海軍ニテ調査シタル結果ニ據レハ一千九百五年ニ於テハ微毒ニ罹レルモノ毎一千人ニ就テ四十八人九二ナリシカ、一千九百十二年ニ至リテハ一層減少シテ二十八人九三トナレリ、然レトモ痲疾ニ至リテハ其比例微毒ヨリ一層高クシテ且ツ減少シタル模様曾テアラサルナリ、又

タ陸軍ノ方ニテハ(本國ノ陸軍ニ就テ云フ)花柳病ニ關スル比例ハ一千八百八十八年ニ於テハ毎一千人ニ就テ二百二十四人五ナリシカ、一千九百十二年ニ至リテハ減少シテ五十六人五トナレリ、然ルニ右同一ノ期間ニ於テ其他ノ疾病全部ヲ總括シテノ比例如何ト云フニ、最初七百人九ナリシモノカ終ニ減少シテ三百四十六人四トナレリ、尙ホ同一ノ期間ニ於テ微毒ニ罹リタルモノノ病院ニ入ルコトヲ許サレタルモノ毎一千人ニ就テ三十人七ナリシガ、終ニ減少シテ十六人三トナレリ、又痲疾ト微毒トハ實際元是レ偶然ニモ同數ナリシカ、今日ニテハ微毒ニ對スル痲疾三ノ比例トナレリ、一千九百十二年ニ至リテハ微毒患者及痲疾患者ノ病院ニ收容セラレタルモノ著シク減少シタリ、即チ前者ハ毎一千人ニ就テ十九名トナリ後者ハ三十三名トナレリ、斯ク患者ノ減少シタルハ畢竟スルニ陸軍ノ衛生状態ノ進歩發達シタルト個人衛生ノ程度高マリタルニ外ナラス我カ全國ノ上ヨリ打算スレハ尙ホ未タ充分ナル統計アラサルナリ、然レトモ或ル點ニ就テハ明瞭ナル所アリト謂ツヘキナリ、花柳病ノ如キハ般盛ナル都會市邑ノ病氣ニシテ閑靜ナル村落ノ疾患ニハアラサルナリ

皇立調査委員會ハ諸報告ヲ綜合シタル結果トシテ左ノ如キ決論ヲ得タリ、曰ク大不列顛國ニ於テ微毒ノ最モ熾シニ流行スルハ何等ノ技術ナキホンノ勞働者、上等及中等ノ階級ニ屬スルモノニシテ、農事勞働者及鑛山勞働者ノ内ニハ極メテ少ナカリシナリ

彼ノ調査委員會ナルモノハ淫賣婦中ニ花柳病ノ存在スルコトハ一言モ述ヘサリシナリ、是レ他ナシ英國ノ



淫賣婦中ニハ實際斯ル疾患ニ侵サレタルモノ曾テナケレハナリ、然レトモ歐洲中淫賣婦ノ登記セラル、ケ所ニハ、好シ其淫賣婦ノ居住スル場所カ僅カニ一局部ニ限ラレタリト雖モ、尙ホ且ツ此等ノ場所ハ花柳病ニ侵サレタルモノナクンハアラス、尙ホ之ヲ詳言センニ『淫賣婦ハ其業ヲ營ムノ當初ニ際シテ花柳病ニ侵サル、モノナリ』トノ説アリ或ハ『淫賣婦ニシテ一ケ年間其業ヲ繼續シタランニハ概シテ花柳病ニ罹ラスンハアラス』トノ説アリ、此等ノ説ハ決シテ一人一個ノ説ニアラス、多數ノ人ノ認識スル所タラスンハアラスブラツセルスノロゲット氏ノ説ニ曰ク女子ニシテ花柳病ニ罹ルハ年齢十六歳ヨリ二十二歳マテノモノ多キニ居レリ、是レ登記サレタル淫賣婦ヲ調査シタル結果ニ外ナラス、登記ヲ經タル淫賣婦既ニ然リ登記ヲ經サル淫賣婦ノ多數ニ至リテハ然ラストノ理由萬々之レナキナリ

大不列顛國ニ於ル皇立花柳病調査委員會ハ左記ノ如キ決論ヲ爲スニ至レリ、曰ク花柳病ノ流行如何ニ關シテハ目今ノ所ニテ海陸軍ノ調査ヲ除クノ外、精密ナル調査ヲ遂クルノ方法アラサルナリ、且ツ花柳病ニ罹リタルモノハ動モスレハ之ヲ隱蔽スルノ傾向之レアリ、從ツテ其流行範圍ヲ測知スルコト甚ハタ難ク、治療ノ時機ヲ失スルコト甚ハタ多キカ故ニ、自カラ公衆衛生上ニ危害ヲ及ホスコト甚ハタ重大ナラスンハアラス、且ツ花柳病カ社會ニ及ホス惡影響ノ一ニシテ足ラサルコトノ認識セラレタルハ比較的輓近ニ過キサレナリ、故ニ此等ノ方面ニ關スル事實ハ尙ホ未タ明カニ見出サレサリシナリ、或ル國ニ於テハ僅カニ一地ニ於ル花柳病ノ調査ニ着手シタレトモ、其結果トシテ尙ホ未タ統計的事實ヲ得ルコト能ハサリシナリ、

病院等ニ於テ數多ノ検査ヲ爲シ及人口ノ或ル部分ニ就テ検査（死體検査等ヲモ含ム）シタル結果トシテ花柳病ノ蔓延セル豫想外ニ甚ハタシキコトヲ見出シタリ、但シ此等ノ検査ハ我カ聯合王國及外國ニ於テ爲シタルモノ是レナリ、現今ニ於テハ登記所々長ノ報告モ此花柳病ニ關シテハ不充分ノ所アリ、又タ花柳病ニ斃レタルモノモ多クハ認識セラレサリシナリ、而シテ彼ノ調査委員會ハ花柳病ニ關スル積極的統計上ノ數字ハ尙ホ未タ之ヲ得サルモ、各所ヨリノ報告ヲ綜合シテ以テ左記ノ如キ事實アルコトヲ斷定スルニ至レリ曰ク先天的ナルト後天的ナルトヲ問ハス花柳病ニ罹ルモノノ數ハ、大市邑全人口ノ一〇%ニ下ラサリシナリ、然レトモ痲疾ニ罹ルモノ、人口ニ對スル比例數ハ尙ホ之ヨリ一層多カラスンハアラス

右ノ如ク花柳病患者數ハ大市邑全人口ノ一〇%ニ下ラスト云ヘルモ、是レ畢竟スルニ右調査委員會カ各所ヨリノ報告ニ基キテ按出シタル推測ニ外ナラサルナリ、確實ナル統計アリテ然カク斷定シタルモノニアラサルナリ、然レトモ今マ吾人ハ斯ル斷定ヲ嘉ミシテ承認スルコト能ハス又タ拒ミテ否ムコト能ハス、然レトモ今マ吾人ハ大不列顛國ニ花柳病ノ存在スルコトノ甚ハタ多大ナルヲ信シテ疑ハサルナリ、是レ我カ國民ニ取リテ甚ハタ危險ナル事實ナルカ故ニ、吾人ハ之ヲ撲滅退治センカ爲メニ飽クマテ奮闘セスンハアルヘカラス、彼ノ花柳病調査委員會ニ提出セラレタル各報告ヲ公然開表セラレントコソ望マシケレ、蓋シ英國ノ公衆一般ニ取リテ之カ爲メニ大ニ益スル所アルヘケレハナリ

今マ吾人カ右調査委員會ニ報告セラレタル統計表ヨリ引用シ來リテ毫モ張大スルコトナク之ヲ開陳センカ

彼ノ花柳病流行ノ有様モ全ク世人ノ想像スル程甚ハタシキモノニアラサルナリ、試ミニ英國陸軍ニ於テ新兵募集ノ際花柳病ノ爲メ不合格トナリタル比例數ニ關スル統計表ヲ見ヨ、其募集サレタル階級ノ有様ヲ表明セスンハアラス、近年ニ募集サレタル新兵ハ社會ノ上流ニ屬スルモノ居多ナリシカ、花柳病ノ爲メニ不合格トナリタルモノ、比例數非常ニ減少シタリシナリ、例之ヘハ一千八百七十三年ニ於テハ不合格者ノ比例數一六・五ナリシモ一千九百十一年―十二年ニ至リテハ大ニ減少シテ一・四トナリタルカ如キコト是レナリ

#### 花柳病ノ取扱法

花柳病大ニ流行シタルハ第十五世紀ノ終末ナリシカ、當時市邑ノ官憲ハ之レカ爲メニ如何ナル方策ヲ取リシヤト云フニ、此種ノ患者ヲ市外ニ追放スルカ若クハ指定区域内ニ拘束スルニ過キサリシナリ、之ヲ治療スルニ就テハ何タル計畫モ立テサリシナリ、吾人ハ一千四百九十七年ニ於テアベルジーシ市カ淫賣婦全部ヲ市外ニ放逐スルノ策ヲ取リタルコトヲ知レリ、又タエデンバルフ市ハ同年ニ於テリーチケース島ヲ一ノ離隔所ト爲シテ、苟クモ花柳病ニ罹リタルモノハ悉ク皆同島ニ送致スルコト、ナシタリ、サンガー氏曰ク國王ヘンリー七世ハナイトブリツヂ。ハキゲート。キングスランド、セント、ゼオーヂ、ゲート、及ミル、エンドニ都合六ヶ所ノ花柳病患者收容所ヲ開設シタリ、然レトモ當時此等ノ收容所ハ斯ル疾病ヲ治療スル所ニアラス、畢竟スルニ花柳病患者ノ離隔所ニ過キサリシナリ

佛國ノ首府巴里ハ一千四百九十七年三月六日花柳病ニ罹リ居レル外國人ハ皆之ヲ市外ニ放逐シ、且ツ同

病ニ罹レル市民ニシテ相當ノ資産アルモノナランニハ自家ニ禁錮セシムルコト、セリ、然レトモ貧民ニシテ此病ニ罹リタランモノハハウポール、セント、セルマインニ設ケラレタル收容所ニ送付スルコト、セリ蓋シ是レハ男子收容ニ限ラレタルモノナリ、又佛國々會ハ當時早ク花柳病患者收容ノ爲メ特種病院ヲ建設スヘキ計畫ヲ起シタリ、然レトモ此病流行ノ際市民カ其近傍ニ斯ル病院ヲ建設センハ不都合極マレリトテ痛ク反對シタルカ爲メ折角ノ計畫モ終ニ消滅セラレタリ

佛國々會ハ一千五百三十六年ニ於テセント、ユーテース教區中ニ一ノ病院ヲ建設シテ花柳病患者ヲ收容セント欲スル計畫ヲ立テタレトモ、佛蘭西病院ノ痛ク反對アリタルカ爲メ終ニ其計畫モ消滅スルノ止ムナキニ至レリ其後一千五百五十九年ニ於テリウ、デルオールシンニ一ノ病院ヲ設立セントスルノ目論見アリシカ再ヒ佛蘭西病院ノ反對アリテ破ラレタリ、然ルニ一千六百十四年ニ至リテ初メテ茲ニ花柳病患者ヲ收容スヘキ特種ノ病院カ適當ニ建設セラレタリ、然レトモ此病院ハ男子ノ患者ノミヲ收容スル箇所ニ過キスシテ貧困ナル淫賣婦ニ對シテハ何等ノ設備モ之レナカリシナリ

中世ノ流行病ニ繼續シテ黒死病、發汗熱及微毒等發生シタリ、此ニ於テ乎當時ノ人民ハ以爲ラクスル疾病カ續々發生スルハ畢竟スルニ時人ノ深キ罪惡ヲ罰センカ爲メニ神ノ激怒シ玉フ徵候ニ外ナラス、是レ時人ノ心肝ニ深く銘刻シタル所ナリ、中ニ就テ花柳病ニ罹ルモノハ淫猥罪ヲ犯シタル罰ト思惟セラレタリ、淫賣婦ハ公衆ヨリ無宿浮浪者ト見做サレ而シテ花柳病ニ罹リタランニハ其罪惡ノ罰ヲ蒙リタルモノト見做サレ

タリ、故ニ之ニ對シテ公衆ヨリ更ニ同情セラル、コトナク其疾病看護ノ如キモ其同輩タル浮浪者ノ手ヲ待  
 タサルヘカラス、是レ其當時ノ人ノ斷定シタル所ナリ、今吾人ハ二十世紀ノ今日ニ在リテ十六世紀ニ於ル  
 斷定ノ當否如何ヲ決スルコト能ハサルナリ、二十世紀ノ公衆ハ花柳病ニ罹ルモノヲ目シテ其犯シタル罪惡  
 ノ爲メニ罰セラレタルモノニアラスト斷言スルコトヲ得ヘキヤ如何

路易第十四世ハ一千六百五十七年ニ於テサルベトレールニ一ノ監獄ヲ建設シテ淫賣婦ヲ收容スル所トセ  
 リ、而シテ此監獄ニハ一小室ヲ病室トシテ花柳病患者ヲ收容スルコト、シ、醫師ヲシテ此病室ヲ司トラシ  
 メタリ、然ルニ患者多クシテ病室甚ハタ狹隘ヲ感スルニ至レルヨリ一年六百九十一年ニ至リテピセトル監  
 獄ノ一部分ヲ花柳病患者收容所ト定メタリ、斯クテ殆ント一百年間ハ重症患者ヲサルベトレールニ收容シ  
 輕症患者ヲピセトルニ收容シテ夫々治療ヲ受ケシメタリ、一千七百八十七年ニ於テピートルノ醫員ニ任命  
 サレタルドクトル、クローリアー氏ハ曾テピセトルノ情況ヲ記述シタルカ、現今ノ衛生家ヨリ此等ノ記述ヲ  
 見タランニハ其衛生状態ノ不完全ナルニ驚カスンハアラス、斯クテ一千七百八十九年ニ至リテ他ノ囚徒カ  
 此等ノケ所ヨリ解放セラレタルヲ以テ患者ヲ收容スルノケ所カ一層廣クナルコトヲ得タリ

佛國ノ革命變亂ニ際シテ一般ノ風俗放蕩淫靡ニ流レ、從ツテ從前ヨリ一層完全ナル病院ヲ設立スル必要起  
 レリ、而シテ一千七百九十二年ニ至リテ共和政府ハセント、ジャキウスノ寺院ヲ以テ病院ニ充ルコト、セ  
 リ、是レ適當ナル改革ニシテ其ケ所モ廣大ニシテ患者ニ供給セラル、餌食ノ如キモ良好ナリシナリ、是レヨ

リ先キ男生患者モ女生患者ト同一ナル病院ニ收容サル、コト、ナリ居タルガ、斯ク男生ト女生ト併セテ  
 同一ノ病院ニ收容スルヨリ一種ノ惡弊生シタルヲ以テ、當今ニテハ男生ノミヲ收容スヘキ特別ノ病院ヲ設  
 立スルコト、ナレリ、一千八百二十八年ニ於テ其筋ノ登記ヲ經タル淫賣婦ハセント、ラザールニ移サレ、  
 登記ヲ經サル淫賣婦ニ至リテハ其他ノ病院ニ移サレ、又タ外來患者治療所モ設ケラレタリ、是レヨリ先キ  
 一千八百二年ニ於テ其筋ヨリ左ノ如キ命令カ發セラレタリ、曰ク苟クモ其筋ノ登記ヲ經タル淫賣婦タラン  
 モノハ皆是レ一定ノ期間々々ニ醫師ノ診察ヲ受ケサルヘカラス、蓋シ此醫師ト云ヘルハ市立治療院ノ醫員  
 ニシテ斯ル診察ヲ爲スヘキコトヲ命セラレタルモノト知ルヘシ、斯クテ其診察ノ結果トシテ疾病アリト認  
 メラレタランニハセント、ラザールニ送致セラレテ治療セラレンコトヲ要ス、セント、ラザールハ尙ホ是  
 レ淫賣婦ノ病院ニ充テラレタルモノナリ、然レトモ近キ頃同所ヲ視察シタルフレツキシナー氏之ヲ評シテ  
 曰ク同所ハ之ヲ一ノ病院ト云ハンヨリ寧ロ中世ノ監獄ト云ハン方適當ナルヘシ

英國ハ公立病院ニ於テ花柳病ノ治療ヲ爲スコトニ就テ前述シタルカ如キ反對說曾テ起ラサリシモノト見エ  
 タリ、クロウユス氏ハ一千五百七十九年ニ於テ其著書中ニ左ノ如キコトヲ記述シ居レリ、曰クセント、パ  
 ーソロミウ、セント、トウマス及倫敦市其他ノケ所ニ於ル病院ハ花柳病患者ヲ以テ充滿サレ居タリ、而シ  
 テ吾人ノ實見シタル所ニテハ此等ノ事實ハ僅カニ近キ頃マテ繼續シ居タリ、又其後一千七百四十六年ニ至  
 リテ專ラ花柳病患者ヲ收容スル爲メ一種特別ノ病院カグロスヴヘノアー、ブレースニ建設セラレタリ、目

今ハロー、ロードニ於ル病院ハ婦人花柳病患者ヲ收容スル目的ニ出テタルモノニシテ百三十六個ノ寢臺備ヘツケアリ、又タ一千八百六十二年ニ建設サレタル同種ノ病院ハ男生患者ヲ收容スルモノニシテ、サホウノデーモン街ニアリ、備付ノ寢臺ハ二十七個ナリシカ、外來患者ハ最モ手廣ク取り扱ハレ居レリ「ランセツト」(醫事雜誌ノ名)ハ一千八百五十三年ニ於テ左ノ如キコトヲ痛論シタリ、曰ク花柳病患者收容ノ目的ヲ以テ到ル所ノ海濱ニ大治療病院ヲ建設スヘク、又タ衛生官タルモノハ公衆衛生上ニ害アルヘシト思惟セラルル家屋ヲ視察シテ之カ改良ヲ計ルヘク、疾病ニ罹レル淫賣婦ヲ病院ニ入ラシムヘキ方法ヲ設ケサルヘカラスト、然レトモ此等ノ意見ハ皆實行セラレサリシナリ、且ツ倫敦ニ於ル中央病院ハ目今花柳病患者ヲ收容セス、又タ此種ノ在來病院ノ諸設備モ甚ハタ不完全ナリシ、但シ此事ニ就テハ後段ニ於テ論述スヘシ

### 醫、療

吾人ハ今マ茲ニ花柳病治療ノ詳細ナルコトニ關スル規定ヲ述ヘント欲スルモノニアラス、從來行ハレタル花柳病治療法ノ甚ハタ不充分ニシテ不確實ナル所アリト認ムルカ故ニ、僅カニ此等ノ事實ヲ述ヘ併セテ今マ吾人ノ眼前ニ横ハレル新ナル希望ニ論及セント欲ス

トレラー氏及其同時代ノ人ハ左ノ如キ事實ヲ證言シ居レリ、曰ク往時微毒ノ治療法トシテ行ハレタル飲食物療法、植物製ノ煎藥其他アラビアン學校ノ創造ニ係ル水銀塗擦法ノ如キモ是レナリ、中ニ就テ水銀塗擦

法ナルモノハ元是レ癩病患者ニ用ヒラレタルモノナリシカ、微毒ニ對シテモ亦タ著シキ效驗アルモノト見做サレタリ

斯クテ此病ノ治療上ニ就テモ輓近ニ至ルマテノ變化アラサリシナリ、彼ノ水銀療法ノ如キモ其當初ニ於テハ何等ノ定法モナク何等ノ期待モナカリシナリ、此療法ヲ行フタルカ爲メニ却ツテ害毒ヲ受ケタル場合居多ナリシナリ、從ツテ此療法ハ世間一般ノ不人氣ナルニ至リタリ、然レトモ今マ吾人カ智識ノ大ニ進歩發達シタル見地ヨリ觀察ヲ下セハ、其不人氣ヲ來セルハ甚ハタ謂レナキコト、云ハサルヘカラス、水銀ハ花柳病ノ治療上決シテ有毒ナルモノニアラス、有效ナルモノト云ツテ更ニ差シ支ヘナカルヘキナリ、抑モ微毒ノ症狀徵候ハ間過的ニシテ元來其發作時ニ限リテ水銀ヲ用ヒラレタルモノナリシカ、花柳病ノ治療上水銀ノ效驗著シキコトヲ學理上確實ニ立證シタルハ、英國ニテハサー、ヨナザン、ハツチンソン氏アリ巴里ニテハフホールニアール氏アリ、吾人ハ此二氏ニ負フ所多大ナラスンハアラス、此兩氏ノ說ニ曰ク微毒ノ尙ホ甚ハタシキニ至ラサルニ際シテ少量ツ、ノ水銀劑ヲ其症候ノ有無ニ係ラス長キ期間ニ亘リテ與フルハ、其治療上必要ナリト云フヘキナリ、一定ノ期間期ニ治療ヲ施コシテ二ケ年ニ亘ランコトヲ要ス、而シテ其治療ニ着手シテ後三ヶ月ヲ經テ何タル症候モ之レナシトセンカ、治療セルモノト思惟セラルヘキモ尙ホ進ンテ皮下注射ヲ爲サンコトヲ望マシケレ

然レトモ花柳病ノ治療上患者ヲ失望セシムヘキモノ二者アリ須ラク警戒セスンハアルヘカラス、其一ハ何

タル症候ナキニ長キ治療ヲ受ケテ厭忌ヲ生スルコト、他ノ一ハ治療スル模様之レナキヨリ怠慢スルコト是レナリ、兎ニ角此種ノ患者ハ氣永ニ辛防シテ治療ヲ受ケンコト最モ肝要ナリト知ルヘシ、最近ニ至リテ花柳病ノ大ニ蔓延スルハ畢竟スルニ久シキニ亘リテ治療ヲ受クルコトヲ怠リタルモノ多キニ歸セスンハアラス

當今ノ治療法、一千九百五年以後花柳病ノ治療法大ニ進歩發達セリ、即チ治療法ノ根底ヲ眞成ノ科學上ニ置ケルカ故ニ、將來有望ニシ鼓舞獎勵スヘキモノナリ、蓋シ斯ク治療法ノ發展シタルハ要スルニ三大要素ニ基ツカسنハアラス、曰ク一千九百五年ニ於テスヘージン氏及ホッフマン氏カ花柳病ノ病原「スピロヘーダ、バリーリダ」ヲ發見シタル事『ワツセルマン氏反應』ト名ケラレタ花柳病試驗成績カ一千九百六年ニ發表サレタル事、一千九百九年ニエーリツヒ氏ノ『六百六號』ノ治療法ノ出現サレタルコト是レナリ

花柳病ノ治療上最モ深キ注意ヲ要スヘキ重要事件アリ、他ニアラス、苟クモ花柳病ニ罹リタランモノハ毫モ猶豫スルコトナク直チニ醫師ノ診察ヲ受クヘク、醫師モ亦タ速カニ之ニ應シテ精密ニ診察スヘキコト是レナリ、花柳病ナルモノノ末期ニ至リテハワツセルマンノ血清試驗モ概ネ其反應アルヘシト雖モ、其初期ニ至リテハ顯微鏡ニアラサレハ「スピロヘーダ」ノ存在ヲ認メ難キ場合アリ、故ニ外形上何等ノ症候ヲ認メサル場合ト雖モ最モ注意ヲ密ニシテ診察セサルヘカラス、又タ花柳病ニ罹リタル者其初期ニアリテハ不面目ナリト思惟スルヨリ之ヲ隱蔽シテ醫師ノ許ニ來ラス、何等カノ方法ニテ自分療治ヲ爲サント欲スルモ

ノ少ナカラス、末期ニ至リテ醫師ノ診察ヲ乞ハサルヘカラサル場合ニハ最早重症ニ陥キリテ治療上困難ナラサルヲ得ス、是レ花柳病治療上ノ障害ト謂ツヘキナリ、其他花柳病ノ治療上甚ハタシキ障害トナルヘキモノアリ、一千五百七十九年ニ於テクローウエス氏ハ倫敦ニ女醫者三人アリ共ニ有名ナルモノナレトモ醫術ニ練熟セルモノニアラス、花柳病ノ治療上妨害トナルコト少ナカラス實ニ歎カハシキ次第ナラスヤト云ヘリ、又タ此事ニ就テ皇立花柳病調査委員會ハ左ノ如ク云ヘリ、曰ク不適當ナル醫師ノ花柳病ヲ治療スルハ實ニ社會ノ不幸ト謂ツヘキモノニシテ、花柳病根絶ノ一大障害ニ外ナラサルナリト、丁抹及伊太利ニテハ苟クモ花柳病ニ罹リタルモノハ何人ヲ問ハス皆無料ニテ治療ヲ受ケ得ヘキカ故ニ、之ヲ治療スル醫者ノ如キハ更ニ發達セサリシナリ、英國ニ於テモ亦タ是レ花柳病治療ノ制度設ケラレンコトコソ望マシケレ

花柳病ナルモノハ治愈シ得ヘキ病症ナリ、苟クモ此病ニ侵サレタランモノハ出來得ヘキ丈ケ速カニ治療ヲ受ケンコトコソ好マシケレ、其治療ニ取り掛ルコト速カナレハ速カナル程其快方治療ノ時期モ益々速カナルヘキナリ、吾人ハ是レ決シテ過言ニアラサルヘキヲ信ス

花柳病ヲ發生スル原因ハ「スピロヘーダ」ニアリ、故ニ花柳病ヲ治療スルノ最良法ハ「スピロヘー」ヲ滅殺スルニアリ、之ヲ要スルニ苟クモ花柳病ニ罹リタランニハ出來得ヘキ丈ケ速カニ治療ニ取り掛ラサルヘカラス、其感染ノ初期ニ於テ其病毒僅カニ一局部ニ止マレル時之ヲ治療シタランニハ、其病原タル「スピロヘ

「タ」ヲ滅殺スルコト難カラサルナリ、「六百六號」(「サルヅハルサン」)及之ト類似ノ藥劑ハ花柳病ノ適藥ニシテ能ク其ノ病原ヲ滅殺スル效力アリテ、患者ノ身體ノ健康組織ヲ害スルモノニアラス、今マ初期ニ際シテ適當ナル治療ヲ加ヘス、彼ノ「スピロヘータ」カ既ニ血液中ニ循環スルトスルモ、尙ホ未タ到ル所ニ病竈ヲ作成セザランカ、彼ノ「六百六號」ニ依リテ其病原ヲ滅殺スルコトヲ得ヘキナリ

花柳病ノ病原既ニ發生スルノ期間アリテ身體到ル所ニ病竈ヲ作成シタリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ十分耐忍シテ久シキ期間ニ亘リテ治療ヲ受ケサルヘカラス、斯ク爲シタランニハ終ニ其病原ヲ滅殺スルコトヲ得ヘキナリ、蓋シ此治療法トシテ「サルヅハルサン」ト水銀トヲ混和シテ用ヒタランニハ最良ノ好結果アルヘキナリ

遺傳的徵毒 嬰兒ノ遺傳的徵毒ノ治療法モ亦是レ著シク效驗アリ、且ツ生前胎内ニ於ル治療法モ亦然リ、痲疾治療法 痲疾ニ罹リタル患者モ亦是レ花柳病ト均シク最モ早く治療セサルヘカラス、其病毒局所ニ止マリ居ルニ際シテ最モ早く之カ治療ニ取り掛リタランニハ、其病原菌ヲ滅殺スルコトヲ得ヘキナリ、此患者ニシテ其治療ヲ長ク怠ラハ怠ル程其痛苦ノ度合益々大ニ其治療ノ困難益々加ラサルヲ得ス

#### 豫防法

花柳病ヲ退治シ若クハ之ヲ輕減セシメンニハ果シテ如何ノ方法ヲ取ルヘキカ、淫賣ノ行ハル、コトヲ防遏シ若クハ減少セシムヘキ方法手段ハ皆是レ花柳病豫防法ト謂ツヘキナリ、フレツキスナー氏ハ西部歐羅

巴ニ於ル花柳病取締規則ヲ最モ能ク注意シテ研空調査シタル人ナルカ、其研究調査ノ結果トシテ左ノ如キ論定ヲ下シタリ、曰ク花柳病取締規則ナルモノハ實際ニ於テアレトモナキカ如ク決シテ行ハレ居ラサリシナリ、今マ一例ヲ舉ケテ之ヲ云ハンニ其筋ノ登記ヲ經タル淫賣婦タランモノハ、規則上一定ノ期間々々ニ検査ヲ受ルコト、ナリ居レルカ、實際規定ノ検査ヲ受ルモノハ淫賣婦全數ノ内極メテ一小部分ニ過キサリナリ、其大多數ハ其疾病ニ罹レルコトヲ得テ避クヘキモノナリ、例之ヘハ好シ花柳病ニ感染シ居ルモ之ヲ隱蔽スヘキ一時的姑息策ヲ取りテ、検査ニ際シテ表面健康體ヲ粧フカ如キコト是レナリ、斯ル検査ヲ通過シタルカラトテ果シテ何ノ效力カアル何ノ保證カアル、斯ル検査ハ其監督ヲ無視シ無善ニ導ヒクモノト謂フヘキナリ、但シ此等ノ検査ノ行ハル、ハ女子ノミニシテ男子ニハ更ニ關係ナキモノト知ルヘシ、花柳病ニ罹レル男子ハ妄リニ其病毒ヲ傳播シテ憚カラサルニモ拘ラス、憫レムヘキ小數ノ女子ヲ少時間タリトモ検査ノ爲メ一ヶ所ニ留メ置キテ果シテ何ノ效力カアル、社會ハ其取扱上斯ク男女ノ間ニ區別アレトモ、自然界ハ男女平等無差別ニ痛苦ヲ傳播セシムハアラス

英國ニ於テハ淫賣婦取締ニ關スル條例規則ハ僅カニアルノミ、但シ一千八百六十四年一千八百六十六年及一千八百六十九年ノ三回ニ發布セラレタル傳染病取締條例ハ僅カニ淫賣婦取締上ニ關スル所ナクンハアラス、即チ海軍本部及陸軍本部ノ所在地ニ於ル淫賣婦ノ監督及醫事的検査ニ係ルモノ是レナリ、然レトモ之カ爲メニ何タル效果モ舉ラス從ツテ輿論ノ反對甚ハタシク、婦人ニ關スル強制的検査ハ一千八百八十三年

年ニ廢止セラレ、右ノ條例モ一千八百八十六年ニ至リテハ全ク廢止セラレタリ、然レハ此等ノ條例廢止後直チニ海陸軍本部ニ於テ花柳病血清注射ノ改良法ヲ施行スルコトナレリ

斯クテ歐洲中花柳病取締ニ關シテ初メテ舊慣ヲ脱却シテ新生面ヲ開キタルハスカンジナヴィア國是レナリ同國ノ新計畫ハ效力アルヘキモノニシテ偏頗不公平ノ譏之レナキモノナリ、此國ノ花柳病取締規則ナルモノハ男女ヲ通シテ適用セラルルモノナリ、是レ從前ニ比シテ大ニ進ミタルモノト謂フヘキナリ、而シテ花柳病取締規則ノ實行權從來ハ警察部ニアリシカ、今ヤ之ヲ衛生局ノ手ニ移シタリ、又タ花柳病患者ハ皆悉ク無料ニテ治療ヲ受ケシムルコトトセリ、但シ此等ノ患者ハ其感染シタル原因等ノ質問ニ應ジテ明カニ答ヘサルヘカラス、斯クテ此等ノ患者ハ適當ニ隔離セラレテ治療セラルヘキモノトス、既ニ斯ル方法ヲ取リタル上ハ警察部ト全ク混淆スルコトナク、從ツテ此病ヲ以テ犯罪ノ直接的結果ト見做サルコトナク、適當ナル場所ニ於テ疾病トシテ治療セラルルコトナレリ、又タ此病ニ罹リタルモノニテ他ノ疾病ト均シク自費的治療モ許サルコト、ナリ居レリ、抑モ花柳病ヲ無料ニテ治療スルコトトナシタルハ、其目的トスル所該病感染ノ初期ニ於テ早ク之カ治療ヲ受ケシメ、且ツ數醫者ノ競争ナカラシメント欲スルニアリ

諸威國ハ一千八百六十年ニ於テ花柳病取締法ヲ發布シタリ、今マ其重モナル條項ヲ舉レハ左ノ如シ

第一條 凡ソ醫師タランモノハ何人ヲ問ハス花柳病患者ヲ治療シタラン場合ニハ、日々其患者數ヲ衛生局ヘ報告センコトヲ要ス、但シ其患者ヲ病院ニ送致スルカ、若クハ其病毒ヲ他ニ蔓延セシムルノ恐レアリ

ト思惟スルニアラスンハ、其患者ノ氏名ヲ報告スルヲ要セス

第二條 醫師ハ花柳病傳播ニ關スル法律ノ謄本ヲ其患者ニ與ヘンコトヲ要ス、患者タルモノ自カラ知リツツ其病毒ヲ他ニ感染セシメタランニハ、重キ罰金ニ處セラルルモノトス

第三條 患者タルモノ右警告ニ關スル書類ヲ受領シタランニハ其受領用紙ニ調印センコトヲ要ス

第四條 醫師ハ勉メテ花柳病感染ノ原因ヲ確カムヘク、而シ感染セシメタル者ノ分リタランニハ、其氏名ヲ衛生局ニ報告センコトヲ要ス

第五條 花柳病ニ感染シタルモノアリトノ告訴アリタランニハ、該患者ヲ衛生局ニ呼ヒ出シテ之ヲ検査スヘク、而シテ其受檢者カ婦人ナランニハ女醫ヲシテ検査セシメンコトヲ要ス、斯クテ感染セルコト確實ナランニハ該患者ヲシテ治療ヲ受ケシメサルヘカラス、若シ斯ル患者ニシテ治療ヲ受ルコトヲ怠ルカ或ハ之ヲ嫌忌スルノ場合ニ於テハ警察力ニ依リテ強制的ニ治療ヲ受ケシメサルヘカラス、但シ此強制的處分ニ出ルハ斯ル場合ニ限ルヘキモノトス、

丁抹國ノ花柳病取締法モ亦タ是レ右ニ揭ケタル取締法ト同一ナル所多キニ居レリ、然レトモ警察力ノ關涉スルコト前者ヨリ一層多キナリ、又タコペンハーゲンニ於テハ花柳病ニ關シテ左ノ如キ方法ヲ取レリ、曰ク市ハ花柳病無料治療ノ目的ヲ以テ該患者ノ診察ヲ爲スヘキ旨各廣告所ニ廣告スルコト是レナリ

花柳病無料治療ノ制度ヲ實行センカ爲メニハ先ツ第一ニ其治療ヲ爲スヘキケ所ヲ十分善ク廣告シ其他諸種

ノ便利ヲ計ラサルヘカラス、化學者、植物學士、庸醫等ニシテ『花柳病専門家』ト自稱シテ不適當ナル治療ヲ爲スノ惡弊ヲ根絶センニハ僅カニ此一制度アルノミ、又タ花柳病治療ニ關スル廣告ハ一切之ヲ禁止セサルヘカラス、又タ下等勞働者ノ爲メニ夜間診療所ヲ設立セサルヘカラス、是レ勞働者ハ晝間勞働ニ從事シテ診察ヲ受クルノ餘暇ナケレハナリ、英國ニテハ前段ニモ述ヘタルカ如ク花柳病ニ關スル病院ハ全ク不充分ナリト云ハサルヘカラス、地方政務局ノ或ル視察官ハ曾テ左ノ如キ報告ヲナセシコトアリ、曰ク予ハ都合三十ヶ所ノ病院ヲ視察シタルカ内一ヶ所トシテ傳染性花柳病患者ヲ收容スル設備アルヲ見サリシナリ此等ノ病院ハ有志者ノ寄附金ヨリ成レルモノニシテ花柳病患者ヲ收容シテ治療トナシタランニハ其收入ヲ減小スルノ恐レアルヨリ其規則トシテ斯ル患者ヲ收容セサリシナリ、但シ斯ル患者ヲ外來患者トシテ取扱フコトトナリ居レトモ、是レトモ其設備甚ハタ不充分ナルモノナリ、貧民救助法ニ基ケル病院ノ準備ハ一層能ク行キ届キ居レルモ、花柳病ニ關スルモノニ至リテハ冷遇甚ハタシト謂ツヘキナリ、彼ノ「ロツク」病院ノ如キハ花柳病ニ關スル特種病院ニシテ多數ノ外來患者ヲ取り扱フト雖モ、入院患者トシテ之ヲ取り扱フトハ甚ハタ不行届ナリト云フヘキナリ、其他倫敦病院ニテハ花柳病患者中女子ニ就テハ百三十六個ノ寢臺アリ男子ニ就テハ二十七個ノ寢臺アリ、尙ホ其他ノヶ所ニ七十個ノ寢臺アリテ我聯合王國內ニ恐クハ都合二百五十個ノ寢臺アルヘキナリ、ブラスヘコウ氏ヨリ皇立花柳病調査委員會ヘ通信シタル文中左ノ如キ事實カ記載セラレタリ、曰ク日耳曼國ノ市邑ノ數五十六ヶ所ノ總人口一千五百萬人アリテ、花柳病患

者ニ充テタル寢臺數九千三百二十個アリ、尙ホ此等ノ患者治療ヲ擔任スル専門醫八百三十四人アリ、其他伯林府ノミニテモ同種類ノ寢臺二千個ノ多キニ及ヘリ、然ルニ我聯合王國全般ニテ僅カニ二百五十臺ニ過キストハ嗚呼亦歎スヘキ次第ナラスヤ

シドネー、ピートレース、ウエツプスノ兩氏ハ『貧困豫防策』ノ著者ナルカ、其書中ニ痛ク英國ノ衛生狀態ノ不完全ナルコトヲ非難攻撃セリ、今マ其一節ヲ舉レハ左ノ如シ、曰ク「男子若クハ女子ニシテ痲病ニ罹ルカ或ハ微毒ニ罹リタル場合有志者ヨリ成リ立テル私立病院ニ入ルコトヲ許サレス、彼レ此レ迷ヒ居ル内都合善クハ救貧院ヘ送致セラルルコトトナレリ、而シテ斯ル場合ニ際シテ地方衛生局ニモ何等ノ設備モ之レナキヨリ公衆衛生上ニ危害ヲ與フルコト容易ナラサルナリ

次ニ最も重要ナルコトハ正確ナル診察ヲ爲シテ有效ナル治療ヲ施コスコト是レナリ、一般ノ開業醫ハ花柳病ニ對スル新治療ヲ知ラサルナリ、病院附屬ノ醫學校ニ於テ花柳病治療法等ヲ習得シタリト雖モ是レ亦タ非常ニ不十分ナルモノト云ハサルヘカラス、花柳病ニ關スル十分ナル智識ヲ得ント欲スルモノハ「ロツク」病院ノ實地ニ就テ研究セサルヘカラス

「ワツセルマン」ノ反應ニ依リテ花柳病ノ診察ヲ爲サンニハ試驗室ニ於テ之ヲ行フヘク、而シテ其診察法ハ普通一般ノ方法ト異ナル所ナクンハアラス、「サルヴハルサン」ノ治療法ハ最も此治術ニ練熟セル醫師ニ依リテ之ヲ行フテ可ナリ、然ラスンハ危險之ニ伴ハスンハアラス



皇立花柳病調査委員會ハ右ニ掲ケタル諸々ノ事項ハ花柳病取締上最重要ナルコトト思惟セリ、而シテ該委員會ハ其筋ニ向ツテ左記ノ如キ意見ヲ提出シテ實行サレンコトヲ勸誘セリ、曰ク先ツ地方廳ニテ普通病院ヲ建設シ無料ニテ花柳病患者ヲ治療スヘキ方法ヲ設ケンコトヲ要ス、而シテ之ニ要スル所ノ費用ノ七五%ハ國庫ヨリ保護センコトヲ要ス、蓋シ此保護金率ハ地方税ノ出所ヲ斟酌シテ割り出シタルモノト知ルヘシ、然レトモ花柳病専門病院ヲ建設セントスルノ主意ニアラス、從來ノ試験所ヲ以テ花柳病診察ノケ所ニ充ツヘキ必要ナラン場合ニハ之ヲ新築スルモ可ナリ、又右ノ如キ普通病院ニハ花柳病ニ關シテ經驗アル醫學士及開業醫カ掛員トナリテ適當ノ業務ニ従事センコト勿論ナリト知ルヘシト而シテ此等ノ進言ハ英國政府ノ容ルル所トナリテ國庫ヨリ全費用ノ七五%ヲ保護金トシテ支出スルコトトナリ夫々ノ力準備ニ取リ掛リ居レリ皇立花柳病調査委員會ノ献策ノ大半ハ之ヲ實行スルニ先キ立テテ之カ取締上ニ關スル法律ヲ制定セシメント欲スルニアリ、今マ其取締法ノ一二ヲ舉ケンニ死亡原因ノ登記ヲ最モ正確ニシテ信用セシムヘキ方針ヲ取ル事、醫師ヨリ提出シタル信用スヘキ報告中ニ苟クモ花柳病ニ罹リタルモノアランカ、此等ノ患者ハ法律ヲ以テ結婚スルコトヲ禁止スルカ如キモノ是レナリ、然レトモ斯ル法案ハ可否ノ議論區々ニシテ容易ニ決スヘキニアラス、且ツ今回ノ大戦亂平定スルニアラスンハ議案トシテ國會ヘ提出スルコトヲ得ス、然レトモ右委員會ノ献策中花柳病ノ診察治療ニ就テ便法ヲ設クル事、及地方廳カ此等ノ事柄ニ就テ費シタル費用ノ七五%ヲ國庫ヨリ補助スヘキ事等ハ皆是レ緊急問題ニシテ關係局限リノ處分トナシ得ヘキカ故ニ、政府

ニ於テモ直チニ之ヲ採用スルコトトセリ、斯クテ大藏省ハ彼ノ費用ノ七五%ヲ支出スヘキコトヲ約束シ、而シテ一千九百十六年七月十三日ヲ以テ地方政務局ヨリ一ノ命令ヲ發シタリ、其命令ニ曰ク皇立花柳病調査委員會ノ献策ニ係ル花柳病ノ診察治療ニ關スル條項ハ之ヲ實施スルモノナリ、本命令ハ發布ノ當日ヨリ實施セラルヘキモノニシテ、其實施ノ手續ハ一千八百七十五年及一千九百十三年ニ發布セラレタル公衆衛生條例ニ從フヘキモノトス、而シテ各地方議會及各郡議會ハ本命令ノ規定スル所ニ從ツテ左記ノ如キ處置ヲ取ランコトヲ要ス

- (一) 地方議會タランモノハ其管轄内ニ於ル開業醫ヲシテ、花柳病ノ疑ヒアル患者ヲ診察シタル場合ニハ其結果等ヲ報告セシムヘキ方法ヲ設ケンコトヲ要ス、但シ其方法ハ地方政務局ノ承認ヲ受クヘキモノニシテ、之ニ要スル費用ハ地方議會ノ負擔タルヘキモノトス
- (二) 地方議會ハ左記ノ如キ計畫ヲ起テテ之ヲ地方政務局ヘ通告センコトヲ要ス
- (イ) 病院其他ノ團體等ニ於テ適當ニ花柳病患者ヲ治療スヘキ計畫
- (ロ) 花柳病ノ治療及豫防ニ關シテ必要ナル「サルヴハルサン」若クハ其代用品ヲ開業醫ニ供給スヘキ計畫

此ニ於テカ地方議會ハ右ノ命令ヲ實行スルニ就テ必要ナル方法手續ヲ案出センカ爲メニ協議ヲ凝スコトトナレリ

地方政務局ノ意見ハ花柳病診察所ニ充テシカ爲メニ之ヲ新築セント欲スルニアラス、在來ノ建物ヲ利用シテ此診察所ヲラシメント欲スルモノナリ、尙ホ之ヲ細言センニ普通病院ヲシテ花柳病診察所ヲラシムヘク、而シテ斯ク爲サンニハ地方議會ト病院ノ管理者トノ間ニ交渉妥協セシメントヲ要ス、但シ斯ク交渉妥協セントスル場合ニハ地方議會ヨリ左記ノ條件ハ先ツ第一ニ明ラカニナシ置カンコトヲ要ス、『來リテ治療ヲ受ケント欲スル者ハ其住所ノ如何ヲ問ハス其資産ノ有無ヲ論セス、何人ト雖モ治療セラルヘキモノナラシコトヲ要ス』、又タ双方ノ間ニ豫シメ左記ノ事柄ヲモ協議ヲ遂ケ置カンコト最モ肝要ナリ、『凡ソ診察治療ヲ爲サンニハ特ニ花柳病患者ト限ルヘキモノニアラス、花柳病患者ト他ノ患者トノ間ニ何タル區別ヲモ立ツヘカラス』

斯クテ一種ノ地方委員會ナルモノヲ組織センコトヲ要ス、蓋シ此委員會設立ノ目的トスル所ハ右花柳病ノ治療ニ關スル報告等ヲ廣ク散布シ、且ツ此等ノ事件ニ就テ地方議會ニ助言忠告等ヲ與ヘント欲スルニアリ、而シテ此委員會ナルモノハ各方面ノ人々ヨリ組織セラルルモノトス、所謂ル各方面トハ左記ノ如キモノ是レナリ、曰ク此地方ニ於ル全般ノ醫師中ヨリ選舉セラレタル代表者、警官、貧民救助掛官、産婆、試験官、各宗派ノ僧侶及僧官、花柳病治療ヲ專ラトスル有志團體等ノ如キ是レナリ、其他適當ノ技倆アル婦人ノ多數ト地方醫師會ノ代表者等モ加入セラルルモノト知ルヘシ

地方政務局ハ又タ花柳病ノ撲滅退治ノ方法トシテ左記ノ如キ計畫ノ實行セラレンコトヲ望メルナリ、曰ク

地方廳ト普通開業醫ト互ニ協同一致シテ適當ノ方法ノ下ニ之カ撲滅退治ニ從事スルコト是レナリ、其他地方議會ノ衛生警官ハ花柳病ノ撲滅退治ニ關スル最良法ハ果シテ如何スヘキヤノ問題ニ就テ、隨時地方醫師委員會ニ謀議センコトヲ要ス

又タ地方政務局ハ實地花柳病治療ニ就テ地方々々ノ普通開業醫ト共同一致シテ事ニ從ハサルヘカラス、抑モ地方政務局ハ花柳病患者ニ關シテ左記ノ如キ調査ヲ遂ケンコトヲ要ス、曰ク患者ニ就テ相當ノ醫師ノ診察ヲ受ケ居ルヤ如何、又タ醫師ノ診察治療ヲ受ケタルコトヲ欲スルヤ如何等ヲ問ヒ糺スカ如キコト是レナリ而シテ若シ斯ル患者ニシテ曾テ醫師ノ診察ヲ受ケタルコトナキ事實力分リタラン場合ニハ、相當ノ醫師ヲ選定シテ治療ヲ受ケサルヘカラサルコトヲ懇ロニ忠告センコトヲ要ス、其他花柳病治療ヲ爲スヘキ醫師ニハ無代價ニテ「サルヅハルサン」若クハ之ニ代ルヘキ藥品ヲ供給センコトヲ要ス、但シ此等ノ藥品供給等ノ事務ハ其筋ノ認可ヲ經タル病院等ノ警官ノ取り扱フヘキモノトス

右ノ如キ地方政務局ノ命令ヲ一纏ニシタル書類ハ、郡議會、病院ノ事務局及貧民救助局等へ夫々配布センコトヲ要ス、又タ地方政務局ノ警官タルモノハ其取り扱フタル事務ノ要領ヲ記載スヘキ手控帳ヲ携フヘキモノトス

地方政務局及回文ノ如キモノハ概シテ醫師會ノ協賛ヲ經ンコトヲ要ス、然レトモ時ニ或ハ例外ナクンハアラス、地方政務局ヨリ地方廳へ對シテ示教シタル事件ニシテ實行セラレサル時醫師會ニ謀ラスシテ之ヲ斷

行セシメントスル場合ノ如キ是レナリ、又タ地方政務局カ地方ノ醫會ト共同一致シテ行動スルノ必要ナルコトハ今更云フヲ要セス、然レトモ地方政務局カ或ル計畫ヲ立テテ後地方醫會ノ意見ヲ徵スルニ過キサルノミ其他地方醫會ヨリ代表者ヲ選抜シテ一ノ委員會ニ參加セシメントスルニモ、地方政務局カ一ノ計畫ヲ立タル後ニ限ルヘキモノトス、蓋シ斯ル代表者ハ其計畫ノ細目ヲ調成スル適當ナル伎倆アレハナリ、衛生醫官ナルモノハ如何ニ適任ナル材力ヲ有スルトモ、實際花柳病ノ治療ニ至リテハ地方醫會ノ代表者ニ及ハサルナリ、且ツ花柳病患者治療ニ關スル計畫ノ詳細ナルコトニ至リテモ亦タ然ラスンハアラス、即チ此等ノ事柄ハ普通開業醫ノ皆能ク知ル所ナリ

八月十五日ニ當リテ英國醫師協會ノ選出ニ係ル一ノ代表者地方政務局々々長ニ面會シテ其醫師協會ノ意見ヲ開陳シタリシカ、其結果トシテ地方政務局ハ各地方廳ヘ夫々布令ヲ發シタリ、其布令ノ要旨ニ曰ク地方廳ハ一ノ委員會ヲ組織シテ或ル計畫ノ準備ヲ爲サンコトヲ要ス、此委員會ナルモノハ地方醫師會ヨリ二名宛ノ代表者ヲ選出シテ參加セシムヘク、而シテ此等ノ代表者タランモノハ如何ナル委員會ニモ皆出席シ得ヘキモノトス、而シテ又タ更ニ小委員會ヲ組織センコトヲ要ス、蓋シ此小委員會ハ或ル格段ナル地方ニ於ル特別ノ事實ニ關シテ本委員會ヲ補助スヘキモノトス、又タ本委員會ニハ二種ノ代表者アルヘキモノトス、其一ハ病院ノ醫師團體ヲ代表スヘク他ノ一ハ普通ノ開業醫ヲ代表スヘキモノトス、右ノ如キ計畫ヲ夫々具體的ニ組織セント欲シテ地方廳ハ日今工風ヲ回ラシ居レリ

皇立花柳病調査委員會ヨリ發シタル報告書ノ結果トシテ、雜貨商組合ヨリ花柳病治療所敷地ヲ倫敦病院ヘ寄附シタリ

西部壕洲ニテハ花柳病取締ニ關スル一ノ條例ヲ發布シタリ、其條例ノ大要ヲ舉レハ左ノ如シ、曰ク凡ソ花柳病ニ罹リタル者ハ無料ニテ診察治療ヲ受クヘキ成規ノ外ニ、若シ必要ナル場合アランニハ強制的ニ之ヲ實行センコトヲ要ス、醫師タランモノハ自カラ關係シタル花柳病患者（姓名及住所ヲ要セス）悉ク皆其筋ヘ届ケ出ツヘク、而シテ一旦治療シタル患者ハ尙ホ引キ續キテ治療セサルヘカラス、苟クモ花柳病ニ罹リ居レリト疑フヘキ理由アルモノハ、之ヲ捕縛シテ検査スル爲メニ留置スルコトヲ得ヘシ、但シ開業醫ニアラサル以上ハ斯ル取扱ヲ爲スコトヲ得ス、又タ敷醫者、無能ノ醫師若クハ資格ナキ女醫杯ノ花柳病治療ニ關スル廣告ハ一切嚴禁スヘク、犯シタランモノニハ重キ刑ニ處セラルヘキモノトス

八月三十日メルボルンヨリノ電話ニ曰ク「ヴェキトリア」政府ハ右ニ掲ケタルモノト同様ナル嚴重ナル取締法ヲ設クルコトニ決シタリ、（一千九百十六年八月三十一日發兌ノ「タイムズ」新聞ヲ参照セヨ）

## 第七編

男女關係ニ就テノ教訓

前編ニ於テハ皇立花柳病調査委員會ノ報告書中少年ノ教養ニ關スル事及公衆衛生上ニ關スル事ヲ叙述シタルカ、今マ此編ニテハ此國ノ少年ニ對シテ男女間ノ關係ニ關スル道德上ノ行動ニ就テ訓誡スル所アラントス

此問題ニ就テハ既ニカヲ竭シテ研究サレ且ツ國家問題トシテ研究中ナルカ、尙ホ是レ此問題ノ試驗時代ニシテ之ニ就テ激烈ナル反對論起ラスンハアラス、而シテ其反對論中ニハ加登律幾教派モ加ハリ居ラスンハアラス、抑モ此問題ハ大別シテ二種トナスヘク、而シテ二種共ニ彼ノ淫賣婦問題ニ關聯スルモノト知ルヘシ

- 一、生物學上ニ關スル事實及淫賣婦ニ關スル正邪ノ理ヲ幼年者ニ訓誡スル事
- 二、不道德ニ隨伴スル身體ノ危害ヲ成年者ニ訓誡スル事

中ニ就テ前者ノ方カ反對論ノ重モナル焦點トナルモノナリ、人其幼少ノ時ニ際シテ其教育上ニ注意スルコト少ナク全ク放任シテ打テ棄テ置キタリトセンカ、其男性タルト女性タルトヲ問ハス成長ノ後克己自制ノ精神自ツカラ乏シカラサルヲ得ス、幼年ノ頃ヨリ教養監督ノ行キ届カサルヨリ知ラス識ラス惡習慣ニ馴致シテ其身體ヲ害スヘキナリ、淫賣ノ熾シニ行ハル、ハ蓋シ此邊ニアランノミ

一、幼年者ノ教育 歐洲各國及米國ニ於テ過去多年間人ノ親タルモノ及教師タルモノカ、此問題ニ關シテ最モ熱心ニ注意ヲ拂ヒタリシハ、甚ハタ有望ナル顯象ト謂ツヘキナリ、然レトモ父兄師友カ此方針ニ向ツテ研究盡力シタルニモ拘ラス、文學上ノ產物ハ左マテ満足スヘキモノアラサリシナリ、今マ吾人ハ

此問題ノ全ク解決セラル、マテニハ人生ノ一代ヲ經過セスンハアルヘカラスト信スルモノナリ、吾人ハ尙ホ時期ノ到來スルヲ待タサルヘカラス、所謂ル其時期トハ何ソヤ、曰ク幼少ノ時ニ際シテ試驗的教育ヲ受ケテ成長シタル成年者カ其一代ニ於テ如何ナル行動ヲ取リタルカヲ目撃スルノ時期是レナリ、然ルニ斯ル者ノ行動甚ハタ宜シキヲ得サルナリ、此ニ於テカ教育上ニ關スル書籍及假綴ノ小冊子數ハ概シテ效果ナシト云フモ決シテ過言ニアラサルナリ、蓋シ書籍類ノ斯克效果ナカリシハ實際ニ行ヒ得ヘカラサル事柄多キニ基ツカスンハアラス之ヲ要スルニ本來ノ目的トスル所如何ト云フニ人ヲシテ純正ノ行動ヲ取ラシメント欲スルコト是レナリ、純正ノ行動ヲ取ラシムヘキ手段ハ宗教上ノ觀念ヲ養成セシムルノ一法アルノミ、中ニ就テ最モ重要ナルコトハ基督教ノ主義ニ基ツケル克己心ヲ助長セシムルコト是レナリ基督教の信仰ヲ離レテ其他ニ克己心ヲ助長セシムヘキ手段曾テ之レナキナリ、今マ花柳病ヲ最モ危険ナルモノトシテ恐怖ノ念ヲ抱キタリトセンカ、恐ラクハ是レヨリ警誡ノ念ヲ生スヘキナリ、茲ニ科學大ニ發達シタリトセンカ從ツテ花柳病其跡ヲ絶ツニ至ルヘキナリ、然レトモ花柳病終熄シタレハトテ從ツテ道德上ノ觀念萌芽スヘキモノニアラサルナリ

## 附錄

刑○法○改○正○條○例 (一千八百八十五年ノ發布ニ係ル)

婦人及少女ノ保護、淫賣屋ノ取締及其他ノ目的ニ關スル取締規則ヲ設クヘキ條例

第六十九編「ヅキクトリア」第四十八號及第十九號（一千八百八十五年八月十四日ノ發布ニ係ル）

女帝陛下ハ目今開會中ナル國會貴衆兩院ノ助言ト協贊トヲ得タルヲ以テ左ノ如キ法令ヲ制定セラル

第一條 本條例ハ名ケテ一千八百八十五年制定ノ刑法改正條例ト云フ

第一篇

婦人及少女ノ保護

第二條 何人ニ限ラス

(一)、茲ニ或ル少女若クハ婦人アリ其年齡二十一歳未滿ニシテ普通ノ淫賣婦ニアラス、又タ世間ニ知ラレタル不品行ノモノニアラス、然ルニ女帝陛下ノ所領内ト所領外トヲ問ハス、斯ル少女若クハ婦人ヲシテ他ノ男子ト不法ノ肉交（不法トハ結婚式ニ依ラサルノ意）ヲ保タシメ若クハ保タシメント目論見タランニハ

(二)、女帝陛下ノ所領内ト所領外トヲ問ハス、或ル婦人若クハ少女ヲ誘フテ通常ノ淫賣婦タラシメ若クハタラシメント目論見タランニハ

(三)、淫賣屋ノ淫賣婦タラシムヘキ目的ヲ以テ或ル婦人若クハ少女ヲ誘フテ我聯合王國ヲ立チ去ラシメ若クハ立チ去ラシメント目論見タランニハ

(四)、女帝陛下ノ所領内ト所領外トヲ問ハス、淫賣屋ノ淫賣婦タラシムヘキ目的ヲ以テ、我聯合王國內

ニ於ル或ル婦人若クハ少女ヲ誘フテ其通常ノ住居ヲ立チ去ラシメ若クハ立チ去ラシメント目論見タランニハ

是レ皆犯罪行爲ニシテ其證憑充分ナランニハ裁判官ノ意見ニ從ツテ二ケ年以内ノ禁錮ニ處セラルヘキモノトス、但シ場合ニ依リテ苦役ニ服サシムルト服サシメサルトノ區別アルヘシ  
但シ證人カ告訴ニ關スル證憑ニ就テ充分ナル事實ヲ提擧スルニアラサル以上ハ犯罪ハ成リ立タサルモノトス

第三條 何人ニ限ラス

(一)、女帝陛下ノ所領内ト所領外トヲ問ハス、脅喝手段ヲ以テ或ル婦人若クハ少女ヲシテ不法ナル肉交ヲ爲サシメ、若クハ爲サシメント目論見タランニハ

(二)、女帝陛下ノ所領内ト所領外トヲ問ハス、詐僞騙惑ノ術ヲ用ヒテ普通ノ淫賣婦ニアラス又タ世間ニ知ラレタル不品行者ニアラサル或ル婦人若クハ少女ヲシテ不法ナル肉交ヲ爲サシメ、若クハ爲サシメント目論見タランニハ

(三)、或ル婦人若クハ少女ヲシテ或ル藥品其他ノ物質ヲ用ヒテ男子ヲ癡醉セシメテ、不法ナル肉交ヲ爲サシメ若クハ爲サシムヘキ手段ヲ取リタランニハ

是レ皆犯罪事件ニシテ其證憑充分ナランニハ裁判官ノ意見ニ從ツテ二ケ年以内ノ禁錮ニ處セラルヘキモノ

トス、但シ場合ニ依リテ苦役ニ就カシムルト就カシメサルトノ區別アルヘシ  
但シ證人カ告訴ニ關スル證憑ニ就テ充分ナル事實ヲ提舉スルニアラサル以上ハ犯罪ハ成リ立タサルモノト  
ス

第四條 何人ニ限ラス

年齢十三歳未満ノ少女ニ對シテ不法ニ肉交ヲ遂ケタランニハ是レ重罪犯ニシテ、其證憑充分ナランカ裁  
判官ノ意見ニテ終身懲役ニ處セラル、カ、五ケ年以上ノ禁錮ニ處セラル、カ若クハ二ケ年以内ノ禁錮ニ  
處セラル、モノトス、但シ場合ニ依リテ苦役ニ服セシムルト服セシメサルトノ區別アルヘシ  
何人ニ限ラス年齢十三歳未満ノ少女ニ對シテ肉交ヲ遂ケントナシタランニハ、是レ輕罪犯ニシテ其證憑  
充分ナランニハ裁判官ノ意見ニ從ツテ二ケ年以内ノ禁錮ニ處セラル、モノトス、但シ場合ニ從ツテ苦役  
ニ服セシムルト服セシメサルトノ區別アルヘシ

但シ此種ノ犯罪者ノ年齢カ十六歳未満ナラン場合ニハ、裁判官ハ或ル期間ノ禁錮ニ處スヘキ宣告ヲ與ヘ  
スシテ杖罪ニ處スルコトヲ得ヘシ

結婚シテ人ノ妻トナリタル婦人ニ對シテ肉交ヲ遂ケタル男子アリ、是レ強姦ニ出テタルカ將タ和姦ナル  
カ其間好シ疑ヒノ存スルアリト雖モ、皆是レ強姦罪ト見做シテ處罰セラルヘキモノトス

第五條 何人ニ限ラス

(一)、年齢十三歳以上十六歳未満ノ少女ニ對シテ不法ニ肉交ヲ爲シ、若クハ爲サント目論見タランニハ  
(二)、白痴若クハ無能力ノ女子ニ對シテ不法ニ肉交ヲ遂ケ若クハ遂ケント目論見タランニハ、好シ實際  
強姦ニアラサルコト明カナルモ、其之ヲ實行スルノ際其女子ノ白痴若クハ無能力ナルコトヲ了知シ居  
タランニハ

是レ皆輕罪犯ニシテ其證憑充分ナランニハ、裁判官ノ意見ニ從ツテ二ケ年以内ノ禁錮ニ處セラル、モノ  
トス、但シ場合ニ依リテ苦役ニ服セシムルト服セシメサルトノ區別アルヘシ

但シ被告ニシテ其關係シタル女子ノ年齢カ十六歳若クハ十六歳以上ナルコトノ充分ナル證據ヲ有シタラ  
ン場合ニハ上告スルコトヲ得ヘキナリ

又タ犯罪行爲ノ當時ヨリ既ニ三ヶ月ヲ經過シタランニハ、本條ニ照シテ處刑スヘキ限リニアラス

第六條 何人ニ限ラス或ル屋敷ノ所有者若クハ現住者若クハ監理者手傳人等ニシテ其屋敷内ニ於テ、前述  
シタルカ如キ年齢ノ少女ヲシテ不法ニ或ル男子ト肉交ヲ爲サシメタランニハ、(其男子ト云ヘルハ格段ナ  
ル男子ト定マリタルト誰レ彼レノ差別ナキ廣キ意味ノ男子トヲ問ハス)

(一)、其少女ノ年齢カ十三歳未満ナラン場合ニハ、重罪犯トシテ其證憑充分ナランニハ、裁判官ノ意見  
ニ從ツテ終身懲役ニ處セラル、カ、五ケ年以内ノ禁錮ニ處セラル、カ、若クハ二ケ年以内ノ禁錮ニ處  
セラル、モノトス、但シ場合ニ依リテ苦役ニ服セシムルト服セシメサルトノ區別アルヘシ

(二)、其少女ノ年齢カ十三歳以上十六歳未満ナラン場合ニハ、是レ輕罪犯ニシテ其證憑充分ナランニハ  
 裁判官ノ意見ニ從ツテ二ケ年以内ノ禁錮ニ處セラル、モノトス、但シ場内ニ依リテ苦役ニ服セシムル  
 ト服セシメサルトノ區別アルヘシ

但シ被告ニシテ其少女ノ年齢カ十六歳若クハ十六歳以上ナリトノ充分ナル證據ヲ有シタランニハ上告ス  
 ルコトヲ得ヘキナリ

## 第七條

何人ニ限ラス、年齢十八歳未満ニシテ未婚ノ少女ヲシテ不法ニ或ル男子ト肉交ヲ遂ケシメタラン  
 ニハ、(其男子ト云ヘルハ格段ナル男子ト定マリタルト誰レ彼レノ差別ナキ廣キ意味ノ男子トヲ問ハス)  
 或ハスル少女ノ父若クハ母ノ同意ヲ得ス、若クハ法律上斯ル少女ヲ監視スヘキ責任アル者ノ同意ヲ得ス  
 シテ之ヲ奪ヒ去リ若クハ奪ヒ去ラシメタランニハ

是レ皆輕罪犯ニシテ其證憑充分ナランニハ、裁判官ノ意見ニ從ツテ二ケ年以内ノ禁錮ニ處セラル、モノ  
 トス、但シ場合ニ依リテ苦役ニ服セシムルト服セシメサルトノ區別アルヘシ

但シ被告ニシテ其少女ノ年齢カ十八歳若クハ十八歳以上ナリトノ充分ナル證據ヲ有シタランニハ上告ス  
 ルコトヲ得ヘキナリ

## 第八條

何人ニ限ラス或ル婦人若クハ少女ノ同意ヲ得スシテ左記ノ如キ箇所ニ抑留シタランニハ

(一)、或ル男子ト不法ニ肉交ヲ遂ケシムヘキ目的ヲ以テ或ル屋敷内ニ抑留スルコト、(其男子ト云ヘルハ

格段ナル男子ト定マリタルト誰レ彼レノ差別ナキ廣キ意味ノ男子トヲ問ハス)

(二)、或ル淫賣屋ニ抑留スル事

是レ皆輕罪犯ニシテ其證憑充分ナランニハ裁判官ノ意見ニ從ツテ二ケ年以内ノ禁錮ニ處セラル、モノト  
 ス但シ場合ニ依リテ苦役ニ服セシムルト服セシメサルトノ區別アルヘシ

或ル婦人若クハ少女ニシテ男子ト不法ナル肉交ヲ爲スヘキ目的ニテ或ル屋敷内若クハ淫賣屋内ニアリタ  
 ルノ場合、其屋敷若クハ淫賣屋ノ主人カスル婦人ノ脱走ヲ豫防センカ爲メニ其婦人ノ着類若クハ所有品  
 等ヲ差シ押ヘタリトセンカ、斯ル場合ニ於テハスル婦人ヲ抑留シタルモノトシテ處罰セラルヘキモノト  
 ス然レトモ斯ル淫賣屋ノ主人ヨリスル婦人ヘ相當ノ着類ヲ供給シタル場合ニ於テ、若シ斯ル婦人ニシテ  
 スル着類ヲ其身ニ纏フタル儘脱走杯企テタランニハ、法律上ノ制裁ヲ受ケシメント威嚇スルコトアリト  
 センカスル場合ニ於テハ民法ト刑法トヲ問ハス法律ノ制裁ヲ受クヘキ限リニアラス、即チ斯ル屋敷若ク  
 ハ淫賣屋ヨリ脱出セントスル場合、其身ニ纏ヘル衣服ハ好シ他ヨリ貸與セラレタルモノト雖モ、之カ爲  
 メニ法律ノ制裁ヲ受クヘキモノニアラス

第九條 強姦ノ訴訟若クハ本條例第四條ニ規定サレタル重罪犯ノ訴訟ニ就テ審理ヲ遂クルノ場合ニ於テ、  
 陪審官カ此被告ハ本條例第三條、第四條若クハ第五條ニ規定サレタル淫褻的強迫ニ就テハ有罪ナリト認  
 ムルモ、本訴ノ所謂ル重罪犯ニ關シテハ證憑不充分ナリト認メタリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ陪審官

ハ此被告ヲ免訴トナサンコトヲ要ス、然レトモ陪審官ニ於テ本訴ノ事件ヲ有罪ナリト認メタランニハ、被告ハ成規ニ從ツテ處罰セラルヘキモノトス

第十條 茲ニ或ル婦人若クハ少女アリ其親、親戚、後見人等ヨリ誓詞ヲ述ヘテ治安裁判官ニ一ノ訴訟ヲ提起シタリトセンカ、其訴訟ノ趣意ハ斯ル裁判官ノ管轄區域内ニ於ル或ル人カ不法ニモ淫賣ヲ爲サシムル目的ニテ此婦人若クハ少女ヲ抑留シタリト云フニアリ、而シテ治安裁判官カ此訴訟ノ事實ヲ確實ナリト認メタランニハ搜索狀ヲ發シテ搜索ノ手續ヲ爲サンコトヲ要ス、既ニシテ其婦人若クハ少女ノ所在カ判明シテ拘引シ來リタランニハ、取り敢ヘス安全ナルケ所ヘ留置スヘク、而シテ治安裁判官ノ前ニ呼ヒ出シテ一應取り糺シタル上其親、親戚若クハ後見人等ヘ引キ渡スヘキモノトス

右ノ搜索狀ヲ發シタル治安裁判官ハ同一ノ令狀若クハ其他ノ令狀ヲ發シテ、右ノ婦人若クハ少女ヲ不法ニ抑留シタル者ヲ捕縛シテ引致セシメ、糺問ノ上法律ニ照ラシテ處罰スヘキモノトス  
或ル婦人若クハ少女ニシテ或ル男子（格段ナル男子ト定マリタルト誰レ彼レノ差別ナク廣キ意味ノ男子トヲ問ハス）ト不法ナル肉交ヲ遂ケシムル目的ニテ抑留サレタリトセンカ、斯ル婦人若クハ少女ハ不徳義ノ事ヲ行ハシムル目的ニテ不法ニ抑留サレタルモノトス、而シテ

(イ)、年齢十六歳未滿ナランニハ

(ロ)、年齢十六歳以上十八歳未滿ニシテ本人ノ意志ニ背キ其父又母ノ意志ニ背キ若クハ法律上

監視權等ヲ有スル者ノ意志ニ背キテ之ヲ抑留シタランニハ

(ハ)、十八歳若クハ十八歳以上ニシテ本人ノ意志ニ背キテ之ヲ抑留シタランニハ  
是レ皆抑留罪トシテ處分セラルヘキモノトス、而シテ何人ニ限ラス本條例ノ規定スル所ニ從ツテ令狀ヲ交付セラレタランニハ、左ノ如キ行動ヲ取ルコトヲ得ヘキモノトス、所謂ル其令狀トハ或ルケ所ニ抑留サレタル婦人若クハ少女ノ所在ヲ搜索スヘキコトヲ命セラレタルモノ是レナリ、斯ル令狀ヲ交付セラレタランモノハ如何ナル家屋若クハ建物ノ内ニ入ルコト（必要ト認メタランニハ先方ノ諾否ヲ俟タス強イテ入り込ムモ苦シカラス）ヲ得ヘク、其他特ニ令狀ニ指示セラレタルケ所ハ勿論ニシテ、斯ル婦人若クハ少女ヲ見出シタランニハ之ヲ引致センコトヲ要ス

但シ本條例ノ規定スル所ニ從ツテ發セラレタル各令狀ハ之ヲ警察署ノ監督、視察官、若クハ其他ノ警官ニ交付シテ實行セシムヘキモノトス、又タ此令狀實行ニ際シテ本件告發者タル兩親、親戚其他ノ者ヨリ同行センコトヲ願ヒ出テタラン場合ニハ之ヲ許シテ同行セシムヘシ、然レトモ裁判官カ反對ノ意見ヲ有シタル場合ハ此限ニアラス

第十二條 裁判所ニ於テ右ニ掲ケタル事件ニ就テ審理糺問ヲ遂ケタル結果トシテ、十六歳未滿ノ少女カ惡道ニ誘惑サレ淫賣ヲ爲シタルハ、畢竟スルニ其父、母、後見人若クハ之ヲ雇ヒ入レタル主人主婦ノ勸誘ニ出テタルニ外ナラストノ事實カ判明シタル場合アリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ其父母後見人等ヨリ



此少女監視保管ノ權能ヲ褫奪シテ更ニ相當ナル後見人ヲ擇ンテ之ニ渡サンコトヲ要ス、但シ此後見人ノ監視保管スル期限ハ其少女ノ年齢カ二十一歳ニ達スルカ、若クハ裁判官ノ見込ヲ以テ指示シタル年齢ニ達スルマテト定ム、然レトモ高等裁判所ハ斯ル後見人選定ニ關スル規定ヲ隨時改廢スルノ權能ヲ有スルモノトス

第二篇

淫賣屋ノ取締

第十三條 何人ニ限ラス

- (一)、淫賣屋ヲ營業トシ若クハ其營業上ノ補助ヲ爲シタランニハ
  - (二)、借家人若クハ或ル屋敷ノ現住者ニシテ自カラ情ヲ知リツ、其家屋屋敷若クハ其一部分ヲ淫賣屋ニ貸シ與ヘテ醜業ヲ營マシメタランニハ
  - (三)、或ル屋敷ノ家主、地主若クハ地主家主ノ管理者ニシテ自カラ情ヲ知リツ、其地所家屋若クハ其一部分ヲ淫賣屋ニ貸與シテ醜業ヲ營マシメタランニハ
- 是レ皆始審裁判條例ノ規定ニ從ツテ其始審ノ結果ニ依リ左記ノ如ク處罰スルモノトス
- (一)、二十封度以内ノ罰金ニ處シ若クハ裁判所ノ意見ニ從ツテ二ヶ月以内ノ禁錮ニ處スルモノトス但シ場合ニ依リテ苦役ニ服セシムルト服セシメサルトノ區別アルヘシ

(二)、再犯ニ對シテハ四十封度以内ノ罰金ニ處シ若クハ裁判所ノ意見ニ從ツテ四ヶ月以内ノ禁錮ニ處スルモノトス、但シ場合ニ依リテ苦役ニ服セシムルト服セシメサルトノ區別アルヘシ

而シテ三犯ニ對シテハ前述シタル罰金ニ處シ若クハ禁錮ニ處シタル上ニ尙ホ左ノ如ク處分セララル、モノトス、曰ク裁判所ノ意見ニ從ツテ十二ヶ月以内ノ監視ニ附セラル、コト是レナリ、但シ此期間内ニ不都合ノ行動ナカラシメンカ爲メニ保證人ヲ立テシムル場合ト然ラサル場合アリト知ルヘシ、若シ斯ル監視ノ行ナハレサル場合ニハ前述セル禁錮ニ加ヘテ三ヶ月以内ノ禁錮ニ處セラル、モノトス

本條例違犯ノ廉ヲ以テ始審ニ於テ處罰セラレタル被告カ之ヲ不當ナリト思惟シタランニハ上告スルコトヲ得ヘキナリ

米國大藏省公衆衛生局公報第七十九號

千九百十六年九月發行

○停滯水

アラバマ州及南カロリナ州ニ於ケル停滯水ノマラリア傳染ニ及ホス影響ニ就テ千九百十五年内ノ調査

米國公衆衛生局 軍醫次長 エツチ、アール、カーター

同 衛生技師 デー、エー、エー、ルプリンス

同 防疫官 チー、エツチ、デー、グリフィツツ

緒論

マラリア傳染ニ及ホス停滯水ノ影響ニ關スル調査ハ公衆衛生局報(衛生局報第二四四、二四八、二五七號)ニ報告セラレタル千九百十四年ニ開始シ、千九百十五年内モ之ヲ續行セリ。測定ハクローザ河畔ノ第十二堰水ノ池、ブラックワローリア河第十七堰水ノ池、バルシヨールス水力發電所ノ池、スチーブンス河ノデョーデア及カロリナ水力發電所ノ池ニ就キテ施行セリ。最初ノ二者ハ、アラバマ州ニアリテ、後者ノ二ハ、南カロリナ州ニアリ。更ニ追加シテ特別ノ測定ハアラバマ州ノバーミンガムニ近キテンネツシー石炭會社及

製鐵軌道會社ノ二池ニ就テ充分ニ行ヘリ。ソレニ追屬シテ又バーヂニア州ノ三小池ニ就テ測定セリ。此ハ實際ニハ物理的測定ニシテ、生物學的研究ヲ充分ニ爲スニハ九月トナリシ故ニ遅カリキ。然レトモ續行シ得ル限リハ之ヲ行ヘリ

ソノ測定ハ次ノ如キ條件ヲ示ス模範的ノ地域ニ就テ測定スヘク計畫セリ

(一)、大ナル池ニ依リテ圍繞セラル、地域ニシテ未タ圍繞シ終ラサル地、池ヲ形成シツ、アル地點(或ハ直ニ構造スヘキ)。ソノ自然ノ状態ニアル地點ノ測定ト、池カ充サレタル後ニ於ケル次ノ測定トノ比較ハ、

池ノ異レル状態ニ就テ正鵠ナル立證ヲ與フルモノナリ

(二) 第一年目ニ於ケル池

(三) 第二年目ニ於ケル池

(二)及(三)ハ最寄ノ地點ヲ選ヒタリ。而シテソノ測定ハ必要ト認ムヘキ或ル理由ヲ存シタルヲ以テ、第一年目ヨリ第二年目ニ至ル池水ノ變化ヲ測定セントシタルナリ。之ノ三者ノ適當ナルモノハアラバマ州ニ於テ選ヘリ。

一九一五年二月施行セルバルシヨールス及スチーブンス河畔ナル池ノ測定ハ異常ナル状態ヲ示セリ。而シテソノ池ニ於ケル生物學の測定ハ直ニ現在ノ條件(昨年六月或ハ七月水ヲ充セリ)ヲ決定スヘキモノニシテ殊ニソノ測定ノアルモノハ最モ確實ナル或ル非衛生的條件アリテ改良スヘキヲ示セリ。夫故ニ停滯水ノ蔽

ヘル地(然シ尙未タ蔽ハサリシ)(一)ノ條件ノ下ニアル地點ノ測定ハ延期シテ代フルニ此ノ二池ヲ以テセリ。此ハ最モ必要ナルモノニシテ、此ノ測定ハ工業的條件ノ爲ニ尠クトモ二年前迄ハ浸水ノ無カリシ地點ヲ選ヘリ。

### アラバマ州ニ於ケル池ノ測定

季節ノ變化ニ依ル池水其ノ他ノ検査ノ爲ニ(衛生局報彙刻第二四四號十二頁參照)クーザ河ノ第十二堰水ノ二回ノ測定ハ、五月二十八日ヨリ六月二十五日、及ヒ八月十八日ヨリ九月十九日迄行ハレタリ。發電所及タラデガスブリングダヲ此ノ二回ノ測定ノ基點トシ、沼中ノ他岸ニ達スルニハ電氣艇ヲ用ヒタリ。多クハ徒歩又ハ獨木舟ニテ爲セリ。

此池ハ一九一四年五月或ハ六月ニ充サレタルモノニテ第二期ナリ。此池ハ一九一四年十月及十一月ヲ通シタル、ルブリンス、ドンネー兩氏ノ爲セル測定ノ全對照物ナリシモノナリ。一九一五年六月ニ於ケル吾人ノ測定ハ典型的ニ行ハレタリ。總テノ川及大ナル支流ハ逆水スル進前方迄検査シ、又重ナル池ノ堤及ヒ之等支流ノ川口ノ部分ハ位置ヲ變シテ充分ニ検査セリ。代表的ノ堤ヲ多數検査シ、アノフヘレス(Anopheles)幼蟲ノ生育シ、又棲息ニ適スルト認メラルル場所ヲ苦心シテ選ヘリ。或ル場所ハ四日乃至一週間ノ中ニ二回以上検査シテ完全ナル事ヲ期セリ。

八月及九月施行セル測定ノ或ル二三ノ地點ハ最モ理想的ナリト信シタルヲ以テ慎重ニ二回以上ヲ行ヒタリ、ソノ測定ハ斯カル理想的地點ノ周到ナル研究ナル故ニ數多ノ場所ニ就テ検査スル必要ナク、況ンヤ沿水線九十哩乃至百二十哩ヲ算スル大沼ナルニ於テオヤ。更ニ沼ノ流入スル前方ノ地ヲモ検査セリ。此ノ作爲ハ最モ完全ニ行ハレ、本年ノマラリア蔓延ニ影響ヲ及ホセル池沼ノ状態ハ最モ正確ニ闡明セラレタリ。ブラックウォーター河第十七堰水ノ測定ハウーザ河ニ於ケル程度迄ハ試ミス。與ヘラレタル報導ハ他ノ場所ノ測定ニ要セル日時ヨリモ、少カルヘシトノ事ナリシモ、實際ハ全夏ヲ費ササルヘカラサリキ。我々ハ六月二十七日ヨリ七月十七日迄ヲ要シテ此川水ノ次ノ場所ヲ検査セリ

- (イ) 堰水ヲ基點トシテ堰水ノ上方六哩ノ兩岸及ヒ各入江、支流(ソノ一ヲ除ク)逆水ノ前後方ノ支流
- (ロ) プレスコット川畔ノマキジン川及一農家ヲ基點トシテ、ウォーター川ノロカスト交叉點ノ全部ヨリ小川及ソノ支流

(ハ) コードヴァヲ基點トシテ、ソノ深水部ノ上方六哩ヨリ、下方四哩ニ至ル間

堰水ノ測定ハ、普通ノ状態ニ支障ナク行ハレ、總テノ意味ニ於テ満足ニ行ハレタリ。マキジン川ニ於ケル測定ハ不幸ニシテ、此川ノ四呎乃至六呎ノ急激ナル増水ト時ヲ同シウシ、完全ナルコトヲ期シ得サリキ。プレスコット川ニ於ケル測定モ之ト稍々趣ヲ同シウシタルカ、増水ニ依リテ妨ケラレタリト雖モ、此ノ地點ヲ検査スル爲此ノ一川ニ三日半ヲ要シテ正ニ充分ナル測定ヲ遂ケ得タリ。吾々カコードヴァ Cordovaニ到着

シタル時ハ、水量ハ常ニ歸シ深水ノ測定ハ最近ノ減水ノ爲總テ満足ニ行ヲコトヲ得タリ。逆水ノ上方ナル支流ハ降雨ノ爲浚流セラレタル後ナリシ故ニ、不満足ナル結果ヲ來セリ

水體ヲ検査スル爲ニハ、次ノ五種ニ分チテ考フルヲ便利ナリトス

- (一) 池ノ開カレタル水
- (二) 池ノ小ナル入江(又ハ灣)
- (三) 小川及支流ノ入江、灣  
小川ノ灣トハ、小川ノ谷ヲ充ス池ノ一部ニシテ、小川ノ前堤ヲ溢ルル程充分ノ深サアリ。灣ト入江トハ單ニ程度ノ差ニ過キス。入江ハ普通開キテ水ノ波動ヲ受ケ易ク、從テ幼蟲孵化ノ状態ハ全然前者ト異レリ
- (四) 川及支流ノ滯水及逆水。灣頭ヨリ上流ノ水ノ流レル所ヲ云ヒ、全ク川堤内ニアル靜水ノ部ニシテ灣トハ川堤外ヲ云フ
- (五) 川水カ深水部ヲ形成スル前ノ如キ、自由ニ流レル水。加フルニ堰水ニヨル湿地、沼等、及堰水ニ依ラサル湿地、沼

### クーザ河第十二堰水ノ池

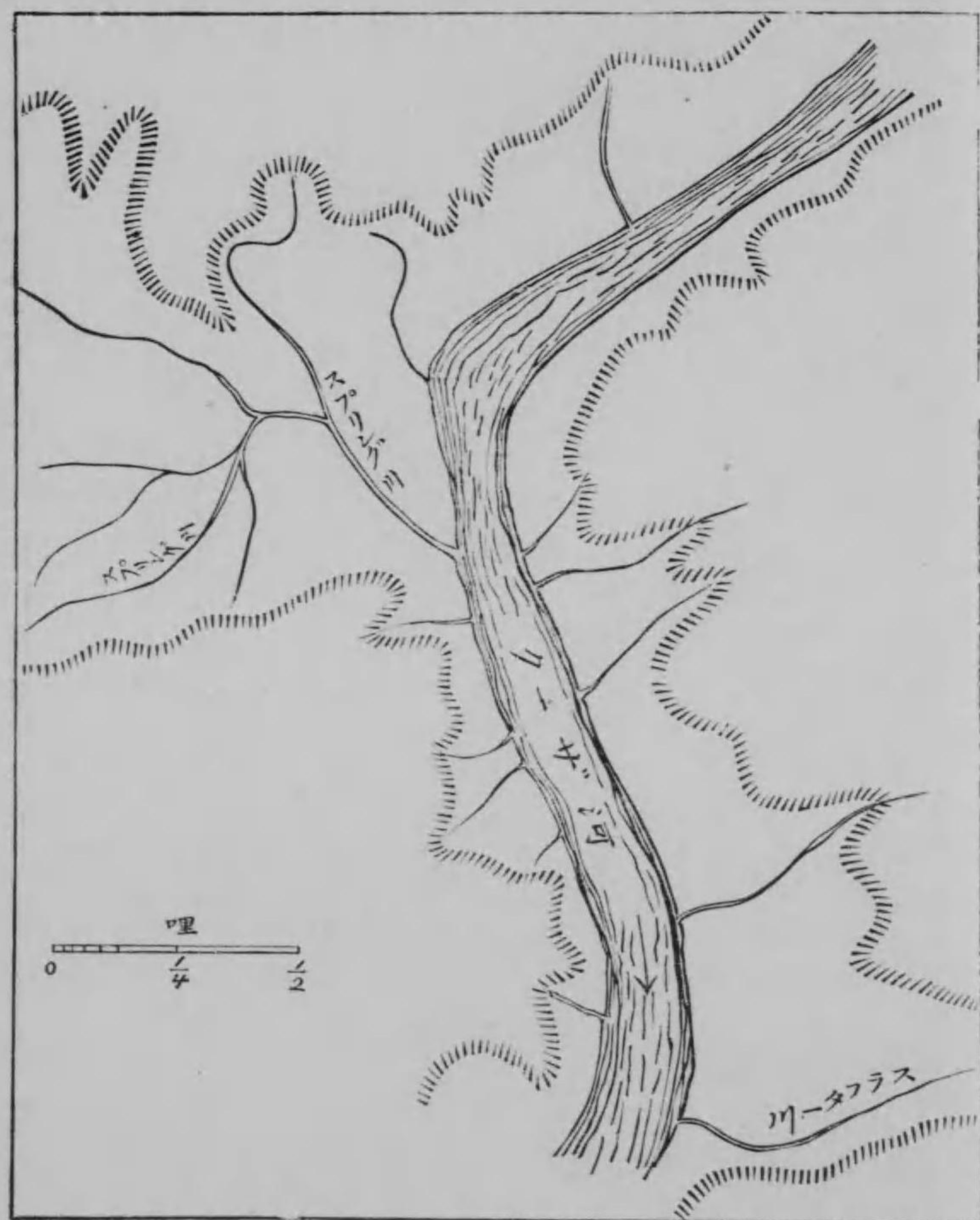
六月測定

物理的(外形的)條件。水ノ上高ハ六十三呎ノ高サニ上リ、逆水ハ二十五哩ノ上方ニ擴レリ。堰水ハ一九一四年六月乃至七月ニ作ラレタリ。狹隘部ノ上方、五六哩ヨリ河水ハ狹谷ノ間ヲ流レ、河堤ハ兩側共ニ斷崖ニ相對シ、ペイント (Paint) 川ノ川口ノ外ニハ廣濶ナル場所ナシ。隣接セル地方ハ荒野ニシテ人家稀少ナリ

此ノ上流ハ土地低下シテ、沼地ハ低面ノ上ニ擴レリ。スラフター川、スプリング川、セダー川等ノ古キ川口ニ於テ殊ニ然リ

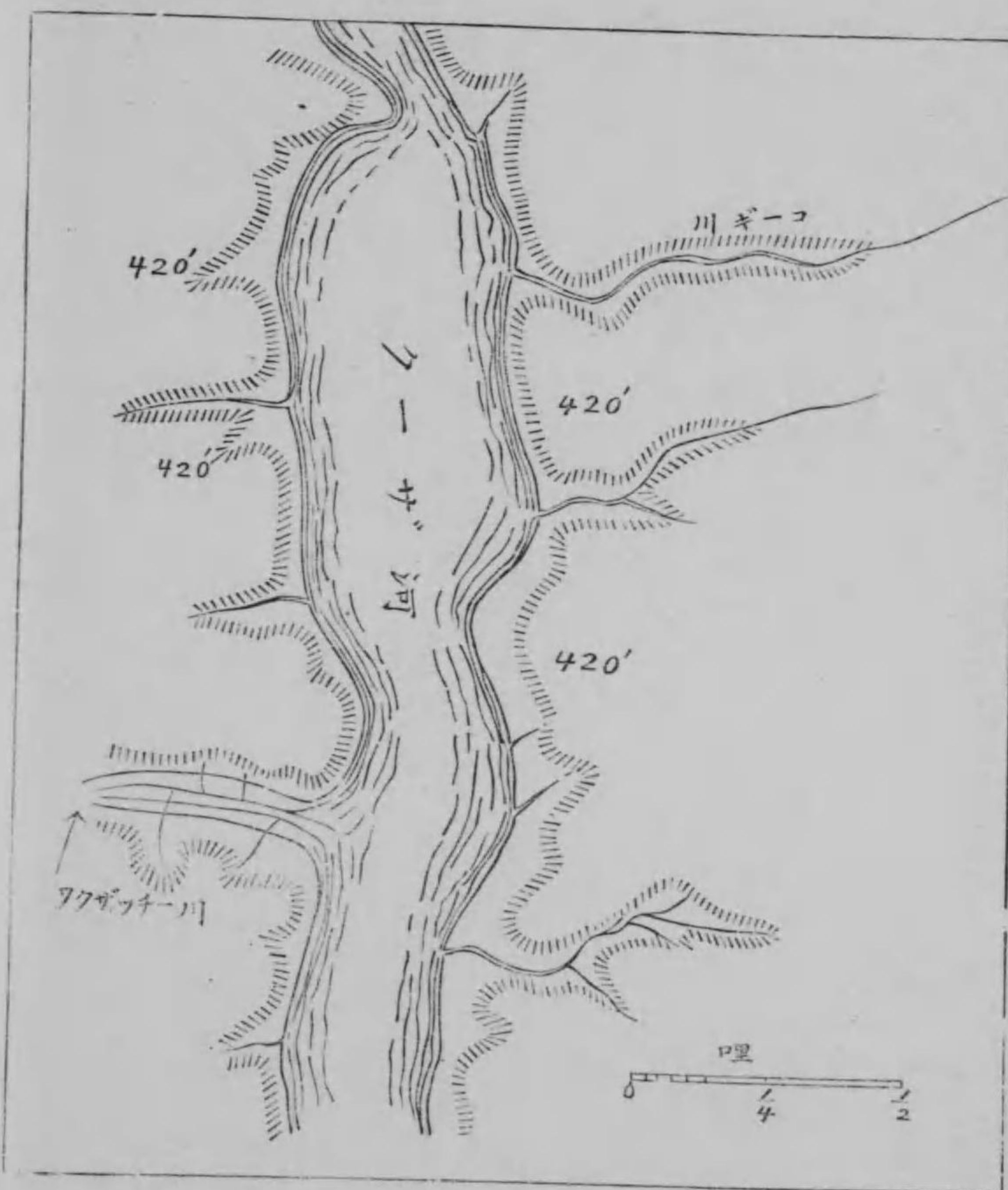
狹隘部ノ下方ニ入ルベールト川、ワクザチー川、上方ニ入ルスラフター、スプリング、ベツカーウツド、ピースワツクス、パレース川ハ皆大ナリ。殊ニワクザチー及ヒセダー川ハ大ナリ。ワクザチー、パレース川ヲ除キテ、他ハ皆幾エーカーヲ占ムル大ナル川口ヲ有ス。ワクザチー川ノ下流ハ狹谷ノ間ヲ流レ、パレース川ハ堤ヨリ二十哩ヲ隔テル故、川水ハ大ナル溢水地ヲ作ル程増水セス

普通川底ハ上昇セルニモ拘ハラズ、狹隘部ノ上流ナル沼地ハソノ下流ニアル沼地ヨリモ廣濶ナリ。狹隘部ノ上流ノ地ハ、下流ヨリモ平坦ニシテ人家モ稠密ナリ。場所ニヨリテハ絶好ノ農耕地ナリ。小ナル貯水池アリテ自由ニ流下ス。從テ浮動スル塵芥ハ池沼ヨリモ能ク流下スルコトハ容易ニ想像シ得ヘシ。水ノ流ル、前面ノ木及ヒ藪ハ殆ント全部切拂ハレタリ。或ル場所ニテハ除去セラレ或ハ完全ニ除去セラレタル點モアリ常ニ平水ナル沼アリ。常ニ平水ナラシムル必要ナキモ、水量ノ變化ハマラリアヲ發生セシムト一般ニ



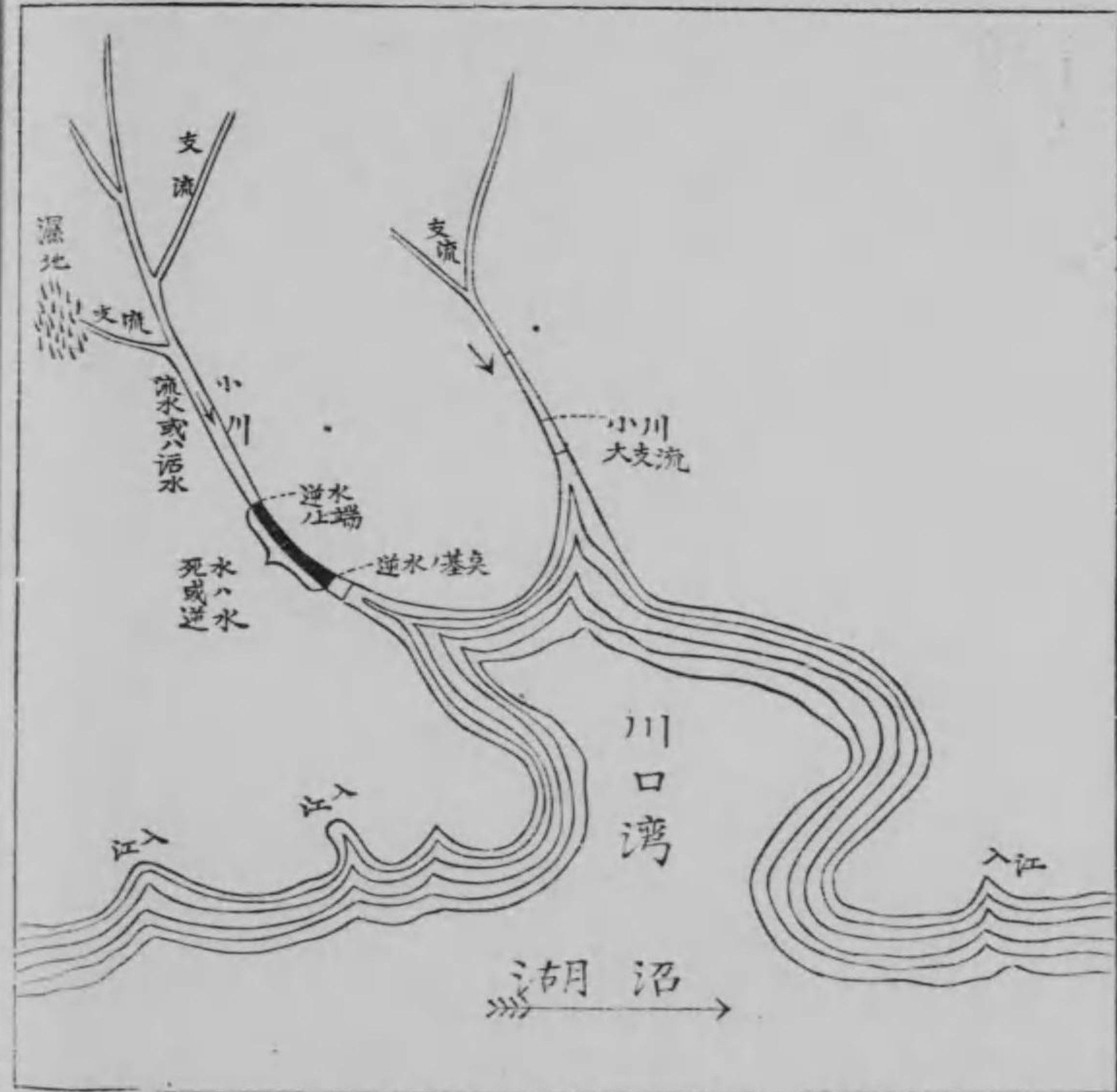
三〇五

第一圖 河、河口、湖沼ノ典型。此處ニ云フ湖沼トハ米國技師ノ用語ニシテ、堰水ノ上部ニ停滯セル水ニテ舟航シ得、河ト支流トハ圖ノ大小ニ依リテ區別スルコトニ注意セヨ。



三〇四

第三圖 狹隘部ノ上方クレーザ河ノ第十二堰水ノ深水部。水ノ上高ハ第二圖ヨリモ稍少ナレトモ溢水セル部分ハ遙ニ大ナリ。此ノ増水ハ約四十三呎ニシテ、圖ハ堤ノ上方七哩 $\frac{1}{2}$ 乃至十哩ノ地ヲ示ス



第二圖 狹隘部下方クイザ河第十二堰水ノ部。外側ノ陰線ハ四百二十  
呎ノ水平曲線ニシテ内側ノ線ハクイザ河ノ往時ノ線ナリ、狹隘部ハ堤ノ  
上方約四五哩ナリ。水ノ上高ハ約五十九呎ニ及ブ。

信セラル、故ニ之ヲ防止スル爲メ、發電會社ハ洪水ノ來ルコトヲ豫知シ又ハ襲來スル時ハ常ニ水門ヲ開キ  
テ水ヲ通過セシム

川ノ溢水ハ發電力ニ要スルヨリモ過剩ナル故ニ會社ハ常ニ夏秋ノ兩期間四百二十呎ノ等高線ニ殆ント平面  
ヲ保ツコトヲ得。從テ此ノ期間ニ於ケル水準ノ變化ニ依リテ極少ノ浮漂物及屑片ヲ打揚ク。幸ニシテ秋冬  
ノ期間ニ増水アリ

浮漂物ノ大部分ハ春期ノ増水ノ爲メ岸ニ打揚ケラレタリ。浮漂物トハ小ナル、又ハ極メテ微細ナル材料  
ヲ云フ、(局報第二四四號八頁參照)

水準ヲ常ニ一定セシムルニモ拘ハラズ、六月ニ於ケル測定ノ間、浮漂物ハ極メテ少量ニ過キサリキ。昨秋  
夥シクアリシ松葉ハ更ニ無ク、二三ノ小川ヲ除キテ落葉モ無カリキ。伐材セル利益ハ此點ニアリタリ  
流動セル屑片ハクイザ河ヲ流れ、伐ラレタル丸木ハ流レスシテ處々ニ釣床ヲナシタルモ此ノ丸木ノ堆積ハ  
二三個所ニ過キサリキ

水ハ常ニ清明ナリキ。六月ノ測定ニハ、水藻ハ蚊ノ發生ノ媒介者タル程充分ニ生長セサリキ  
生物學的條件。六月ノ測定ハ又一事ヲ極メテ明ニ示セリ。即チ池ハ「アノフェレス」成育ニ必要ナル保護所ヲ  
提供スルコト稀ニシテ、アリタリトスルモ極メテ尠シ。池(支流ノ川口ヲ含ム)水ニハ「アノフェレス」ヲ全ク  
發見セス。小川ノ逆水中ソノ上部ノ許ニハ殆ント獨占的ニ發見セラレ、又流水ノ上部及兩側ノ潦水(溜水)濕

地ノ中ニハ育成セラル、ヲ常トシ、逆水中ヨリモ寧ロ能ク育成セルヲ發見シタリ。コノ徵候ハ上流ヨリモ下流ニ於テ總テ明ニシテ、ベイント、コーギ(發見スルコト尠シ)、ピースワックス及ビバレーズ川ハ之ヲ證明セリ。小川ノ流水及兩側ニ近キ溫地ニ育成セラレサル時ハ、無數ノ幼蟲ハソノ下流ノ小川中ニハ發見セス。此時ノ育成ノ大部分ハ深水ノ上部ナル活(流)水、附近ノ濕地中ニ發見セラレ、又深水部ノ中ニテモ逆水ノ上部ノ邊ナル小川ノミニ殆ント限定セラル。假ニ小川ノ逆水中ニ發見セラル、トスルモ、卵或ハ幼蟲ノ中ニ上水ニ依リテ流却セラレシモノナリ。然レトモ深水部ノ中ニモ發見セラレトスレハ、逆水中ニ育成セラレシト同シク、深水中ニ行ハルル蚊ノ發生ハアリシモノニテ、下流ニ流出セラレタルモノナリ。之ハ今ハ深水ニアリテ蔽ハレ、且發生セサル支流ノ或ル部ニ普通發生スル處ノモノト相同シ

幼蟲ハセダー川ノ岸ヨリ離レテ、水上ニ浮漂スル木葉、小ナル屑片ノ上ニ發見セリ。之ハ六月十八日ナリ。二日前ニ此ノセダー川ノ上流ニ降雨アリ。大雨ニシテ長時間降レリ。而シテ逆水ノ上部モソノ上部ヨリ下方殆ント一哩ノ間、幼蟲ハ兩岸ニ對シテ浮漂物、屑片、或ハ水中ニ浸サレタル樹枝ニ附着シ居タリ。逆水ノ下流及川口ニハ浮漂セル屑片ハ多クシテ、注意シテ搜索シタルモ、兩岸ヲ離レタル逆水ノ下流ニハ極メテ僅少ナル幼蟲ヲ見タルニ過キス。川口ニハ全然發見セス。逆水中ニハ明ニ多數ノ幼蟲アリ。殊ニ上流ニ於テハ川ノ大面積ハ其處ニ收縮セラル、ヲ以テ多數ノ幼蟲ヲ包含セリ。之等ノ幼蟲ハ大小種々ナリ。六月二十四日此川ニ於テソノ發達ヲ見ントシテ他ノ試験ヲ施行セリ。實際ニ下流ニ於ケル浮漂物ニモ兩岸

ニモ幼蟲ハ無ク、又流下セラレ有ルヘシト豫期セル川口ニモ發見セス。此ノ理由ハ魚ノ餌トナリシ爲ナリ。二回ノ試験中水深ク兩岸峻シクシテ柳鱗(Minnow)ノ好棲地ニハ非サルモ此川ニハ夥シキ小魚ヲ産セリ。此ノ湖沼ニ入ル支流ニハ長流ナルセダー、ワクザツチー川ヲ除キテ、六月中落葉ハ無カリキ

セダー川ハ降雨ノ奇襲アリシ爲、スランター川ノ川口ヲ選ヘリ、此川口ノ或ル周圍ハ濕地ニシテ處々主トシテ牛ノ足跡ナル多數ノ潦水アリ。一部ハ草ニ蔽ハレ、一部ハ日光ニ曝サレ、蚊ノ發生ニハ最モ適セル地點ナリ。試験ハ六月十四、五日及二十一日ノ二回行ヒタリ。六月十四、五日ノ試験ニハ僅少ノ「アノフェレス」幼蟲ヲ發見セルモ、發見スルニ困難ナル程微少ナリ。七日經過セル後、幼蟲ハ可成ノ大サニ成リタリト思ハル、時ニ試験セルニ幼蟲ハ全然無カリキ。潦水ノ全部ニハ非サルモ多クハ松藻蟲ヲ含有セリ。此潦水ハ多ク高溫過キタリ。六月二十一日水ノ溫度ハ午前九時ニ於テ華氏八十六度、十時三十分ニハ九十二度、午後一時ニハ九十六度乃至九十八度ヲ示セリ。使用セル寒暖計ハ稍正確ニ近キ普通ノ浴場用寒暖計ナリ。八月二十一日及二十八日ノ測定ノ際ハ是處ニ幼蟲ハ無ク、水中ニ生草ノ垂下セル岸ヲ離レテ八吋乃至十二吋ノ深度ニ僅少ノ幼蟲アリ。ソノ幼蟲ハ衛生上注意スヘキ程ノモノニハ非ス。枯草ノ中ニハ無シ、二回ノ試験中極メテ少數ノ「クエレックス」(Chiron)幼蟲ハ居レリ

結論 六月ノ測定間ヲ通シテ小川、小川ニ接近セル濕地沼地中ニハ多數ノ「アノフェレス」幼蟲棲息セルモ、上部ヨリ流下セラレタル深水中ニハ全然幼蟲ヲ認メス、但シ上部ヨリ流下セル場合ハ此ノ限ニ非ス

六月蒐集セル幼蟲ハ成蟲トナリテ皆「*A. nofueles*」バレクチベニス「*A. Yim chipennis*」トナリ、スラフター川ニテ蒐集セル約六百ノ幼蟲ノ中、僅ニ二ハ「*A. nofueles*」クオドリマクユレータス「*A. qua drim a onla*」ナリ。一九一四年ノ測定ノ際ハ種ノ分布ハ「*A. クオドリマクユレータス*」ハ一〇一、「*A. バンクチベニス*」ハ一〇五ニアルヲ發見セルモノナリ、此ノ百一ノ「*A. クオドリマクユレータス*」種中、六十五ハペーント川ノ川口ノ一個所ニテ發見セリ、五月下旬ニハ「*A. クオドリマクユレータス*」種ノ雌ノ成蟲ヲ取リテ發電所ノ應接室ニ携ヘタリ、ルブリンス氏及カーター氏ハソノ發生地ヲ探索セリ、發電所ヨリ一哩以内ニ於テ見ル「*A. nofueles*」幼蟲ヨリ成長セルモノナリ、彼等ハ皆「*A. バンクチベニス*」ノ成蟲ナリ、發生地ヲ搜索スルコトハ困難ナリシモ注意シテ四日間搜索セルカ、ソノ成蟲ハ前年ヨリ冬眠セルモノニテ、幼蟲ヨリ成蟲ノ途ニアルモノハ一ヶ月後ニ於テモ此ノ部分ニテハ發見セラレザリキ

### 八月及九月ノ測定

此ノ測定ハ八月十八日ニ開始セリ、當時丁度三四時ノ増水アリ。斯ノ少ナル増水モ浮漂物ノ多量ヲ掃蕩スルニ充分ナリキ、川堤ハ緩カニ傾斜シテ水面ニ入ル、此ノ川堤ハ塵芥ヲ留メス。生物學的條件ハ六月測定ノ時ヨリモ著シク異ナレリ、流水及ヒ接近セル沼地濕地ハ繁殖セラレテ六月ノ時ヨリ多數ノ「*A. バンクチベニス*」群集セリ、然レ共深水部ハ「*A. バンクチベニス*」ニ準シテ多數ノ「*A. クオドリマクユレータス*」ヲ示セリ

或ル入江ニハ屑片ハ釣床形ヲナシ、細微ナル浮漂物及水藻類ハ之ト混合シ、幼蟲ハソノ中ニ時トシテ多數ヲ發見シタリ、如斯タラデガスブリングノ附近ナルセルフアー川ノ川口ニハ水中ノ柳又ハ丸木等ニ細微ナル浮漂物ノ碎片ヲ定着セリ、此ノ水藻ハ生長シテ幼蟲ノ總テハソノ中ニ保護セラル、「*A. nofueles*」ノ二種ハ此ノ場所ニ於テ極メテ能ク説明スル事ヲ得、此ノ川ノ數多ノ支流ノ流水及濕地ノ中ニ發生スル「*A. バンクチベニス*」ノ幼蟲ハ群集セリ、小ナル一支流ノ大穴中ニノミ少許ノ「*A. クオドリマクユレータス*」、即チ二十八ノ「*A. nofueles*」ノ中ヨリ二個ノ「*A. クオドリマクユレータス*」ヲ發見セルノミ、小川ノ逆水中ニハ全然ナク又ソノ逆水ノ上端ヲ除キテハ如何ナル種類ノ「*A. nofueles*」幼蟲モ無シ、川口ニハ二種ヲ含包スルモ、「*A. クオドリマクユレータス*」ハ「*A. バンクチベニス*」ニ比シテ多數ナリ、(一回ハ二對一回、二回ハ二對一回、二〇ノ記錄ヲ示ス)川口ノ丁度上ナル深水部ノ岸ニ沿ヘル入江ニハ釣床アリテ同シ表ヲ示セリ、(一回「*A. バンクチベニス*」〇、「*A. クオドリマクユレータス*」二回、二回「*A. バンクチベニス*」二。「*A. クオドリマクユレータス*」六〇。三回、「*A. バンクチベニス*」八。「*A. クオドリマクユレータス*」六回。)普通之等ノ場所ヨリ湖沼ノ水中ニハ比較的多クノ「*A. バンクチベニス*」ヲ發見シタルモ、セダー川ハ深水部附近ニハ流水中、小ナル潦水、濕地中ニ「*A. クオドリマクユレータス*」ヲ發見セス、「*A. クオドリマクユレータス*」ハ深水中、スプリング川ノ上流ノ大湖沼及タウデガスブリングスノ凝固土槽ノ如キ大キノ湖沼中ニノミ發見ス吾々ノ記錄ハ八月九月ノ測定ニ、千六百以上ノ成蟲及六百乃至八百ノ「*A. バンクチベニス*」ヲ實驗室ニ送レ



リ、之等ハ論斷ヲ與フル根據タルニ充分ナルモノナリ

セダー川ノ逆水ノ上部ニハ落葉ノ屑片中ニ幼蟲ヲ發見セリ、逆水ノ半哩下方ニハ「アノフェレス」幼蟲ハ無ク、川口ヨリ四分ノ一哩北方ニハ發見セルモ川口ニハ全然無シ、蚯蚓穴ニハ他ノ二種ト同シク「Aクルシア」(Auricians)ヲ發見セリ

幼蟲保護ノ媒介者、此ノ時ニ於ケル深水部ノ幼蟲發生ハ決定的ニ量ニ於テ不規則ナリ、保護ヲ與フヘキ媒介者ハ幼蟲ヲ擁護シ且ツ餌食ヲ供給ス、幼蟲ハ波動ノ高キ處、又ハ魚ノ容易ニ達シ得ル處ニハ發見セラレズ、之ニ反シテ波動ヲ受ケサル入江ノ前方ニアル浮漂物及海藻ヲ生シタル浮漂物ニハ幼蟲ヲ屢々發見ス、湖沼中ニテハ淺瀬ヨリモ二呎以上ノ深水中ニ多ク發見ス、多分魚ノ爲ナルヘシ、彼等ハ浮漂物以外ニ發見スル事稀ニシテ、普通水藻或ハ落葉ノ浮漂物ニ發見シテ、重キ浮漂物ニハ充分發見スル能ハス、緩カニ傾斜セル岸ニハ全然無シ、幼蟲ヲ保護ス物體カ岸ヨリ稍離レテアル時ハソノ峻シキ川堤ノ下ニハ、峻シキ入江ニテ發見スル如ク、又其處ニモ多數ヲ發見ス、緩カニ傾斜セル川堤ハ浮漂物ヲ打揚ケ易ク、水準ヨリノ少シノ増水アレハ波動ハ浮漂物ヲ岸ニ打揚ク

何故ニ小川ノ逆水中ニ幼蟲カ稀薄ナルカハ不明ナリ、流水ノ上部ニハ「Aバンクチベニス」、下流ノ川口ニハ「Aクオードハマキユレータス」ヲ發見スルモ、逆水ノ帶域中ニハ、ソノ上流ヲ除キテ幼蟲ノ無キヲ常トス、孵化ハ屑片ノ中ニ多數アルモ逆水中ニハ幼蟲ノ無キ大ナル地點アリ、此等ノ場所ハ物理的ニハ孵化ニ好適

ノ地ノ如クニシテ孵化ノ行ハレサル理由ヲ發見スル能ハス、殊ニセルフアー川ノ川口一哩内ニ於テハ他ノ同シ地點ヨリモ多數ノ發生アリ、眞ニ二三ノ場所ニノミ例ヘハコーギ川ノ川口、南側、ワクザツチー川下流ノ入江、セダー川口ノ一小點ノ如キニ著シキ多數ノ幼蟲ヲ認ムルノミニテ、逆水中ニ認メス、吾々ハ總テノ入江及小川ニハ行カサリシモ、最モ綿密ナル測定ハセダー川ヨリ涯ニ至ル迄行ヒタリ、水中ノ丸木釣床狀ノ屑片等ノ上ニハ大ナル水草ヲ生シ、深水部ノ縁ニ沿ウテ白色ノ根ヲ有スル大ナル房アリテ、ソノ根ハ水中ニ入りテ浮流ス、之ノ根ノ中ニハ時ニ屑片ヲ附着スルモノアレトモ幼蟲ハ全ク發見セス、南カコロリナ州ノ二河ニ於テモ之ノ水草ハアリテ、同シク幼蟲ハ無カリキ、枯レ又ハ腐蝕シテヨリ時日ヲ經過セサル草ノ中ニハ幼蟲ヲ認メズ、現在此ノ水藻ヲ除キテ他ノ水草ハ蚊ノ媒介者ニ非ス、之ニ反シテ水藻ハ八月九月ノ測定ニ於テ顯著ナル媒介者ナル事ヲ發見シタリ、幼蟲ヲ食フ柳鱗ハ此川ニハ概シテ多カラス、或ル場所ニハ柳鱗ノ魚群ヲ見タルモ、コハ例外ナリ、然レトモ幼蟲ハ浮漂物又ハ他ノ掩蔽物ノ外ニハ全ク發見セス、柳鱗ハ明カニ一九一四年ヨリモ多シ

秋期ニ於ケル「アノフェレス」種、一九一四年十月十一月ノ測定ニハ「ベレート川」ノ一部ヲ除キ「Aクオードリマキユレータス」ヲ發見セス、又本年六月ノ測定ニモ發見セサルヲ以テ、八九月ノ測定間ニ於テハ、秋期ニ至リテ「Aクオードリマキユレータス」モ亦發見セラレサルヘキカヲ決定セント欲セリ、夫故ニ吾々ノ一人(グリフイツツ氏)ハ十月二十六日ヨリ三十日迄「タラデダスプリングス」ニ歸レリ、氣候ハ十月下旬ト

シテハ温暖ナリキ、サルファア川口ロックスブリング川ノ入江、蚯蚓穴及「Aクオードリマキユレータス」ノ八八%ノ高率ヲ示セル其ノ他ノ場所ニ入りテ試験セル結果ハ次ノ如シ

A バンクチベニス

七一%

A クオードリマキユレータス

一九%

A クルレアンス (前ト同シク蚯蚓穴ニテ)

一〇%

即チ明カニ、種ノ比例ハ變化セリ、之ハ「アノフェレスクオードリマキユレータス」ノ減少セルニ歸因スル事ハ明白ナリ

「マラリア」熱、「マラリア」熱ハ一九一四年此ノ河邊ニ非常ニ流行セシ爲多クノ家屋ハ放棄セラレタルヲ見タリ六月ノ第一回ノ測定ニハ河水ハ「アノフェレス」蚊ノ著シキ媒介者タル事ヲ信スル理由ヲ認メサリシモ第二回ニ於テハ之ヲ認メタリ、或ル個所ニテハ多數ニ培養セラレタリ、此種ハ又主トシテ「マラリア」ノ活徑トシテ知ラレタル「Aクオードリマキユレータス」ナリ、此種ノ夥シキ多數ノ繁殖ハ「マラリア」病發生ノ決定的媒介者タルヘシ

一九一五年此ノ地方ニ於ケル「マラリア」ハ前年來ヨリモ減少シ、或ル者ハ非常ニ減少セリトノ報告ヲ吾々ハ八月中旬頃聞ケリ、若シ此ノ報告ニシテ眞實ナラハ、ソノ理由ハ河水カ媒介者ナル限り、此ノ最も不健康ナル地方ニ於ケル家屋ヲ放棄セル事ト、河水ノ生物學的條件ノ變化トニ歸セサルヘカラス、サルファア川

口及ソノ流域ヲ除キテ、家人ノ脅嚇セラルル程接近セル河ノ多クノ場所ニ幼蟲ノ衛生上注意スヘキ繁殖ヲ見タリ

一九一五年八月ノ氣候ハ南部ヨリモ遙カニ「アノフェレス」發生ニ最適ナル氣候ナリキ、而シテ「マラリア」熱ハ異常ニ流行セリトノ報知ハ「ヴァーチニア」、「チョーヂア」及北アラバマ州ヨリ來レリ、タラデガスブリングスニモ九月下旬ニ發病多カリキ

タラデガスブリングフユータヴィル (Payotville) 及シエルゴ (Shelby) ノ村落、十二堰水ノ發電所、カイツレスノ水車及此ノ國內ノ多數ノ家屋ニ就キテ家内、住居、屋外ニ居ル蚊ヲ採集セリ、ソノ結果ハ甚タ興味アルモノニシテ到底此處ニ枚舉スルニ遑ナシ、結論ハサルファア川口ノ「Aクオードリマキユレータス」カ其ノ繁殖地ニ最も接近セルタラデガスブリングノ部落ヲ大舉シテ襲來セル事ヲ示セリ、此村ノ他ノ地方ニハ河ヨリ四五哩隔タリタルセンベー或ハ遙ニ距リタル地方ノ屋内ニテ發見シタルヨリモ多クノ此ノ種ヲ發見セサリキ

### 推 告

滯溜水ノ測定ハ「マラリア」ノ防疫ニ就キテ決定的報告ヲ與フル迄ニハ進行セサリシモ、ターザ河ノ發電所ニ對シテ蚊ノ發生ヲ知ルヘキ或ル概括的報告ヲ與ヘタリ

水準ヲ均等ニスル事ハ「Aクオードリマキユレータス」ノ發生スル期間即チ凡ソ十月一日ヨリ六月十五乃至

三十日迄ノ三ヶ月間ハ水ヲ低下スヘシ

屋内ニ於ケル「アノフエレス」

「Aクオードリマキユレータス」ヲ發生シ又ハ發生ノ個所ニ近接セル地ニ關シテハ以上ノ測定ニ常ニ發見セル如ク屋内ニ於テハ「Aバンクチベニス」ヨリ遙ニ多數ノ「Aクオードリマキユレータス」ヲ發見セリ、然ルニ小舎豚小屋、開放セル屋内、軒下等ハ之ト趣ヲ異ニセリ、種發見ノ平均ヲ決定スル事ハ各種ノ發生地ヨリノ距離及繁殖ノ擴大スル程度ヲ一定セサルニ於テハ無用ノ事タリ

タラデガスプリングスノ或ル村ノ一部ナル十個ノ家屋ハ明カニ次ノ處ヨリ蚊ヲ招致ス、(一)「Aバンクチベニス」ヲ饒多ニ發生シ「Aクオードリマキユレータス」ノ更ニ無キ一小支流、(二)五%ノ「Aクオードリマキユレータス」、九五%ノ「Aバンクチベニス」ヲ生シ且ツ繁殖ノ旺ナル凝固土タンク

他ニ又正當ノ距離内ニ「Aバンクチベニス」ノ發生地アレトモ、五分ノ四哩以内ニハ「Aクオードリマキユレータス」ハ更ニ無シ、小流及タンクノ蚊ノ發生ヲ平均スルニ、此二種ノ發生ハ尠クトモ夫々 $\frac{1}{2}$ %ノ「Aクオードリマキユレータス」、九七 $\frac{1}{2}$ %ノ「Aバンクチベニス」トナル

十回ノ家屋ニ於ケル實驗ハ左ノ如シ

*Anopheles pun. citipennis*  
アノフエレス、バンクチベニス

屋内

〇

軒下

三

屋外

三〇

アノフエレス、クオードリマキユレータス  
*Anopheles quadrimaculatus*

屋内

二四

軒下

二一

屋外

二四

故ニ家屋ノ内外ニテ「Aバンクチベニス」及「Aクオードリマキユレータス」トノ比例ハ一ト一五ノ割合(三對四五)ヲ示セリ、ソノ繁殖ノ比例ハ四〇對一ナルヲ以テ、換言スレハ發生地ヨリ殆ント同距離ノ地點ニ於テ繁殖ノ率ニ從ヒ、六百ノ「Aクオードリマキユレータス」ト之ニ相當スル「Aバンクチベニス」ヲ實驗セルナリ  
同村ニ於テ前記セル十回ヲモ包含シ各住居セル四十一ノ家屋ノ試験結果ハ次ノ如シ

Aバンクチベニス

屋内

一

玄關

一

軒下

一九

屋外	六一
泉水	一七
Aクオードリマキユレータス	
屋内	四三
玄關	四
軒下	三一
屋外	九一
泉水	一

或ル場所ハ一種ヲ出シ、或ル場所ハ他種ヲ出ス等多クノ發生地ヨリ蚊ハ此ノ家屋ニ來レルヲ以テ數字上ノ比較ヲ是處ニ定メントスルハ不可ナリ、然レトモ家屋ハ平均シテ、「Aクオードリマキユレータス」ヨリモ「Aバンクチベニス」ヲ産出スル場所ニ接近シテ泉水ノ比例ニ示ス如ク、「Aバンクチベニス」ノ發生ハ「Aクオードリマキユレータス」ニ幾倍セリ、サルファア川口ニ接セル家屋ハ此表中ニ含まレサルカ、夫ニ依ルトキハ「Aクオードリマキユレータス」ノ數ハ遙ニ大ナリ

蚊ノ發生地及發生地ニ近接セル處ニ於テ、概シテ「Aクオードリマキユレータス」ハ「Aバンクチベニス」ヨリモ屋内ニ多シト云フ事實ハ幾度カ吾人ノ或ル者ノ指示セル處ナルカ、他ノ人々ニ依リテモ斯ク推定セラレ

タリ、然レトモ之ハ近似的決定數ノ材料トシテ此二種ヲ比較セント試ミタル最初ノ機會ナリキ、十個ノ家屋ト發生地ニ近接セル地ニテハ吾人ノ期待ニ反セリ

昨春勿々及十月ノ瞥見ニテハ「Aバンクチベニス」ハ夏ヨリモ冬ニ於テ屋内ニ多クヲ見タリ、然レトモ此ノ觀察ハ記録スヘキ程充分ニ行ハレタルモノニ非ス

屋内ヨリモ屋外ニ於テ如何ニ多數ノ「Aバンクチベニス」ヲ發見スルカヲ觀察セサルヘカラス、我々ハ常ニ此ノ事實ヲ認メタリ、吾人ノ經驗ニ依レハ日中ニ於テハ家内ニ僅少ノ「Aバンクチベニス」アル事ヲ發見セリ、「Aバンクチベニス」ハ夜中家内ニ入ラサルヤ否ヤ、又夜中退去スルヤ否ヤハ來年度ニ於テ吾人ハ確答セント欲ス夫ニ依リテ「Aバンクチベニス」ハ「マラリア」傳染ニ重要ナル意義ヲ有スル媒合者ナルヤ否ヤハ決定セラルヘシ、斯クシテ之ハ衛生學者ニトリテハ最も重要ナル問題ナリ

### 水生植物ベージュニ於ケル池水ノ測定

バーミinghamニ近キベージュノテンネツシー炭鐵會社ニ供給スル池水ニ就キテ測定セリ、此ノ池ハ今迄知レル限リニハ一九一五年ノ夏迄ハ蚊ヲ發生シタル事ナク、此ノ附近ニテ「マラリア」ノ發病シタル事ナシト云フ此ノ池ハ數年前ニ作ラレタルモノナリ、堤上ニハ藪無ク、堤ハ能ク鋤カレタリ、會社ニテハ備人ノ「マラリア」ニ罹ラサル様注意シタルニ本年ハ此池ノ附近ニ著シキ「マラリア」病ヲ發生セリ

吾々ハ一ノ理由タルヘキ條件ヲ發見シタリ、ソノ池ハ *Najas flexibilis* (いはら藻屬) ト稱スル水草ヲ以テ圍マレ、ソノ水草ハ水中ニ大海藻 (*Ulva*) ノ如クシテ夫ヨリモ美シク柔靱ニシテ極メテ繁茂シ成長セリ、水草ハ岸ニ密着シテ九月二十二日測定ノ際ハ最早ソノ成熟ヲ終リテ應テ枯死シツツアリ

二人シテ二時間宛岸ヲ試験セルニ、此ノ水草ノ青ク生ヘタル二ノ小點ヲ除キテハ、「アノフエレス」幼蟲ハ此處ニ多數發見セリ、短艇ニ乗シテ此水草ノ圏外ニ於テ試験セルニ多數ノ「アノフエレス」幼蟲ヲ水中ニ含有セル事ヲ發見セリ、同時ニ他ノ「キユレツクス」(*Culex peiris*) 種、「 $\Delta$ クオードリマキエレータス」、「 $\Delta$ バレクチベニス」モ繁殖シツツアリタリ、魚アレトモ多カラス

二日ノ後、此會社ノ他ノ池ヲ試験セルニ水草ソノ岸ニ繁茂セルモ、蚊ノ幼蟲ハ全然無カリキ

枯死セル草ノ幼蟲發生ニ對スル效果ハ既ニ指示セラレタリ、更ニ前例ニ加フルニク「ザ」池ノ二個所ニ於テモ證明セラレル、池ノ不斷ノ少シノ増水ハ草ノ生ヘタル平地ヲ蔽ヒ、一ヶ個所ハ鷄眼草 (*Urtica dioica*) ヲ生シ一個所ハ他ノ草ヲ生ス、ソノ草ハ凡ソ六時ノ高サニテ、水ノ高サハ約十八時以下ナリ、此ノ場所ハ五哩ヲ離レタル所ニアリ、二個所ノ草中ニハ足ノ深サ程ノ鼠穴アリ、人々カ蚯蚓ヲ捕フル爲メニ掘リシモノニテ是處ニハ草ヲ生セス、直径ハ十八吋乃至三四呎アリテ中ハ暗シ、草ハ枯レタリ、第一ノ個所ハ最初ノ試験ノ際ハ九日間ノ浸水、第二ノ個所ハ十一日ノ浸水後ニシテ次ノ試験ノ際ハ浸水後十九日ナリキ、草中ニハ全然アノフエレス幼蟲ハ發見セサリシモ蚯蚓穴中ニハ無數ニ發見セリ、又此穴ヨリ多數ノ「 $\Delta$ クルシアン」ノ幼

蟲ヲ捉ヘタリ、バケツノ中ニテ枯レツ、アル草ヨリ、此幼蟲ヲ離セル爲メ幼蟲ハ二回程死セリ、夫故ニ幼蟲ヲ殺サ、ル様バケツノ中ニ草ヲ入レテ短艇ニ運ヘリ

秋ニ於テハヴァーヂニア州ノ三個ノ池ニテ他ノ草 (*Spartanium americanum* 黒三稜) ヲ見タリ、一池ニテハ僅カ一回ノ普通ノ試験ニテ、「アノフエレス」ノ多數ニ繁殖サレタルヲ發見セリ、之ハ十月中ニ行ヘルモノニテ捕ヘタル種ハ悉ク「 $\Delta$ バンクチベニス」ナリ、水草ノ研究ハ同問題ノ最初ノ頁ニテ示セル如ク(衛生局報第二四四號參照) 停滯水ノ研究及停滯水ノマラリアニ及ボス影響ニ關スル重要ナル部分ナルヘシ

### 南カロリナ洲ニ於ケル測定

南カロリナ州ニ於テ試験セル二池ハバルジョールス及スチーブレス川ノ池ナリキ、此池ノ状態ハ既ニ報導セル池ト趣ヲ異ニセリ、之等ノ池ハ一九一五年二月南カロリナ州ノ衛生技師ノ要求ニ依リテ我々ノ注意スル所トナリ、醫學的試験ハルプリンス氏及カーター氏ニ依リテ行ハレタリ、ソノ測定ノ目的ハ衛生技師ヲ補益シテマラリア發生ニ關シテハ如何ナル程度ヲ以テ足ルヤヲ決定セントスルモノナリ、此ノ目的ニ對スル報告ハ水力會社ニ提供シタルモノト同シク衛生技師ニ與ヘタリ

#### 物理的條件

之等ノ池ニハ共通セル或ル特殊ノモノアリ。兩者共ニ常ニ平ナル水準ニシテ水面線ハ堤ノ最モ低キ境界線

ニ接セントシツ、アリ、之ハ増水スル時、水ハ堤ヲ超スヤ否ヤヲ見シ爲ニ軍務局ノ測定セルモノナリ、兩者共ニ波動ヲ充分ニ受ケス、スチーブンス川ハ長狹ナル川ニシテ、池水ハ廣ク、波動ヲ起スニ充分ナル個所ニハ堤上ニ防風林ヲ植エ、水ハ林又ハ藪ノ間ニ迄擴レリ、只下流ノミカ波動ヲ起スニ充分ナルノミ、バルノ池ハ充分廣濶ニシテ、中ニ木ヲ生シタル島アリ、或ル島ハ浸水シ、或ル者ハ浸水セス、古キ鐵路ノ堤防アリ、又大ナル材木又ハ一部分浸水セル叢林アリ、水ハ淺ク能ク擴大セラレ、波動アリテモ堤上ヲ超ユルコト尠シ、アル場所ニテハ堤ハ能ク築カレタリ、兩池共ニ半ハ浸水セル林及若キ松又ハ堅木ヲ生セル原ヲ多ク包含セリ、木ハ枯死シ又ハ枯死セントシツ、アリ、而シテ枯死スル時ハ水中ニ腐朽シ或ハ倒レテ屑片又ハ浮漂物トナルナリ、兩池ニハ屑片ノ大塊カ岸ヲ離レテ浮ヘリ、此地方ニテハハンモック又ハ浮島ト呼ブ) スチーブンス川ノ或ル此ノ大塊ノ如キハ優ニ人ノ歩行ニ堪フルモノアリ、ソノ上ニハ水草ヲ生シ從テ蚊ノ幼蟲ハ繁殖セリ、此等ノ中、スチーブンス川ニ於テ最モ顯著ナルモノアリ、兩池ノ異ル一事アリバル川殊ニガングビア (Gambusia) ニハ多數ノ柳鱗アリタルモ、スチーブンス川ニハ稀少ナリ、兩者共ニ鯉ハ多カリキ、増水ノ起ル時ハスチーブンス川ノ増水ハバル川ヨリモ非常ニソノ状態ヲ異ニス、共ニ塵芥ヲ流下シ、人家稠密ナル豊饒ノ地ヲ以テ圍繞セラル、測定ハ一九一四年ノ五月又ハ六月ノ中ニ終了セリ、スチーブンス川ノ周圍ハ最モ豊饒ナリ、水高ハ共ニ三十五呎ナリ、スチーブンス川ノ池ハ長サ八、九哩ニシテバル川ノ池ハ十二乃至十五哩ナリ、スチーブンス川ノ堤ハソノ原流ヨリ約五哩、バル川ノ堤ハ原流ヨリ約

六哩半續キ、ソノ後方ニハ可成リ大ナル平地ヲ殘シ殊ニバル川ノ後方ニハ大ナル平地アリ

バル川ノ測定ハ二月下旬ニ開始セラレ、堤上ノ藪ハ高所ヨリ最下部ニ至ル迄、伐木シ、水面迄屑片及浮漂物ヲ掻集セリ、水上ノ釣床即チ浮島ヲ打碎キテ悉ク陸上ニ揚ケタリソノ他些末ナル作業ヲモ爲セリ吾々ハ時々水準ヲ變化セシメ、殊ニ冬期ニ於テハ水準ヲ高クスヘシト勸告セリ、スチーブンス川ニ對スル勸告ハ多少異ル處アリシモ實行セサリシヲ以テ此處ニ記述スルノ要ナシ、バル川ニテハ極メテ能ク實行セラレタリ、堤上及水岸ヲ精密ニ觀察シテ叢等ヲ伐リ、岸ノ塵芥ヲ搔拂ヘリ、排水スル爲ニ沼ヲ作りテ流水セシメ且魚ヲモ通過セシムル様ニセリ、此等作業中或ル者ハ主要ナル場所ヨリ非常ニ隔タリタル爲ニ必要ナリキ、アル危険ナル場所ヲ存在セリトセハ精密ニシテ、充分ナル觀察ヲ行ヒテ、能ク應用セシナルヘシ、概シテ此ノ作業ハ能ク行ハレテ蚊ノ發生ニ就キテ明カニ教フル所アリタリ、此ノ作業ヲ請負セル人ト同行シテ生物學的測定ノ間必要ナルコトヲ指示スル機會ヲ得タリ

測定ハ七月十七日ヨリ八月十六日迄行ハレタリ、物理的測定ハ既ニ行ヒ、地的關係ニ就テ一般ニ熟知セル結果ハ生物學的測定ノ際大ニ資スル處アリタリ

### 幼虫ノ保護地及水中ノ發生

バル川ニ於テハ落葉ノ屑片ハ極メテ尠シニシテ只カンノンス及ヘラースノ二川ニノミ幼蟲ノ保護ニ必要ナ

ル場所アリ例年ナラハ顧慮スルニ足ラサルモノナリ、スチーヴンス川ニテハ然ラス、川ハ狭クシテソノ堤上ニハ木ヲ生シテ長キ故ニ落葉ハ年々多量ニシテ衛生上注意スヘキ幼蟲ヲ充分發見セリ、碎片ノ上ナル浮漂物ハ何處ニテモ發見スル如ク幼蟲ノ重要ナル保護所ナリ、水藻ハソノ測定ノ當時ニハ幼蟲發生ニトリテハ輕微ナル媒介者ナリシカ後季ニ至リテハ大ナル媒介者トナルコトハ疑フノ餘地ヲ存セス

此ノ微細ナル浮漂物ハ明カニ小蟲ノ排泄物ナル小ナル圓キ肉芽(蟲眼鏡ニテ能ク見ルコトヲ得)トナリテ多ク存在シ、木材ノ屑片ニ混セリ、此ノ物質ハ屑片ノ上ニ宿リテ屑片又ハ堤ノ岸線ニアリテ波動ヲ受クルコトナク、水中ニ於ケルアノフレス幼蟲ノ最モ普通ナル保護所ナリ、時トシテ單ニ小ナル碎片ナルコトアリ又厚キ屑ヲナシ稀ニ一時ノ厚サトナルコトアリ、斯ク厚キ時ハ幼蟲ヲ認ムルコト容易ナラサルヲ常トシ發見スル爲ニハ多クノ工夫ヲ要ス、時トシテハ屑片ノ間ニ壓縮セラレテ水面ニ押出サレ高燥シ六吋乃至八吋ニ及フ、然ルトキニハ勿論幼蟲ヲ含有セス、他ノ川ニテハ幼蟲ハ多ク迂回セル堤ノ峻シキ入江ニ最モ多數ヲ發見セリ、斯カル場所ニテハ波動ハソノ堤ノ外形ニヨリテ防カレ、又入江ニハ屑片及浮漂物ヲ包擁シ小魚ハ堤ニ近キ深水ヲ避クルヲ常トス

コーリス及メーヤス川ノ入江ハ此ノ自然ノモノニシテ、入江ハ或ル時ハ多數ニ發生セシム、アル時ハ入江或ハ水線線ノ一部サヘモ大ナル屑片ノ爲ニ波動ヲ遮リ、若シモ浮漂物ノ少量アリテ、堤ハ柳鱗ノ住マサル程峻シキ時ハ幼蟲ハ普通發見セラル、カンノン川口ノ北部ニハ斯カル場所アリ

古キ鐵道アル堤防ニ沿ウテ幼蟲ノ多數ヲ西側ノ二個所ニ發見セルモ、東側ニハ全ク認メス、此ノ事實ハ常ニ絶エサル東南風ノ爲ナリ、西南ノ大颶風アリタル後ニハ西側ニ全ク發見セラレサリキ、此ノ川岸ハ峻シクシテ草ハ水中ニ垂下シソノ上ニ浮漂物ノ可成多量ヲ附着セリ

此ノ川ノ堤ハソノ後方ナル平地ヨリモ非常ニ高クシテ、堤ノ最上部ヨリ上流二哩半乃至三哩ヲ距テタル處ニハ大ナル淺キ水流アリテ堤ノ後方ヲ流ル、或ル處ハ土地隆起シ、他ノ處ハ小川又ハ支流トナリテ河ニ注ク、是等ノ場所ニテ幼蟲ノ發生ヲ見サルハ奇ト云フヘシ、偶々幼蟲ヲ香蒲屬(*Sagittaria*)ノ中又ハ屑片ノ集合セル小川ノ川口ニテ發見シタルモ此ノ廣濶ナル沼地ニ發生スルヲ見サリキ、發見セル幼蟲ハ柳鱗ト共ニアリ、川口ニ於テハ多數ノ發生ヲ見ス(吾々ハ堤ヨリ、又獨木舟ヨリ水ヲ掬ヒテ試験セリ)

カンノンス川ノ川口ノ南方約一哩半ノ處ヨリ草原アリテ、枯レテ落葉シツ、アル若木ハ半浸水セリ、此ノ原ヨリ小川ノ上流ニ寄レル半哩ノ處ニ落葉ノ浮漂物ハ多數ノ幼蟲ヲ保護セリ、幼蟲ハ此ノ點ヨリ川ニ沿ウテ流水ニ至ル迄發見スルコトヲ得タリ。流水、泥地、小沼及ソノ附近ナル石ヲ堀リタル穴ノ中ニハアノフエレスハ多數ニ發生セリ、アノフエレスノ多數ハ流水ニ依リテ流下セラル、モ深水部ニアリテハ多年ノ間流水ニヨリ流下セラレス、我々ノ發見セル場所ニ非サル處ニテ幼蟲孵化セラレルコトハ明ナリ

此ノ小川ノ川口ノ堤上ニハ全然發見セス(堤ヨリ三百乃至四百碼以上離レタル所ヲモ云フ)又注入セル河ノ下方一哩四分一乃至一哩二分一ノ處ニモ發見セス、七月二十八、九日及八月十三日ノ二回此地ヲ訪問シ

タルカ發生セサルコトハ同様ナリキ

然レトモ幾多ノ小川ヲモ試験セルカヘラース川ノ川口ヲ除キテハ何レノ川口ニモ發生セス、テリブル川ノ中流ニハ少數發見セリ、又コールス川斷涯ノ背部ノ一定所ニハ多數ヲ發見シタルモ概シテ前述セル如シヘラース川ノ堤ノ背部ヲ二哩ノ上流ヨリ流ル、此ノ沼地ハ河ニ接セル香蒲屬ノ大ナル總テヲ除キテハ他ニ幼蟲ヲ發生セス、柳鱗ハ多シ、然レトモ川口ノ南側約半哩ノ處ニハ微細ナル浮漂物、屑片ニハ多少ノ蚊ノ發生ヲ見タルカ、樹林、丸木等或ハ揚ケタル許リノ葉ノ浮漂物ニハ更ニ尠シ、淺キ堤ハ掃蕩セラレテ蚊ヲ發生セス、發生セシトスルモ注意スルニ足ラサル程尠ナリ、ヘラース川口ニハ柳鱗多ク、ガンゾジアニハ非常ニ多シ、此ノ蚊ノ發生ハ二地ヲ蔽ヒ、一ハ約三百碼ノ長サノ地ニシテ一ハ二百碼以上更ニ長キ燒野ニシテ、夫故蚊ノ發生ハ合計シテ大ナルモノニ達ス、コハ浸水セル林中ニアリ

藁吾屬 (Sivodent genus)

ヘラース川口ノ上部及ビ此川ノ北部ニハ幼蟲ヲ發見スルコト尠シ、然シ橋ノ上部ノ一入江ニハ水草ノ叢アリテ其處ニハ蚊ノ幼蟲ヲ多數發生セルヲ見タリ、ソノ幼蟲ハ「Aクオードリマクエレータス」ヲ包含スル三種類ナリ、此ノ水草ハ二分ノ一エーカー以上ノ大ナル面積ヲ蔽フ、葉ハ宛モ青色ノ光輝アル芝草ニ似テ水面

ニ平ク成長セリ、此草ハ水中四尺乃至八尺ノ長サニ成長シ水面ハ見エス。魚ハ綠ニ居リ葉塊ノ中ニモ居リシカ多カラス。其草ハ繁茂セル中ニハ入ルコト能ハサルハ明ナリ、「アノフエレス」ノ發生ハ餘リ多カラス他ノ種ハ極メテ多數發生セリ。アノフエレスハ葉ノ餘リ厚ク成長セサル處ニ最モ多數ヲ見タリ。他ノ種ニ至リテハ何レニテモ發見セリ。成長シタル「アノフエレス」ハ「Aクオードリマクエレータス」ナリ。捕ヘタル蛹ハ「アノフエレス」ヲ除キテ他ハ全部死セリ。最近ニホワード博士ハ彼ニ送リシ標本ヲ「ウラノタエニア」、「サファイリナス」及「キユレツクス」ノ種ナラント報告セリ。此ノ池ハ出來シテヨリ十四ヶ月ヲ經過セルニ過キサリヲ以テ草ノ急激ノ成長ヲシタルナリ。余ハチョーチア州コランパスノ湖ニテ見タリ、草ハソノ湖ノ全表面ノ凡六「エーカー」乃至八「エーカー」ヲ蔽ヘリ。此ノ草ハ蚊ヲ増殖スヘキ大ナル害ヲ與フルコトヲ得。池ニハ下流ニ二個ノ草叢アリテ一ハ河ノ他ノ側ノ上流約三哩ノ處ナル「ドーキンス」ニ近キ邊ニテ見ラレシモノナリ。此ノ草ハ工業局ノヒツチコック博士ノ「ハイドルクロア」、「カロリネンシス」ナリトセラレタルモノト一致セリ、地方ニヨリテハ藁吾トシテ知ラル、モノナルカ極メテ尠シ。此ノ草ハ見タルコトアル近村ノ唯一ノ一人ニ偶然遭フコトヲ得テ尋ネタルニ此ノ草ハ養魚池ヲ絶滅セリト語レリ。此ノ草ハ蚊ノ發生ヲ益々助長セシム吾々ハ二週間ニ一回此處ニ來ル毎ニ此ノ草及他ノ三種ノ草ヲ驅除シ、ソノ他發見スル總テノ草ヲ驅除セシメタリ。三種ノ小ナル草ハ一回ニテ根絶セルモ大ナルハ然ラス。(一)特殊ナル水草ノ重要ナル問題トナリシハ最初ナリシコト。(二)此ノ草ハ特ニ重要ナルモノニテ一度繁茂スル時ハ根絶スルコト困難ナリ。以上ノ埋



由ニ依リ此ノ草ニ就キテハ詳細ニ觀察セリ。他ノ年月ヲ經過セル池ニ於テモ水草ハ極メテ考察スヘキモノナルコトヲ見聞セルガ、如斯害草ヲ見タルコトナシ

### 池中ノ釣床

我々ハカンノ川ノ川口ノ入江ト斷涯トノ間ニハ幼蟲保護ニ必要ナルモノヲ認メス。「バルシヨールス」ニ於ケル釣床及浮島ニサヘ發見セサリシハ奇トスヘシ。事實ハ我々ノ到着スル前ニソノ釣床ハ引揚ケアリタリ然レトモアルモノハ近クニアリ、アルモノハ其儘ナリキ。一部ハ可成ニ發生セシメタルモノ十ノ九ハ發生セス。スチーブニス川ニ於テハ極メテ僅少ノ發生ヲ見タルモ一般ニ大ナル釣床ニハ發生セス。新シキ浮漂物カ附着セル處ニハ幼蟲ヲ含有シ、時トシテハ多數ヲ含メリ

スチーブニス川ニ到着シタル時ハ溢水ノ時ニシテ浮漂物ノ多ク流動スルヲ見タリ。之ハ之等カ釣床ノアル「バルシヨールス」ノ池ノ中央ニハ普通見ラレサルモノナリ。釣床ニアル幼蟲ハ形狀種々ナルモノ多數アリ。時トシテハ幼蟲ノ流込ム能ハサル即チ釣床ノ内部ノ場所ニモ發見セリ、之ハ其處ニ蓄積セル卵ヨリ孵化セルモノナリ。釣床ノ周圍ニ柳鱗ノ多數浮遊セルハ普通ノ事ナリ。釣床中ノ幼蟲ハ水中約二十呎乃至二十五呎ノ深サニアルヲ見タリ

### 池中ニ於ケル幼虫ノ運動

スチーブニス川ノ溢水ハ流下セル屑片及浮漂物ニ運動ヲ起サシメ、ソノ當時サバンナー河ノ水ハ涸乾セルカ浮漂物ヲ留メテ風ノ爲ニ打チ揚ケタリ。最初ニハ微細ナル屑片及小ナル伐枝ヲ散在セシメ二三日ニシテ夫等ハ相集マリ、更ニ堤ニ流寄り或ハ水中ノ障礙物ニ附着セリ。此ノ浮漂物ハアノフエレス幼蟲ヲ多數ニ運搬セリ。幼蟲ハ此ノ池ヲ過リテ上下セリ。最初ニハ幼蟲ノ形狀ハ種々ナリ。而シテ蛹ハ全然ナシ。ソノ週ノ終ニハ極小ナル蛹カ顯ハレタリ。幼蟲ハ殆ント成熟シテ蛹ヲ現出セルナリ。蛹ハ浮漂物ノ上ヨリモ寧ろ靜所ニ多クハ發見セリ。充分成熟シタル幼蟲ハ單ニ浮漂物ニ宿ラスシテ彼等ハ水中ニ行クヘキ場所ヲ充分選擇スル驚クヘキ能力ヲ有セリ。グリフイツツ氏ハ成育セル「アノフエレス」幼蟲ヲヘラーズ河口ノ水中ニ投シ數碼ヲ距テテ獨木舟ニテ之ニ從ヘリ。幼蟲ハ樹皮ノ小片ニ行ケリ。樹皮ハソノ重ミニテ靜ニ沈ム故ニ幼蟲ハ直線ニ約二十呎ヲ行キテ葉ニ止レリ。是處ヲモ任意ニ去リテ前ノ進路ニ角ヲ作リテ約十五呎ヲ行キテ他ノ葉片ニ留レリ。此ノ葉片モ水ニ沈メリ斯クスルコト數回ナリキ。幼蟲ハ二十分間ニ出發點ヨリ少クトモ九十呎ヨリ百二十呎ニ近キ進路ヲ取レリ。屢々我々ハ幼蟲ノ附着セル浮漂物ヲトリテ幼蟲ヲ浮漂物ヨリ離サントシテ、ソヲ水中ニ入レタリ。幼蟲ハ數呎乃至數碼ヲサヘ游キテ他ノ浮漂物ニ附着ス、屢々彼等ハ傍ヲ過キル處ノ屑片ヲ選擇スルコトヲ示セリ。彼等ハ自己ノ附着セル屑片ニ全然依賴セスシテ處ヲ代フ。水ニ波

動アル時ハ層片ニ靜止シ遂フニ非サレハ他ニ去ラス  
スチーブンス川ノ池ノ多クノ部分ニ於テソノ發生ハ多數ナリ。大ナル池ニテ見タル中、最大ナル繁殖ナリ  
キ。只ニ異トスヘキハ此ノ池ノ上部ト下部ノ廣キ場所ニハ幼蟲ノ發生ハ稀ナリシコトナリ。多分之ハ吾々  
ノ行ケル時ト溢水ヲ同シウシ總テノ浮漂物ヲ上部ヨリ流下シ或ハ打揚ケ而シテ幼蟲ヲ附着セル浮漂物ヲ伴  
ヒ去リタルモノナラン

柳鱗ハ此ノ池ニハ少ナシ。綿花ノ原ナリシ處ノ淺瀬ニハ柳鱗ノ居ルモノ認メタルモ二日後ニ行キタル時ハ  
更ニ認メサリキ。原ノ畦ノ間ナル場所ニハ多數游泳セリ。此所ハ我々カ幼蟲ノ發生ヲ見タル唯一ノ淺瀬ナ  
リ。腐蝕セル草ノナキ場所ハ若干アリタルモ、幼蟲ハソノ無キ場所ニモ極メテ多數ニ發生セリ

柳ノ木ハ「バルシヨールス」ノ池ニハ多ク生シ一部ハ浸水シテ丁度水面ノ邊ニ多クノ細根ヲ發生セリ。斯カ  
ル場所ハ幼蟲ノ最良キ保護所ナルモ幼蟲ハソノ中ニ發生スルコト尠ク、浮漂物ヲソノ根ニ附着スルモ尙  
幼蟲ヲ發見セス。クイーザ川ノ池ニモ柳ヲ生シテ白キ纖維ノ空虚アル根總ヲ水中ニ夥シク發生セルカ幼蟲ヲ  
發見セサリキ

バルシヨールスニ於ケル觀察ハ特ニ録スヘキ價值アルヘキモ吾人ハ只ソノ説明ヲ與フルコトヲ得ス。八月  
十二日夕、増水アリテ、池ノ下流ニ於テ十乃至十二吋ヲ増セリ。浮漂物多シ、河ノ上流ニ向ヒ稍右側ニ向  
ヘル可成リノ強風アリ。此ノ風ハ水中深キ大ナル伐枝ヲ動カスニハ足ヲサリシモ輕キ流動物ヲ上流ニ吹上

ケタリ。八月十三日ノ午後ニ至リテ水上ニ宛モ薄膜ノ如キ細微ノ浮漂物ヲ作レリ。其處ニハ中流ヲ除キテ  
小ナル流アリ。十四日ニハ七十五呎乃至百五十呎ニ渡ル細微ナル浮漂物ノ群ヲカンノン川口ノ上部ナル靜  
水中ニ認メタリ。此處ニハ孵化セラレテヨリ二日乃至二日半以上ヲ經過セサル幼蟲ノ子ヲ多數發見セリ。  
此ノ孵化ハ十三日發見セル薄膜ノ浮漂物ヨリ孵化セルモノナルカ、或ハ既ニ孵化セルモノカ流動シ來リタ  
ルモノナルカハ疑問ナリ。幼蟲ハ殆ント全部ハ一歳ニシテ孵化シテヨリ多クヲ經過セス。浮漂物ハ古キ河床  
ノ約三十呎ノ深サナル深水中ヨリ出テタルモノニシテ中流ヨリニハ非ス。浮漂物カ單ニ川ノ増水ニ依リテ  
幼蟲ノ既ニ居レル場所ヨリ増水ニ依リテ放タレタルモノナラハ、スチーブンス川ニ於テ見タル如クソノ幼  
蟲ハ孵化シテヨリノ時日ヲ異ニスヘキナリ。凡テ幼蟲ノ年齢同一ナルノ事實ハ卵カ流ノ中ニ産シ微細ナル  
浮漂物ノ膜カ流動セラレシ時同時ニソノ卵ヨリ孵化セシモノナルコトヲ示スモノナリ。翌朝我々ハ出立セ  
ルヲ以テ此ノ幼蟲ノ進路ヲ見ルコト能ハサリシカ此ノ浮漂物ハ多クハ自然ニ岸ニ向フモノナリ

「アノフエレス」種——ソノ選擇スル保護地

池中ニ於ケル幼蟲ハ「A」クオードリマクエレータス「カ」大部分ヲ占ムルコトヲ確知シタリ。「バルシヨール  
ス」ニテ最初測定セル記録ハ「A」クオードリマクエレータス「二四九」、「A」バンクチベニス「四二」ヲ示シ、スチー  
ブンス川ノ測定ハ「バンクチベニス」稍多カリシモ之ト同比例ヲ示セリ。流水及ソレニ接近セル濕池沼地ニ  
ハ幼蟲ヲ多數發生セルモ、最近クイーザ川ニテ爲セル如キ大ナル採集ハセサリキ。之等ノ地ヨリノ記録ハ「A

クオードリマクユレータス」二、「Aバンクチベニス」二八〇ニシテ偶然ニ發見セル「Aクオードリマクユレータス」ノ一汚點ノ如キモノニシテ全然無シト云フモ可ナリ。スチーブンス川ノ支流ハ流却セラレタルヲ以テ試験セス、此ノ支流ニテ採集セシモノハ只八個ニ過キスシテ彼等ハ皆「Aバンクチベニス」ナリキ。バルシヨールス、スチーブンスノ二個所ニ於テハ「Aクルシアン」ハ發見セス。此處ヨリ約四十哩ヲ距テタル「ハーツグイル」ノ町ノ周圍ニハ「Aクルシアン」ハ多數發見セリ。

(Charwell)

吾人ニ印象ヲ與ヘタルハ此ノ池ニ於テ「Aクオードリマクユレータス」ヲ發見シタルノミナラス人々ノ豫期セル附近ノ池ニハ「Aクオードリマクユレータス」ヲ發見セサル一事ナリ。此處ハ全ク一平野ニシテ小ナル濕地、草中ノ清水ノ小沼溝蚯蚓穴等多數アリテ我々ハ幼蟲ヲ發見スヘシト豫期セリ。然ルニ二十哩ヲ隔テタル「フオークレーア」ニ於テ發見セリ。之ト同様ナル状態ハ「クレーア」ニ於テ發見セル時ト同シク、「Aクオードリマクユレータス」ヲ發見セル場所ニ於テ行ヒタル試験ハ完全ナルモノナリシモ、池ヨリ五六哩ヲ隔テタル「シエルベ」ノ屋内ニ多數ノ「Aクオードリマクユレータス」ヲ發見セリ而シテ一哩四分ノ三又ハ二哩半ヲ隔テタル他ノ屋内ニモ發見シタル事實ハ此ノ地方ニ於テ「Aクオードリマクユレータス」ノ繁殖スルコトヲ指示スルモノナリ

「Aクオードリマクユレータス」ノ繁殖スルコトヲ指示スルモノナリ  
ブラックワリーア川畔第十七ノ池ニ於ケル試験ト範圍大ナラサレトモ之ト同様ノ結果ヲ示セリ。ソノ池ハ宛モ「Aクオードリマクユレータス」ノ最モ好ク選擇スル保護地ノ如シ。故ニ池カ此種ノ發生ヲ助長スルモ

ノトセハ此ノ以外ノ地ニハ發生セサルヘシ。此ノ池ノ出來スル迄ニ發生セル地ハ懸テ發生セサルヘキ理ナリ。若シ之カ眞ナリトセハ「Aクオードリマクユレータス」ノ發生スル地方ノ池ノ影響ヲ決定センニハ、池ヨリ發生セル數ヨリ池以外ニテ發生セル數ヲ控除セサルヘカラス

屢々此ノ假定ハ觀察セル事實ヲ説明セリ。夫故之ハ正當ノ控除ナリ。此ノ問題ヲ解決セン爲ニハ池ノ形成セラル、前ノ大ナル池ニヨリテ占メラル、地域ト、並ニ池ヲ形成セル後トヲ測定セサルヘカラス。若シ斯クシテ選定セラレシ地點カ「Aクオードリマクユレータス」ヲヨク發生スル地方ナラハ此ノ問題ハ解決セラ

ルヘキナリ。若シモ池カ形成セラレテヨリ即チ翌年ニ至リテ此ノ二種ノ發生ニ異リタル状態ヲ現出シ、此ノ

場所ニ見タルコト、クレーア河ノ池ニ於テ見タルコト、同一ナリトセハ肯定的ニ決定セルモノナリ。池ノ影響ヲ蒙ラサル地方ニ於テ其ノ地方ノ「Aクオードリマクユレータス」ノ發生ヲ測定スル試験ハ亦此ノ問題ニ對シテ光明ヲ與フルモノナリ。フオークレーア及セエルベニ於ケル觀察ハ此ノ目的ノ爲メセラレタルモノニ非サルモ此ノ規矩ニ當儀レリ。クレーア河ニ入ルセダー川ノ浮漂物ニ「Aクオードリマクユレータス」ノ僅カニ現出シタルハ、遙カニ隔タリタル沼或ハ小ナル濕池ヨリ流下セラレタルモノナルコトヲ示ス。此ノセダー川ハ大ナル堤アリテ非常ニ廣ク且ツ長キ川ナレハ斯ノ事實ハ有リ得ヘシ。

「エーデスカロプス」ハ適當ナル保護地ヲ能ク選擇スルコトハ人ノ知ル處ナリ。人工ノ下水等ヨリ出テ、葉液ヲトリ他ノ遠隔ノ地ニ行ク。假リノ保護地ナルバケツヨリ出テ、卵ヲハ此ノ不適當ナルバケツニ殘シテ他

ノ場所ヲ獨占スヘク脱出ス。コハ「Aクオードリマクユレータス」モ亦同一ナル適應性ヲ示セルコト、相一致ス。  
 (「北部中部アメリカ及西印度ニ於ケル蚊」二百二十一頁參照)

### 家内ノ「アノフェレス」

屋内ニ於テハ既ニ「アラバマ」州ニ於テ決定セルト同シク「Aクオードリマクユレータス」ハ「Aバンクチベニス」ニ比較シテ遙ニ多數ナル事實ヲ視タリ。サレドモ「アラバマ」州ニ於テ行ヒシ如キ數量ノ資料ヲ測定セザリキ。

チートマン氏ノ報告ヲ示サンニ。スチーブンス川ヨリ約半哩「Aバンクチベニス」ヲ發生スル流水ヨリ百碼ヲ隔テタル地ニ於テ寢室ノ蚊ヲ取りタル處、「Aクオードリマクユレータス」ハ六八、「Aバンクチベニス」ハ零、二回目ハ同シ室ニ於テ三〇ノ「Aクオードリマクユレータス」ヲ取レルモ「Aバンクチベニス」ハ無シト。メーヤー氏ノ報告ハバルシヨールスヨリ約四分ノ一哩ノ地ニテ當時池及入江ニハ多數ヲ發生シツ、アリシモ家ヲ閉鎖シテ多數ノ「Aクオードリマクユレータス」ヲ軒下ニ採レリ。其場所ニハ「Aバンクチベニス」ヲ多數發生スル地ニ接近セルニモ拘ハラズ、屋内ニテハ「Aバンクチベニス」ヲ見スト。家内ニ於ケル「Aバンクチベニス」ノ稀少ナルコトハ夏期ヲ通シテ何處ノ試験ニモ觀察セラレタリ。

「Aクオードリマクユレータス」ノ飛翔スル距離。「Aクオードリマクユレータス」ノ飛翔スル距離ハ此ノ測定ノ間ニ觀察セリ。未タ發表スルニハ充分ナラサルモ次テ行ハルヘシ。此等ノ池ノ附近ニ見ル處ノ發生ノ場所ハ「Aアノフェレス」ノ「Aクオードリマクユレータス」ノ飛翔スル距離ヲ決定スル爲ニハ絶好ノ地ナリキ。若シモ此ノ種カ池中ニノミ發生シテ附近ニ於ケル他ノ適當ノ場所ニ避クルナラハ我々ノ考フル如ク「Aクオードリマクユレータス」ノ發生スル池ノ附近或ハ屋内迄ノ非常ニ慎重ナル探索ハ不必要ナルモノナリ。チートマン氏ノ報告ノ如ク多數ヲ發見スルニ於テハ殊ニ然リ。蚊カ産卵スル爲メニ最初ノ血ノ食物ヲ得ントシテ飛翔スル距離ハ次ニ「マラリア」ヲ傳達スル爲メノ飛翔ヨリモ大ナルコトハ何人モ能ク想像スルコトヲ得。何トナレハ多クノ昆蟲ニ於テ自己ノ種ヲ持續セントスル衝動ハ食ヲ得トスル如何ナル慾望ヨリモ遙ニ大ナルモノナレハナリ

ルプリンズ氏ハ「マラリア」ノ増殖セサルカタメニ於テ蚊ノ大ナル飛翔ヲ觀察セリ。「Aターシマクユラタ」蚊ハソノ發生地ヨリ大距離ヲ飛翔シテ血ヲ充分供給スヘキ「ガタン」村ノ最モ近キ場所ニ來レリ。彼等ハ明近キ發生地ニ歸リテ産卵シ再ヒ來ラス、彼等ハ人ニ傳染スヘク成リテヨリソノ村ニ來ル數ハ確ニ多カラズ。ニモ最約十一日間バナマニ於テ彼等ハ食ヲ取りタル後「マラリヤ」ハ非常ニ増加セルヘシト思ヒシニ此ノ飛翔ノ間ヲ通シテ數週間ノ後ニモ「マラリヤ」ノ率ハ四分ノ三%以上ノ變化ヲ與ヘザリキ。「ミラフロアス」  
 (Miraflores)

ノ飛翔モ同一ノ状態ヲ示セリ

信憑スルニ足ルヘキ吾人ニ教フル證左ハ「Aクオードリマクユレータス」種ノ最大飛翔ハ尠クトモ増殖力大

ニシテ血ヲ供給スル場所カ近クニ非サル時ハ人々ノ想像スルヨリモ遙ニ大ナリ。「アノフエレス」ノ他ノ異種ノ飛翔ニ關シテハ別ニ考慮セサルヘカラス。彼等ハ多クノ性質ニ於テ異レル故ニ異レル種ハ飛翔ニ於テモ異ラスト云フハ證左ナキ假説ナリ。飛翔ノ最大距離ノ問題ハ吾人ノ目下ノ問題ナルノミナラス、マラリヤニ影響スル凡テノ蚊ニ非サルモノニモ極メテ重要ナル問題ナリ。

### 推言

詳細ナル推言ハ記述シ又ハ口述ヲ以テ「マラリヤ」ニ關スル最モ良キ衛生法ヲ兩池ノ支配人ニ致セリ。之等ノ或者ハ我々ノ出立スル前ニバルノ池ニ施行セラレタリ。

(譯文)一九一七年一月「ニュージャージー州」州衛生省出版公衆衛生新報結核號中掲載記事

### ○ニュージャージー州ニ於ケル結核ニ關スル問題

教育及出版局長 ミラード、ノールトン講演  
醫學博士

本文ハ一九一六年十二月五日ヨリ七日ニ至ル間「ニューアーク」ニ開催セラレタル「ニュージャージー」聯合結核協議會ニ於テ會長ノ講述シタルモノナリ

余ハ今本會ノ爲メ此所ニ集合セラレタル委員及來賓諸賢ニ代リ當「ニューアーク」市長並市會議長ノ温情アル歡迎ニ對シ深く感謝ノ意ヲ表ス、吾等ハ大ナル抱負ヲ以テ此所ニ集マリタルモノニシテ吾等相互ノ意見ノ交換ト熟慮攻究ノ結果トハ吾等ヲ援ケテ以テ此ノ最モ錯雜難澁ナル結核問題ノ解決ニ資スル所尠少ナラサルヲ希フモノナリ本州都市ノ内最大ナル當市ヲ撰ンテ此所ニ本協議會ヲ開催セラレタルハ之レ誠ニ其當ヲ得タルモノト云フヘシ想フニ此地人口甚タ稠密ニシテ從ツテ結核ニ關スル有ユル問題ニ遭遇シ益々痛切ニ之カ撲滅ノ必要ヲ感スルナリ

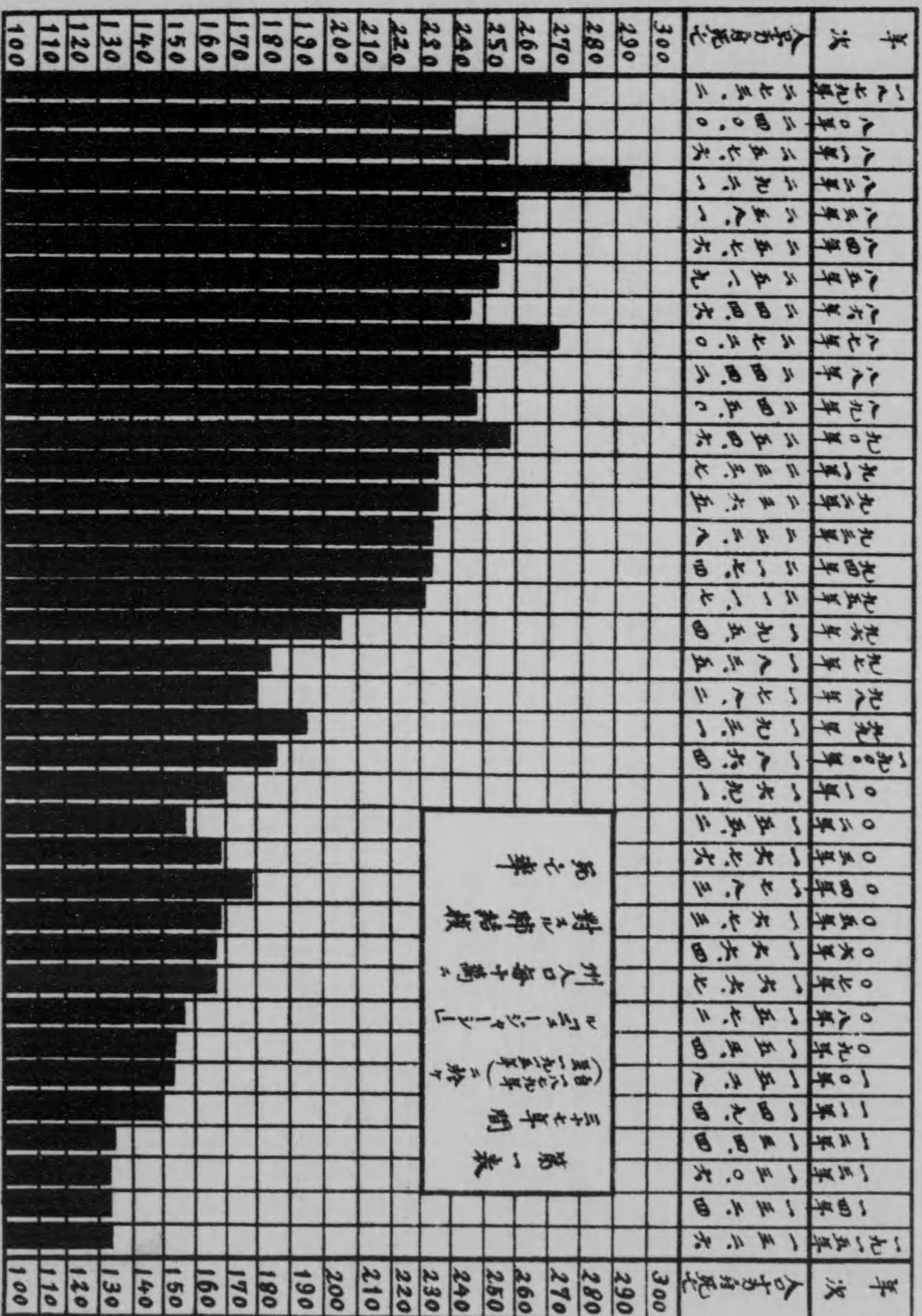
又此所ニ於テハ近時結核豫防ノ作戰ニ一革新ヲ施セリ、即チ有志團體ノ努力ニ刺戟セラレ一般公衆ノ進歩セル意見ニ支持セラレ最近當市衛生局ハ結核部ヲ新設シ以テ該病ニ對スル官設活動部ノ一組織ヲ成セリ、余ハ「ニュージャージー」州首都衛生局ト全市民トノ爲メ此進歩發展ヲ衷心ヨリ祝賀ス抑々結核ノコトタル

社會的公共問題ニシテ之カ根絶ハ其責一ニ懸テ公共團體ノ雙肩ニアルモノナレハ本協議會ノ事蹟ヲ以テ公共團體ノ責任ノ存スル所ヲ明ニシ州中至ル所結核豫防措置ニ關シ其活動ヲシテ一層有力ナラシメ之カ遺憾ナキヲ保スヘキ官設機關ノ現出セラレンコトヲ望ム

此國政府ノ政黨組織ニヨリ公ノ官吏ハ孰レカ各々政黨員ニ舉ケラル、ヲ常トシ其ノ公務ノ遂行ニ當リテハ彼等ハ黨派的或ハ半黨派的或ハ全く非黨派的ノ問題ニ遭遇スルモノナルカ余等ノ此所ニ今夕商議セントスル問題ハ全く非黨派的ノ問題ナリ蓋シ結核菌ノ働キハ黨派ニ關係スルカ如キ性質ノモノニ非ラサルハ明白ナルヘシ問題ハ人道的經濟的ノ兩方面ヲ兼ス即チ人道トハ公共團體ニ於ケル莫大ナル人材ノ損失ヲ云ヒ延テ之カ公共團體ノ驚クヘキ經濟的損失トナルナリ

先ツ「ニュージャーシー」ニ於ケル結核ノ災害ニ關スル二三ノ數表ニ始マリ余カ州ニ於ケル結核ノ撲滅方法及之カ研究ノ經路ニ關シ其ノ幾分ヲ簡單ニ論セント欲ス然レトモ一言前以テ斷ラントスルモノハ此ノ問題ハ本協議會幹事ノ要求ニヨリテ之ヲ講述スルモノニシテ敢テ本問ヲ論シテ諸君ノ貴重ナル時間ヲ多大ニ消費シ會長タルノ大權ヲ擅ニスルカ如キハ余ノ好マサル所ナリ

報セラル、所ニ依レハ自一八七九年至一九一五年三十七年間「ニュージャーシー」ニ於ケル肺結核死亡數ハ一二七、四六五名ナリ而シテ此期間中最後ノ十五年間ニ於テ肺結核以外ノ結核カ死亡トナレルモノ七、一二七名ナリトス、一九〇一年以前ニ於ケル死亡記録中ニ在リテハ肺結核以外ノ結核死亡統計ハ別ニ明瞭ニ



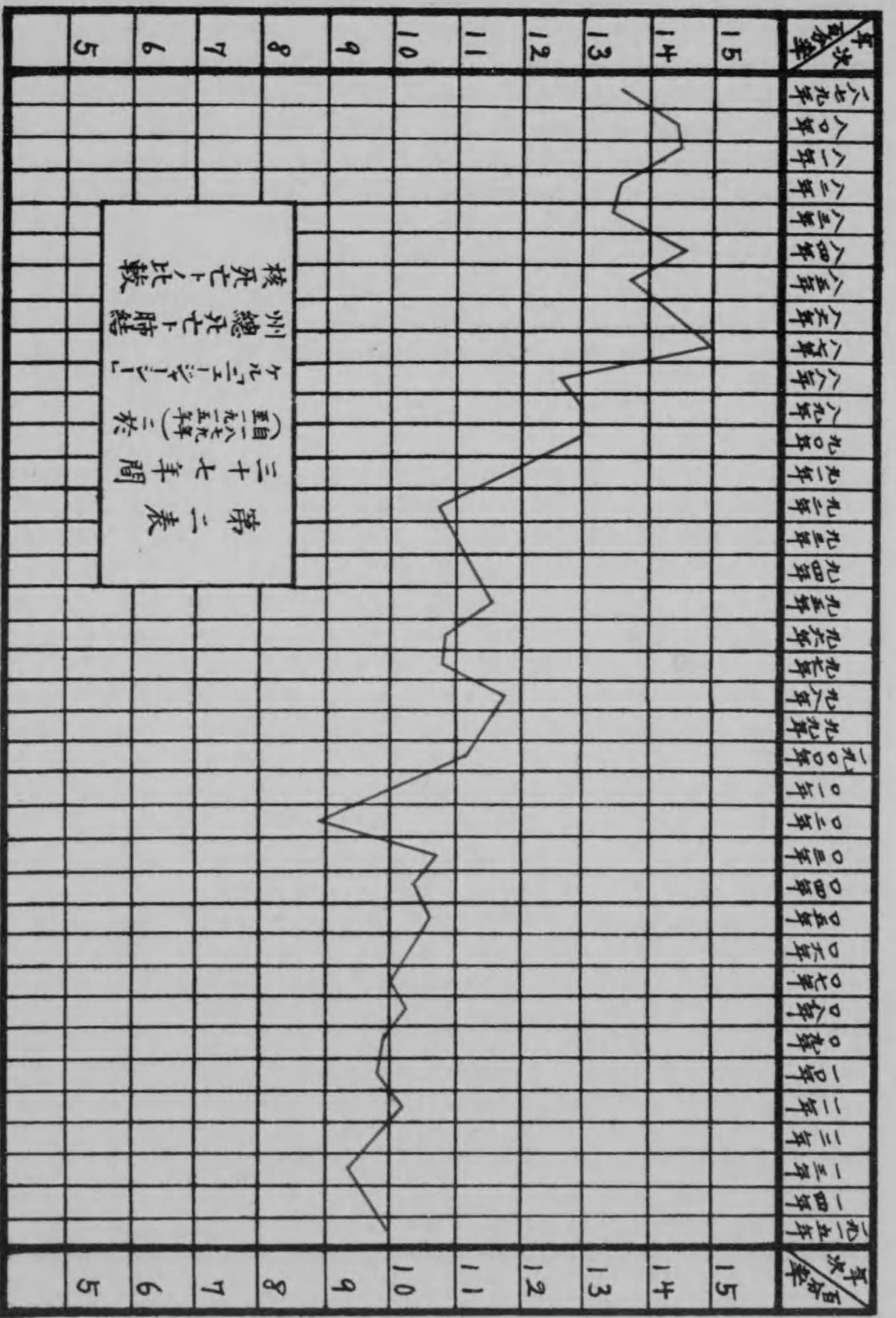
## 備考

各都市ニ於ケル人口増加ノ結果住家ノ稠密並住居ノ非衛生的ナルコト或ハ現時生産工業ノ發達ニ伴ヒ執務上不健康ナル状態ニ在ルニ係ラス過去三十七年間ニ於テ「ニュージャージー」肺結核死亡率ハ半減セラレタリ、右期間ヲ三分スルニ第一期ニ於テハ其ノ率ニ變化アリタレトモ事實上減退ナク、死亡率ノ大ニ退下シタルハ第二期ニ屬ス、實際此ノ期間ノ減退ハ第三期ニ於ケルモノ、殆ント二倍ナリキ今後非常ナル努力ヲ以テ之カ抑壓ヲ計ルニ非サレハ過去ニ於ケルカ如キ死亡率ノ減退ヲ見ルコトナカルヘシ、蓋シ減退セラレタル流行ノ内ニ更ニ死亡率ノ退下ヲ成サントスルハ愈困難ノ事ニシテ將來三十七年間ニ現時ノ死亡率ヲ半減セシムルヲ得ハ以テ大ニ誇ト爲スニ足ル

數表セラレス然レトモ肺結核以外ノ結核死亡ハ一九〇一年以前モ以後ト同様ノ率ヲ有スルモノト假定スレハ自一八七九年至一九〇〇年間此種ノ結核ニ依ル死亡數ハ九、六四七名ニシテ前後通計一六、七七四名ノ死因ヲナシタルモノト算セラル、此ノ如クナルヲ以テ「ニュージャージー」ニ於ケル此三十七年間ノ各種結核ニ因スル死亡總計ハ一四四、二二九名トナルナリ、實ニ此ノ總數ハ「バターソン」ノ人口ト「アスパリーバーク」ト同大ノ二都市ニ於ケル人口トヲ合シタルモノニ相當ス、若シ又他ノ例ヲ以テスレハ「モンクトレア」ト「グレンリツヂ」ト「ブルームフィールド」及「ワレンデス」全部ノ人口ヲ合シタルモノヨリモ更ニ大ナリ此等肺結核死亡者平均年齢ト推定在世年齢トヲ比較シテ算出シタル損失ハ實ニ四、二五〇、〇〇〇年余ニシテ又之ヲ金錢ニ換算スル時ハ更ニ一層驚嘆スヘキモノアリ、近ク四五年前「フレデリック、エル、ホッフマン」氏ハ甚タ落膽ノ色ヲ浮ヘテ余ニ其ノ推算額ヲ示セリ即チ結核死亡者一名ニ對スル其政區ノ經濟的損失ハ三千弗ニ相當ス蓋シ結核死亡者ハ年齢ニ於テ平均約三十年ヲ損失スルモノト推測セラレ少クトモ一人一ケ年ノ生存ハ其ノ政區ニトリテ百弗ノ値アルモノトセラル、數多ノ材料ヲ蒐集シ精細ニ計算スル時ハ右死亡ニ依ル損失ハ實ニ叙上數字ノ三倍ニ近シト云ヘル統計家サヘモアルナリ、今假ニ死亡一名ニ依ル損失ヲ三千弗トスルモ一九一五年中各種結核死亡數四、三七七名ハ「ニュージャージー」州ニトリテ經濟上純損失一千三百十三萬一千弗ニ當リ其ノ金額ハ該年度中州政廳ノ各局部ヲ維持スル爲ニ支出セラレタル經費ヨリモ猶多額ナリ商家ニシテ其事業ノ全經費ヨリモ更ニ大ナル損失ノ而カモ避ケ得ラルヘキヲ其ノ儘ニ默

許スル時如何ニシテ能ク其資力ヲ持續シ得ヘキヤ、過去三十七年ヲ通シ「ニュージャージー」ニ於ケル各種結核死亡數一四四二三九名ハ假ニ死亡一名ニ對スル損失ヲ三千弗トスルモ此州全損失ハ四億三千二百七十一萬七千弗トナルナリ豈克ク我等默シテ其ノ損失ヲ繼續スルニ忍ヒンヤ、今一步ヲ轉シテ稍々樂觀的ノ觀察ヲナスニ肺結核死亡率ハ一八七九年ニ於テ人口十萬ニ對スル死亡二七三ナリ之カ一八八二年ニ在リテハ二九二ニ減退セリ此ノ如クナルヲ以テ肺結核死亡率ハ過去三十七年間ニ於テ半數強トナルヲ知ルヘシ此期間内「ニュージャージー」ニテハ公衆衛生作業組織ヲ構成シタリ、一八七八年州衛生局ノ設置セラレタル當時ニ在リテハ本州中地方衛生局ノ數至テ僅少ナリシカ現下既ニ其數約五百ニ達セリ

此期間ニ於テ一般死亡率モ非常ニ減退シタレトモ殊ニ結核死亡率ニ至リテハ一層急速ノ減退ヲナセリ、此期間ノ初期ニハ州一般死亡總數ニ對スル肺結核死亡數ハ一三%乃至一四%ナリシカ一八八七年中一五%ニ上リ最近數年間ハ一〇%以下トナレリサレトモ若シ肺結核以外ノ結核ヲモ合算スレハ其ノ率ハ多少高上スヘシ州中人口稠密ナル地方ト州全體トハ結核死亡率減退ニ於テ各々相異アルハ特ニ興味アルコトナリ前述ノ如ク州全體ノ肺結核死亡率カ最近十一年間ニ於テ約三・五ヲ減シタル間ニ「ハドソン」政區ニテハ約四・〇エシツクス政區ニテハ約五・〇ヲ減セリ「ハドソン」及「エシツクス」兩政區ハ各々現ニ州ヨリモ高率ヲ有スレトモ若シ其ノ率ニシテ此ノ如ク州ヨリモ更ニ急速ナル減退ヲナス時ハ「ハドソン」及「エシツクス」兩政區カ州全體ヨリモ肺結核死亡ノ下率ヲ有スルニ至ル僅ニ數年後ニアルヘシ、余等ノ目前ニ迫レル問題ハ此死亡





## 備考

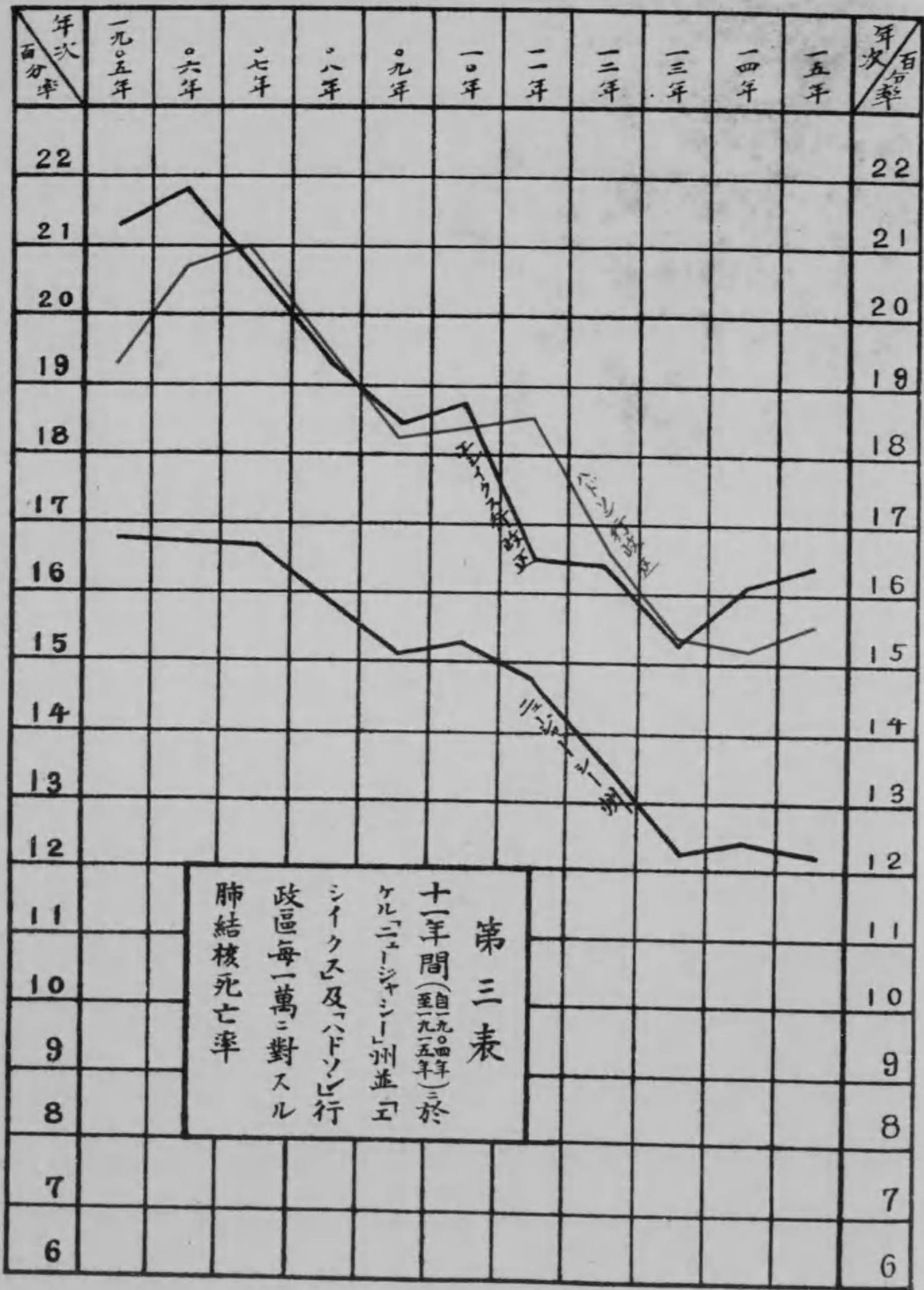
過去三十七年間ハ「ニュージャーシー」州ニ於ケル生死統計ノ據ルヘキモノアル期間ニシテ其ノ間一般死亡率ハ著シク減退シタルカ肺結核死亡率ハ更ニ一層急速ノ減退ヲ爲セリ、一時ハ肺結核 (tuberculosis of the lungs, phthisis Consumption) ハ州中一般死亡ノ一五%ナリシモ過去數年ニ於テ一〇%以下ニ下レリ、近年ハ以前ニ比シ不動ノ状態ヲ保モテルモノ、如シ

率減退ヲ愈々確實ニシ益々急速ニシ以テ遂ニ結核カ現下ノ如ク豫防シ得ラルノ疾病中ニ在リナカラ死亡ノ重大原因ヲナスコトナク遂ニ殆ント度外視セラル、ニ至ル様計ルヘキコト是ナリ、然レトモ此目的ハ一朝一夕ニ到達シ得ラルヘキモノニ非ス、前車ハ效ヲ求ムルコト餘リニ急ナリシ爲メ却ツテ障害ヲ招キタリ余等之ヲ以テ後車ノ戒トナスヘク、想フニ將來三四十年ノ間ニ於テ結核死亡率ヲ半減セシムルヲ得ハ宜敷以テ誇トナスニ足ルナリ然ラハ果シテ如何ナル方法ヲ以テスレハ結核死亡率ヲ減退セシメ得ヘキヤ、今ヲ去ル八年前華盛頓ニ開催セラレタル萬國聯合結核會議ニ於テ「アーキー、ニューズホルム」卿ハ結核ト癩トノ類似ヲ指摘シ且ツ歐洲諸國中癩患者ヲ隔離シテ該病根ヲ絶滅セシメ得タルモノアル事實ニ據リ重要ナル教訓ヲ與ヘ結核亦同様患者ノ隔離ニヨリテ顯著ニ之カ撲滅ヲナシ得ヘシト述ヘタリ聯合會議ノ主調ハ病毒傳播防止ノ方法トシテ重患者ヲ病院ニ收容スルコトノ必要ナル點ニ在リ「ニューズホルム」卿カ其論據トシタル統計ハ之ヲ歐洲ニ求メタレトモ今ヤ漸ク米國內病院ニ就テモ結核死亡率ニ關スル説明材料ヲ得ラルヘク紐育ノ如キ殊ニ然リトス近年此地ニテハ結核患者ノ爲メニ大ナル設備ヲナセリ、彼ノ「ハドソン」及「エシツクス」兩政區カ其州ヨリモ結核死亡ノ減退急激ナルハ兩政區カ州中他ノ地方ニ見ルヨリモ一層大ナル病院設備ヲ有スルニ因ルナルヘシ

病毒傳播ノ虞アル患者ヲ隔離セン爲メ病院設備ノ缺クヘカラサル所以ハ更ニ之ヲ一層力説スルノ要アリ、科學ノ素養ナキ輩カ徒ニ結核問題ヲ喋々シ一般公衆ヲシテ邪道ニ陷キラシムルハ定ニ危險ナリ廣キ世見ヨ

リスレハ結核ノ流行ハ貧困、居宅不完全、花柳病、酒精中毒、暴飲暴食、執務上ノ有害状態、其他ノ境遇或ハ體質ノ罹病シ易キコト等ニ起因スルモノニ非スシテ疾病其ノ者ノ傳染性ニ因ルモノナリ勿論病毒感染ニ關シテハ是等状態ヲ或ル程度迄重要視スヘシトスルモ之カ及ホス惡影響ヲ患者全體ニ見レハ比較的僅少ナルニ反シ傳染性ノ影響ハ患者全體ニ及フモノナリ、如何程險惡ナル状態ノ下ニ曝サル、トモ若シ結核菌ノ感染ヲ受クルニ非サレハ決シテ結核病ヲ惹起スルコトナキハ明白ノ事實ニ非スヤ吾人若シ結核ノ傳播ヲ防止セント欲セハ宜シク先ツ患者ト健康體殊ニ感染ノ危險大ナル小兒トヲ分離スヘキナリ其隔離方法中最良ナルモノハ患者ヲ病院ニ收容セシムルコトニシテ小兒ヲシテ患家ヨリ隔離スモ亦同様或ル程度迄ハ其目的ヲ達シ得ラルレトモ兒童ヲ隔離スルヨリモ患者ヲ收容セシムレハ員數ニ於テ經濟的ナルノミナラス社會政策トシテ最モ健全ナルモノナリ

最良ノ報告ニ依レハ「ニュージャーシー」ニ於テ肺結核患者ノ用ニ供スヘキ病床數ハ各病院ヲ通シテ約一・五〇〇アリ然ルニ其ノ内ニハ獄舍或ハ瘋癲病院ニ於ケル病床二〇〇餘ト州療養所ニ於ケル初期患者用病床約三〇〇トヲ含ムヲ以テ稍々重症患者使用ニ充ツヘキハ全部ヲ合スルモ僅々一、〇〇〇ニ過キサルナリ本州ニ於ケル昨年中ノ結核死亡者ハ四、三七七名ニシテ之レ結核患者用病床總數ノ殆ント三倍ナリ今若シ政區及都市病院ニ於テ重症患者ノ使用ニ供セラル、病床ノミヲ考フレハ其數ハ年死亡總數ノ四分ノ一ニモ満たサルナリ數年前紐育州ニ於ケル政區病院ノ設備ニ際シ其ノ病床數ヲ大約年死亡數ノ半數ト定メタルカ



**第三表**  
 十一年間(自一九〇四年)ニ於ケル「ニュージャーシー」州並ニシイクス及「ハドソン」政區毎一萬ニ對スル肺結核死亡率

## 備考

「ハドソン」及「エシイクス」兩行政區ハ州人口ノ約七分ノ三ヲ有ス、是等兩行政區ノ住民ハ事實上全部都市性ノモノニシテ其ノ半數以上ハ「ニューアーク」及「ジャージー」市ニ包含セラル、  
「ハドソン」及「エシイクス」ニ於ケル過去數年間肺結核死亡率ノ減退ハ洲全體ニ於ケルモノヨリ更ニ急速ニシテ殊ニ後者ニ於テ然リトス

其ノ後ノ經驗ニ依レハ其數ハ到底充分ナラス右規定ニ基キテ設置シタル政區ニ於テハ更ニ増置ノ必要ヲ來シタルモノアリ約一ヶ年前紐育州ニ於ケル結核豫防従事者ノ會合アリタル時病床數ヲ年死亡一名ニ對スル一個トスヘキコトヲ提議セラレタリ、余ハ又「ニュージャージー」ニ於テモ之ヲ採リテ其ノ標準トシテ年死亡者數ト同様ノ結核患者用病床ヲ設備セン爲メ大ニ奮勵努力セラレンコトヲ希望ス

病院ノ設備ニ關シ最モ重大ニシテ力説スルヲ要スルモノ二點アリ、第一、病院ハ患者ノ近傍ニアリテ面會等ニ便利ナルヲ要ス、何トナレハ患者ハ遠隔ノ病院ニ收容セラル、ヲ好マス、殊ニ我身カ悲劇ノ終極ニ近キツ、アルコトヲ知覺スル時家庭ヲ離レテ遠方ニ在ルヲ嫌フモノナレハナリ、當「ニュージャージー」ニ於テハ其ノ政區病院ノ規定ヲ嚴守シ患者ノ收容ハ成ル可ク患者ニ接近セル病院ヲ撰フノ方針ヲ採レルハ喜フヘキコトナリ

第二ニ力説セント欲スル所ハ病院内ノ生活ヲシテ充分誘引力アルモノタラシメ患者自ラ進ンテ入院シ満足シテ滯留スル様整フヘキコトナリ。患者全部ヲ強制的ニ隔離セハ殆ント疑無ク結核ヲシテ立處ニ抑壓セシメ得ヘケレトモ敢テ之ヲ爲シ得サルハ第一、病院設備ノ不完全、第二、米國輿論カ之ヲ許容スルヤ否、更ニ又此ノ如キ方法ニ依ルトキハ患者ノ發見ヲ困難寧ロ不能ナラシメテ本來ノ目的ヲ破壞スル故ナリ、此等有力ナル理由アルニ由リ喧シキ患者ニ對シテハ強制的隔離ハ之ヲ差控ヘサルヘカラス、隔離施行ハ先ツ患者カ病院ニ收容セラル、ヲ許諾スルニ於テ始メテ之ヲ爲シ得ルモノニシテ是等隔離ニ關スル事柄ハ大方病

院ノ經營ニ當ル者ノ責任ナリ

三四四

次ニ結核豫防上格別緊要ナルハ公衆衛生看護ナリ、傳染病豫防ニ於ケル最近公衆衛生作業ノ著シキ傾向ハ  
病毒傳播ノ可能源トナルヘキ個々ノ患者ニ益々留意スルコトニテ、今ヤ衛生當局ハ結核患者ノ處置ニ對シ  
テハ相當有資格ノ看護者ヲ缺クヘカラサルヲ知リ益々多數ノ看護者ヲ雇備セリ然レトモ公衆衛生作業ニ於  
ケル看護者ノ需要ハ遙ニ有資格ノ看護者ノ供給ヨリモ多大ニシテ從ツテ資格不充分ナル看護者カ作業ニ從  
事シ居レリ、此ノ如キ狀態ナルヲ以テ公衆衛生作業ニ從事スル看護者ノ能力ヲ益々増進シ之ヲ統一シテ組  
織的ナラシメ且ツ一定ノ標準ヲ保持スヘキ中央監督機關ノ現出ヲ必要トスルニ至レリ此ノ權能ハ紐育州ニ  
於テハ州衛生省ノ内ナル公衆衛生看護部ニ屬ス「ニージャーシー」州ニ於テモ此ノ場合は非トモ公衆衛生  
作業ニ從事スル看護者ヲ充分擴張シテ之ヲ必要トスル各家庭ニ普及セシメサルヘカラス、看護作業ニ於ケ  
ル高標準ヲ維持セン爲メニハ中央監督機關ノ設置ヲ必要トス此ノ如キ機關ノ又結核並ニ小兒衛生ニ關シ公  
衆衛生上重要ナル活動ヲ爲スモノト思料セラル

結核ノ有無ヲ試驗スル體格檢査及ヒ自宅患者ノ醫學的監督方法ニ對シテハ完全ナル設備ヲ要ス、人口稠密  
ナル地方ニ於ケル此ノ目的ノ遂行上最モ經濟的ニシテ實施シ易キ方法ハ便利ナル地點ニ位スル臨床所或ハ  
施療所ニ依ルヘシ小社會ニ於テハ定マレル施療所或ハ臨床所ノ施設ナキ場合ニ在リテモ右ノ作業ヲ營ムヘ  
キ方法ヲ得ラル、ナリ最モ主要ナルハ醫學的診査及ヒ必要アル場合ノ監督ニシテ此ノ目的ノ爲メニハ施療

所ヲ以テ最モ便利ナルモノトス

結核患者ノ總テニ關シ完全ナル記録ヲ備フヘキハ改メテ茲ニ喋々スルヲ要セサルヘシ茲ニ所謂完全ナル記  
録トハ唯單ニ法ノ要求ニ從ヒ患者ノ報告ヲナシ或ハ政廳ニ於テ帳簿ニ記入スルノミナラス報告ハ何處迄モ  
之ヲ探索シテ患者ニ就キ實地ノ檢査ヲ行ヒ當局官憲ニ於テ個々ノ患者ニ對スル眞ノ監督ヲナスヘキヲ意味  
スルモノナリ「ニュージャーシー」州ニ於ケル結核患者三五、〇〇〇名(推定)ノ殆ント全部ハ病院設備ノ  
不完ナルニ依リ自宅ニテ看護セラル、外ナシ是等患者カ病毒ヲ他ニ傳播セサル様檢査監督ヲ施行スルハ衛  
生當局者ノ義務タリ此ノ點ニ關シテハ法ハ既ニ孰レノ團體ニ於テモ現下ノ實行以上ニ進歩シタルモノアリ  
從テ別ニ補足ノ要ヲ認メサルヘシ、法令ヲ以テ衛生官ハ無報酬ニテ檢査ヲ行フヘキコトヲ定メラルレトモ  
往々其ノ檢査ハ實行セラレス、結核豫防ニ參與スル衛生當局側ニ於ケル責任ノ自覺ヲ必要トス蓋シ患者發  
生ノ報告ヲ受ケタル時當局ニ於テ何等處置ヲ施スコトナクンハ其ノ報告ハ無意味ノモノタルヤ明白ナリ、  
完全ナル記録トハ斬新ニシテ正確ナル登簿ニシテ患者死亡又ハ移轉ノ際ハ現在患者ノ記録ヨリ之ヲ削除シ  
斯クテ何レノ衛生部ニ在リテモ各管内ニ於ケル結核患者ニ對シテ完全ナル記録ヲ備ヘ置クヘキナリ  
前述結核豫防方法ノ遂行ヲシテ確實ナラシメンカ爲メニハ教育方面ノ活動ニ於テ遺憾ナキコトヲ第一位ト  
ス即チ一般公衆カ結核問題ニ對シテ興味ヲ有スル様セシムヘク、若シ新タニ該病ノ抑壓方法ヲ講セントス  
ルニ於テハ其ノ問題ノ上一般公衆ノ注意ヲ集中セシメ結核豫防ニ對スル興味ヲ喚起セシメサルヘカラス

三四五

此ノ協議會モ亦此ノ特殊ノ目的ノ爲メニ起サレタルモノニシテ今夕ノ集會ノ如キモ其ノ事業ノ一部ニ屬スルナリ

結核問題ニ對シ世人ノ注意ヲ集中セシメント欲スルモノハ宜敷該問題ノ新方面ノ研究ヲ爲シ斬新且興味アル事實ヲ開發シ世ニ之ヲ吹聴スル事最モ重要ナリ結核問題ニ關シ萬般ノ事情ヲ調査シ新メテ技能優秀ナル専門家ニ研究ヲ爲サシメ材料ヲ蒐集シ表解ヲ作製シ之ヲ公報スル時ハ「ニュージャーシー」ニ於ケル該病ノ豫防作業ニ對シ大ニ衝動ヲ與フルモノナルコトヲ信ス余ハ之レ以上結核問題ニ對シ公衆ノ注意ヲ聚焦スルニ效力アル何物ヲモ案スル能ハス新知識獲得ノ方法及既知ノ諸說ノ實地應用等特種方面ノ徹底的研究ト云ヘハ彼ノ「ミネソタ」ノ「ラムソン」ニヨリテ爲サレタル家庭内結核傳播ニ對スル研究ノ如キハ最モ良キ實例ナリ、此ノ如キ研究ノ結果ハ出來得ル丈ケ廣ク公表スヘシ、サスレハ其ノ新事實ハ既ニ忘レラレントスル問題ニ對シテモ又興味ヲ再發セシムルノ力アルモノナリ余ハ本論ヲ結フニ當リ結核ノ一大重要事實ハ之カ感染力ナルコトヲ再ヒ茲ニ力説ス、如何ナル處置ト雖モ之カ感染ヲフコトヲ度外視シタルモノハ該病ノ抑壓ニ關シ功ヲ奏シ得ヘキニ非ス、開放セラレタル患者ハ孰レモ其ノ家内特ニ小兒ニ病毒ヲ傳播セシムル因源タリ、此レカ防止ハ患者ノ隔離ヲ以テ最善ノ方法トス、病院施設ノ完備セサル間ハ自宅ニ於テ相當監督ヲ爲スヲ要スサスレハ其ノ危害ハ多少減セラルヘシ此等諸點ヲ總合シテ余ハ此所ニ本協議會ノ據ルヘキ鯨波ヲ示シ吾人ノ向テ努力スヘキ目標ヲ建テ而カモ其目的ノ完成期日ヲ確定セントス、余ノ將ニ聲ヲ大ニシテ

絶叫セントスルハ「一九二〇年ニ於テ「ニュージャーシー」ニハ監督ヲ受ケサル結核患者一名存セシムル勿レ」ノ一言ナリ諸君ハ或ハ之ト異ナリ否定的ニ非スシテ肯定的ノ言明ヲ以テセント欲スヘシ、然ラハ「一九二〇年迄ニ於テ「ニュージャーシー」結核患者全體ニ對スル監督ノ施設ヲ完備スヘシ」トスルモ可ナリ此ノ鯨波ヲ實現セシメン爲メニハ次ノ七ヶ條ノ方法ヲ採用セラレンコトヲ望ム

- 一、各政區ハ其ノ政區内或ハ其ノ境界ニ極ク接近シテ結核患者全體ニ對スル療養所ヲ設置スルコト
- 二、公衆衛生看護部ノ組織ト監視トヲ完全ニシ之ヲ擴張シテ州内全體ニ普及セシムルコト
- 三、體格検査及患者全體ニ對スル醫學的監督ヲナスヘキ施設院或ハ他ノ施設ヲ備フルコト
- 四、總テ結核患者ハ之ヲ地方衛生局ニ報告セシムルコト
- 五、地方衛生局員ハ注意深ク勞ヲ惜マス探究ノ方法ニ依リ又衛生員ノ及ハサル所ハ他ノ者ニヨリテ補ハレ而シテ療養所病院等ノ看護ヲ受クル能ハサル患者全部ヲ自宅ニ於テ完全ニ監督スルコト
- 六、結核患者ノ移動或ハ死亡シタル後ハ其ノ家宅ノ清潔方法ヲ充分ニ施行セシムルコト
- 七、州及州内各團體ニ關係アル結核問題ヲ益々徹底的ニ攻究シ其ノ結果ヲ公表シ一般ニ充分了解セシムルコト

大正八年三月十五日印刷  
大正八年三月二十日發行

# 內務省衛生局

印刷者 東京市本所區番場町四番地 岡 功

印刷所 東京市本所區番場町四番地 凸版印刷株式會社本所分工場

8.7.25

61

139



終